

# 令和5年度結婚支援ボランティア等 育成モデルプログラム開発調査

結婚支援ボランティア等育成モデルプログラム附録

- 本モデルプログラムは下記形式で行われる研修を想定して作成しています。
- 第2回の内容は特に実践形式での学びが効果的であるため、経験豊富なボランティアの方に講師を担当いただくことも考えられます。第3回研修の内容は特に専門知識が必要であり、外部専門家に講師を担当いただくことも考えられます。

項目	内容
実施者	✓ 地方自治体、NPO団体等
受講者	✓ 地方自治体が運営する結婚相談所、結婚支援センターを支援するボランティアおよびボランティア希望者
研修時間	✓ 研修回数は年3回、1回2時間程度の予定
研修方式	✓ 対面を原則（リモート可）
研修定員	✓ 10～30人程度
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ <b>第1回研修 わが国の少子化と結婚状況の現状</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 第1章. わが国および各地域における少子化の現状</li> <li>➤ 第2章. 未婚者の恋愛・結婚状況</li> <li>➤ 第3章. 婚活・結婚支援サービス業界の現状</li> </ul> </li>   <li>✓ <b>第2回研修 結婚支援ボランティアの活動</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 第4章. 結婚支援ボランティアの活動内容</li> <li>➤ 第5章. 結婚支援業務に関する知識・技能</li> </ul> </li>   <li>✓ <b>第3回研修 結婚支援業務の法的な問題</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 第6章. 結婚支援業務に関するトラブルおよびその対応</li> <li>➤ 第7章. 結婚支援業務に関わるための法的知識等</li> </ul> </li> </ul>

# 第1章. わが国および各地域における少子化の現状

ここでは、皆さんに、わが国および地域の少子化の現状を、具体的なデータも示しながら紹介することで、幅広く理解していただきます。

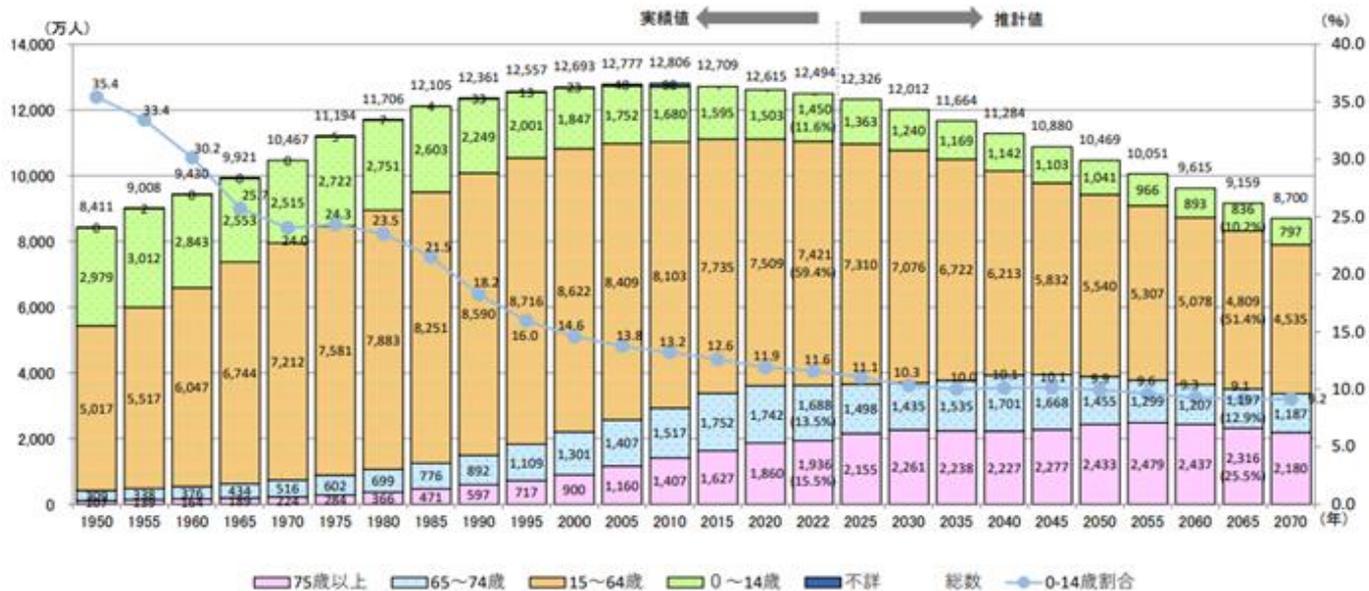
それにより、受講者の皆さんの今後のボランティア活動への動機付けを図ります。

# (1) 日本・本県（市町村）の人口推移

- 日本の人口は2020年に約1.2億人いるが、少子高齢化によって、今後、年々、子ども・若者が減少し、高齢者が増えながら人口が減少していく。
- 国立社会保障・人口問題研究所の推計によれば、2070年には8,700万人となる。

## 日本の人口構造

◆ 社会全体の中で、年少人口割合（0-14歳割合）は年々低下。2050年以降、10%未満の水準になる。



資料：2020年までは総務省「国勢調査」（2015、2020年は不詳補完値による。）、2022年は総務省「人口推計」、2025年以降は国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口（令和5年推計）」の出生中位・死亡中位仮定による推計結果から作成。

注：1. 2015年及び2020年の年齢階級別人口は不詳補完値によるため、年齢不詳は存在しない。2025年以降の年齢階級別人口は総務省統計局「令和2年国勢調査 年齢・国籍不詳をあん分した人口（参考表）」による年齢不詳をあん分した人口に基づいて算出されていることから、年齢不詳は存在しない。なお、1950～2010年の年少人口割合の算出には分母から年齢不詳を除いている。ただし、1950年及び1955年において割合を算出する際には、下記の注釈における沖縄県の一部の人口を不詳には含めないものとする。

2. 沖縄県の1950年70歳以上の外国人136人（男55人、女81人）及び1955年70歳以上23,328人（男8,090人、女15,238人）は65～74歳、75歳以上の人口から除き、不詳に含めている。

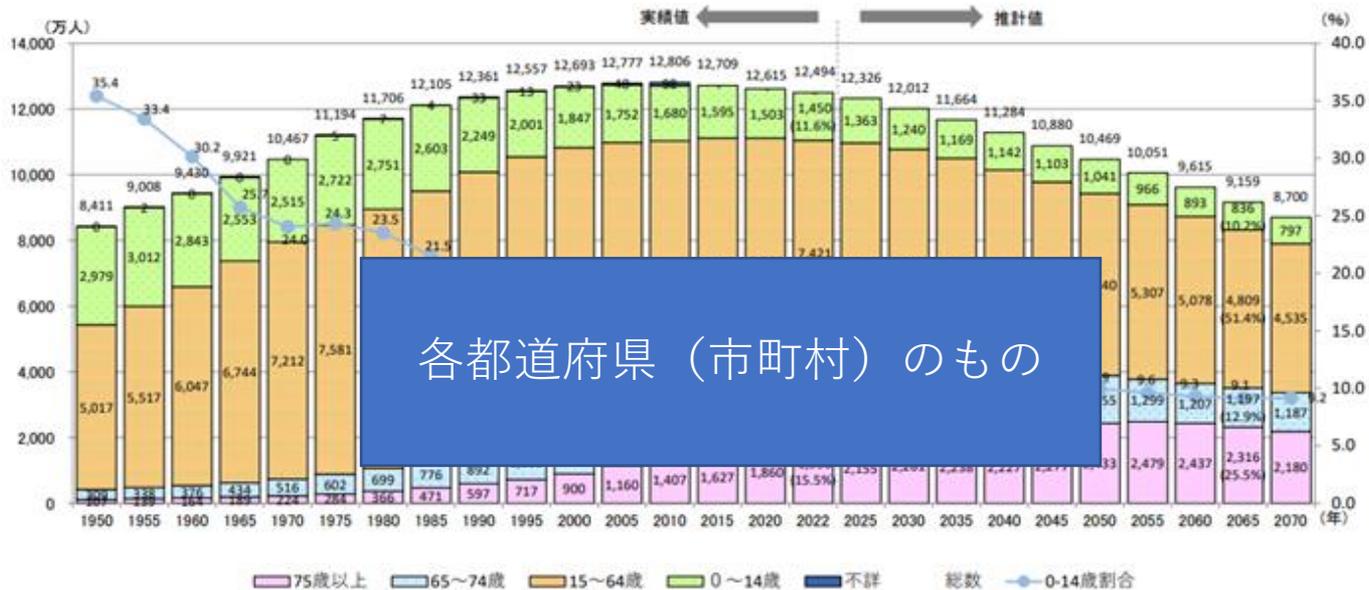
3. 百分率は、小数点第2位を四捨五入して、小数第1位までを表示した。このため、内訳の合計が100.0%にならない場合がある。

# (1) 日本・本県（市町村）の人口推移（●●県）

- 各都道府県（市町村）の状況

## 日本の人口構造

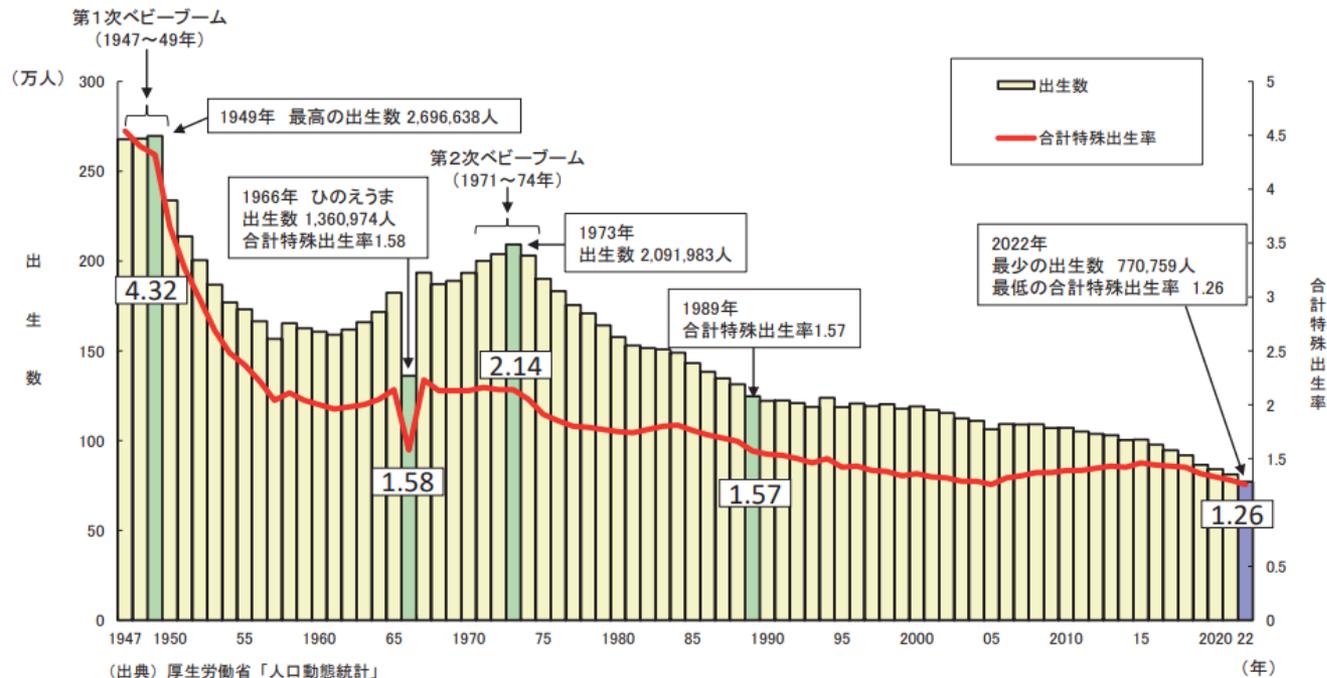
◆ 社会全体の中で、年少人口割合（0-14歳割合）は年々低下。2050年以降、10%未満の水準になる。



資料：2020年までは総務省「国勢調査」（2015、2020年は不詳補完値による。）、2022年は総務省「人口推計」、2025年以降は国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口（令和5年推計）」の出生中位・死亡中位仮定による推計結果から作成。  
 注：1. 2015年及び2020年の年齢階級別人口は不詳補完値によるため、年齢不詳は存在しない。2025年以降の年齢階級別人口は総務省統計局「令和2年国勢調査 年齢・国籍不詳をあん分した人口（参考表）」による年齢不詳をあん分した人口に基づいて算出されていることから、年齢不詳は存在しない。なお、1950～2010年の年少人口割合の算出には分母から年齢不詳を除いている。ただし、1950年及び1955年において割合を算出する際には、下記の注釈における沖縄県の一部の人口を不詳には含めないものとする。  
 2. 沖縄県の1950年70歳以上の外国人136人（男55人、女81人）及び1955年70歳以上23,328人（男8,090人、女15,238人）は65～74歳、75歳以上の人口から除き、不詳に含めている。  
 3. 百分率は、小数点第2位を四捨五入して、小数第1位までを表示した。このため、内訳の合計が100.0%にならない場合がある。

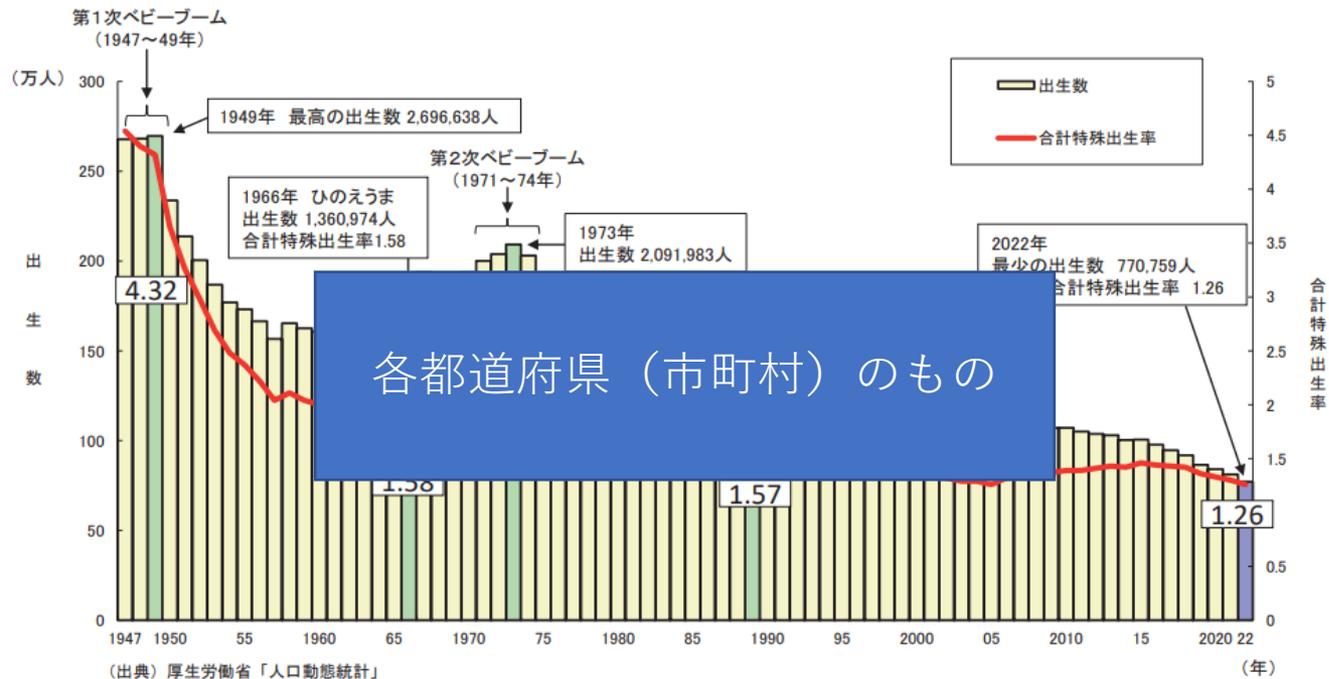
## (2) 出生数、出生率の推移

- 日本の出生数は、戦後すぐは年間で約270万人を超えるこどもが生まれていたが、1973年の第2次ベビーブームを最後に減少傾向が続き、近年は年間80万人を割る状況となっている。
- また、一人の女性が、その年の年齢別（15歳～49歳）の出生率によって一生に生むこども数を割り出した「合計特殊出生率」も長く減少傾向にあり、2005年を底に若干上昇傾向となったが、近年はまた減少傾向となっている。



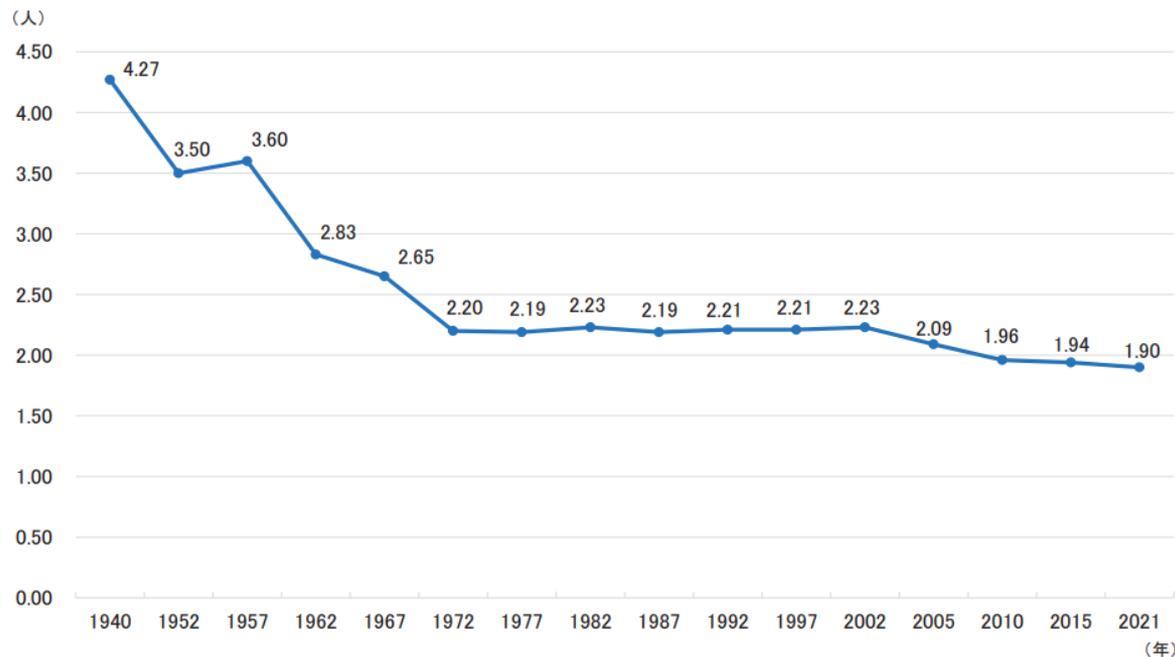
## (2) 出生数、出生率の推移 (●県)

- 各都道府県（市町村）の状況



### (3) 完結出生児数の推移

- こどもがどのくらい生まれるか、というのは、計算上「どのくらいの人が結婚しているか」と「結婚した人にどのくらいこどもが生まれているのか」との掛け算である。
- 「結婚した人にどのくらいこどもが生まれているのか」を「完結出生児数」と呼び、この「完結出生児数」は、1970年頃からずっと2前後で横ばいとなっているが、近年は低下傾向にある。



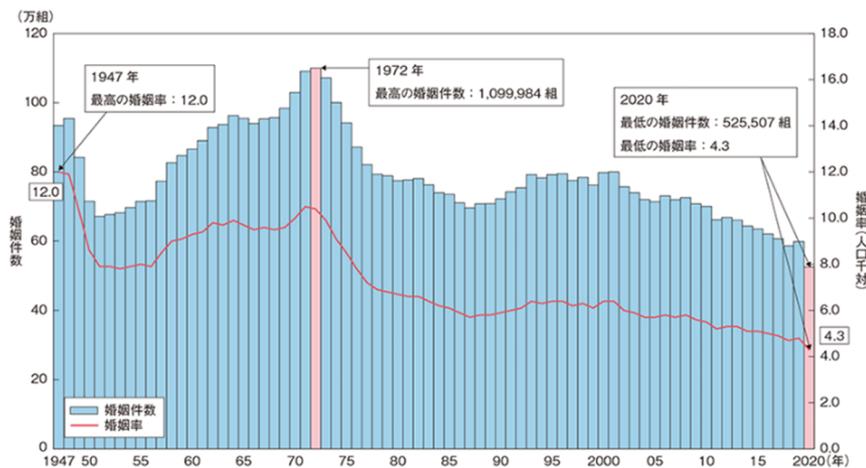
(出典) 国立社会保障・人口問題研究所「出生動向基本調査」(夫婦調査)を基に作成。

(注)・対象は結婚持続期間15～19年の初婚どうしの夫婦(出生児数不詳を除く。)。各調査の年は調査を実施した年である。

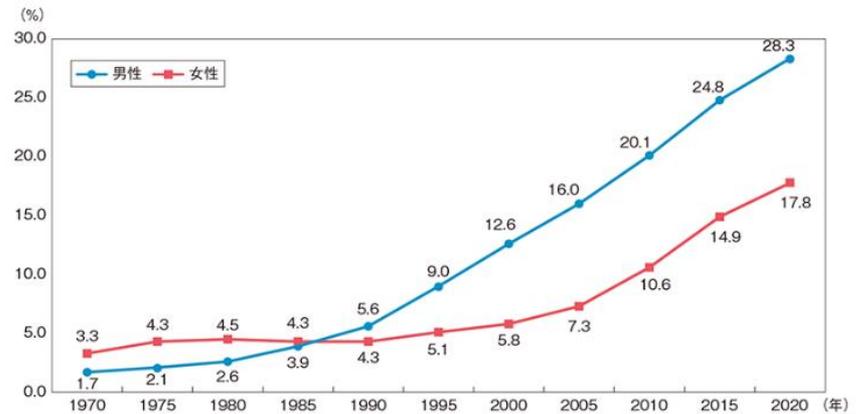
・2015年(第15回調査)以前は妻の調査時年齢50歳未満、2021年(第16回調査)は妻が50歳未満で結婚し、妻の調査時年齢55歳未満の夫婦について集計。

## (4) 婚姻件数、婚姻率、50歳時未婚率の状況

- 一方、「どのくらいの人結婚しているか」については、婚姻件数は1970年頃には年間100万件を超えていたものの、その後は減少傾向にあり、近年は年間60万件を切っている。
- 50歳まで一度も結婚したことのない未婚の人の割合である「50歳時未婚率」は年々上昇しており、2020年の国勢調査では、男性は4人に一人、女性は6人に一人に上っている。



資料：厚生労働省「人口動態統計」を基に作成。



資料：各年の国勢調査に基づく実績値（国立社会保障・人口問題研究所「人口統計資料集」。(2015年及び2020年は配偶関係不詳補完結果に基づく。)

左：内閣府子ども・子育て本部『令和4年版少子化社会対策白書』「第1-1-8図 婚姻件数及び婚姻率の年次推移」、  
右：内閣府子ども・子育て本部『令和4年版少子化社会対策白書』「第1-1-10図 50歳時の未婚割合の推移と将来推計」

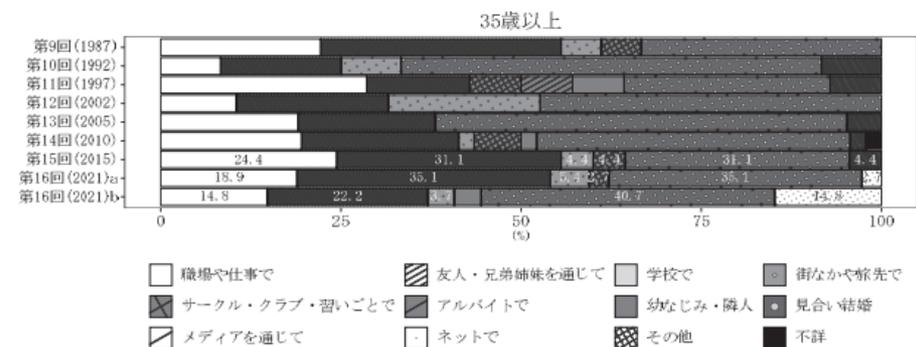
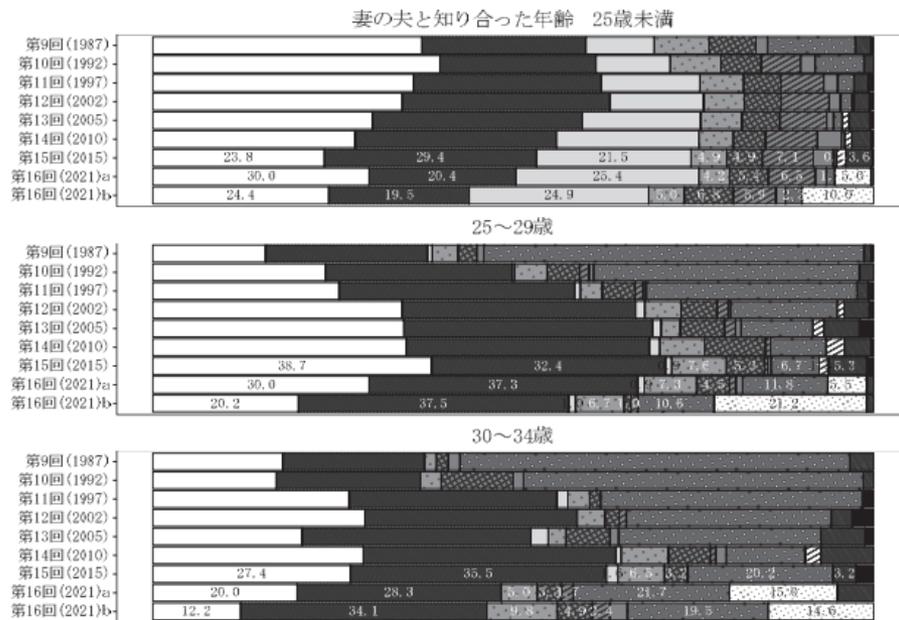
- 各都道府県（市町村）の状況



資料：厚生労働省「人口動態統計」を基に作成。

資料：各年の国勢調査に基づく実績値（国立社会保障・人口問題研究所「人口統計資料集」。(2015年及び2020年は配偶関係不詳補完結果に基づく。)

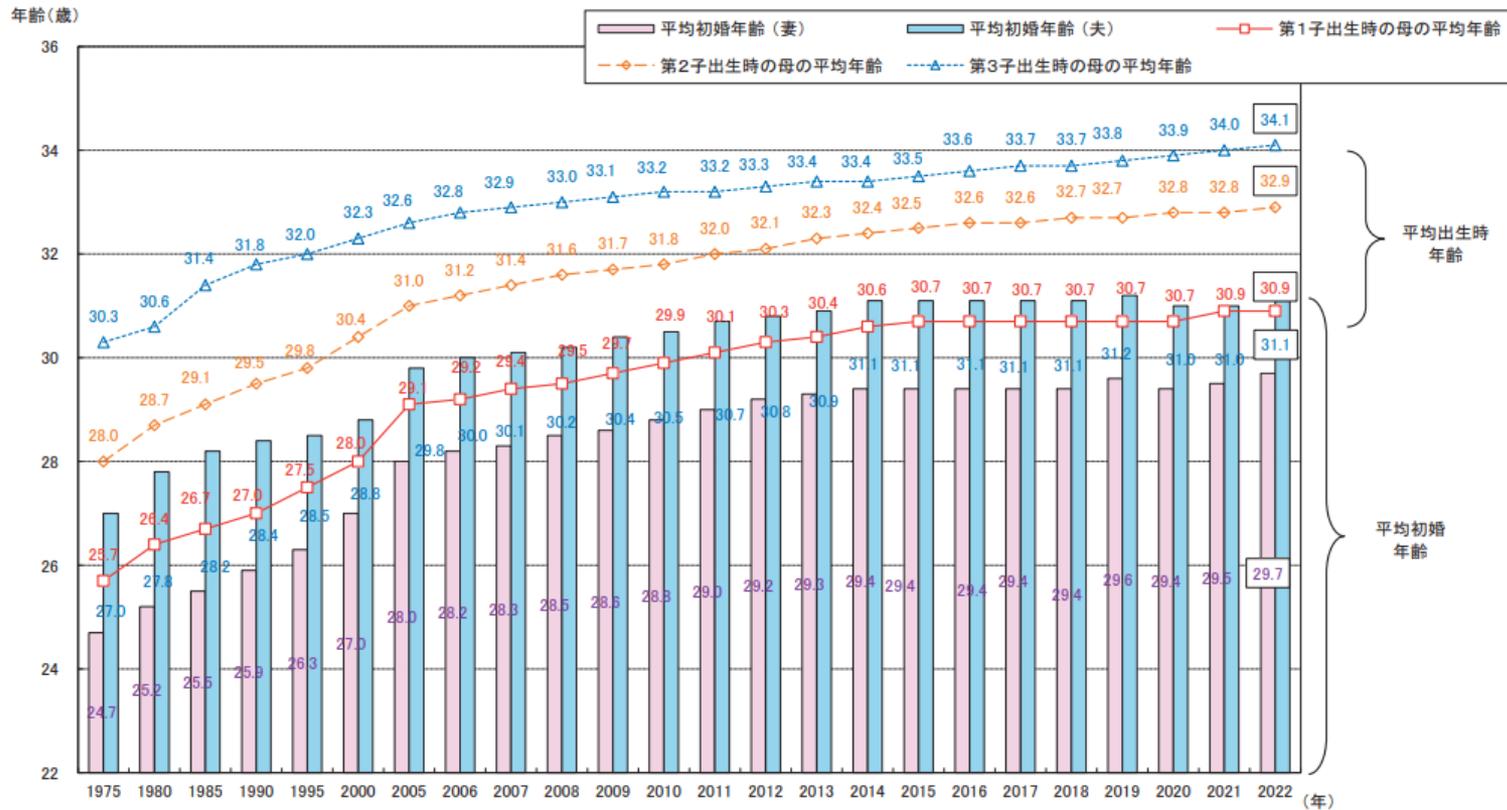
- 直近3年間で結婚した夫婦が知り合ったきっかけを妻の年齢別にみると、25歳未満では「学校で」が最多、25～34歳では「友人・兄弟姉妹を通じて」が最多、35歳以上では「見合いで」「結婚相談所で」を含む「見合い結婚」が最多であり、知り合い時の年齢が高いほど見合いの場に出会う夫婦が多い。



注：対象は、第15回以前は結婚持続期間5年未満で妻の調査時年齢50歳未満、第16回は結婚持続期間6年未満で、妻が50歳未満で結婚し、妻の調査時年齢55歳未満の初婚どうしの夫婦。第16回は結婚年月で期間を2つに分けて集計。(2021) a：結婚が2015年7月～2018年6月、(2021) b：結婚が2018年7月～2021年6月。妻の知り合った年齢別の客数数は、第16回(25歳未満466、25～29歳225、30～34歳124、35歳以上45)、第16回(2021)a(25歳未満260、25～29歳110、30～34歳60、35歳以上37)、第16回(2021)b(25歳未満221、25～29歳104、30～34歳41、35歳以上27)。設問や選択肢については図表5-2-2を参照。  
 【報告書図表5-2-4 調査・妻の夫と知り合った年齢別にみた、夫妻が知り合ったきっかけの構成割合(調査時点から5年以内に結婚した初婚どうしの夫婦(第16回は過去6年間の結婚))】

# (6) 晩婚化の進行？実は… ①

- 近年は、昔と比べて、結婚する時期が遅くなっている（晩婚化）と言われており、平均初婚年齢等が年々上昇している。

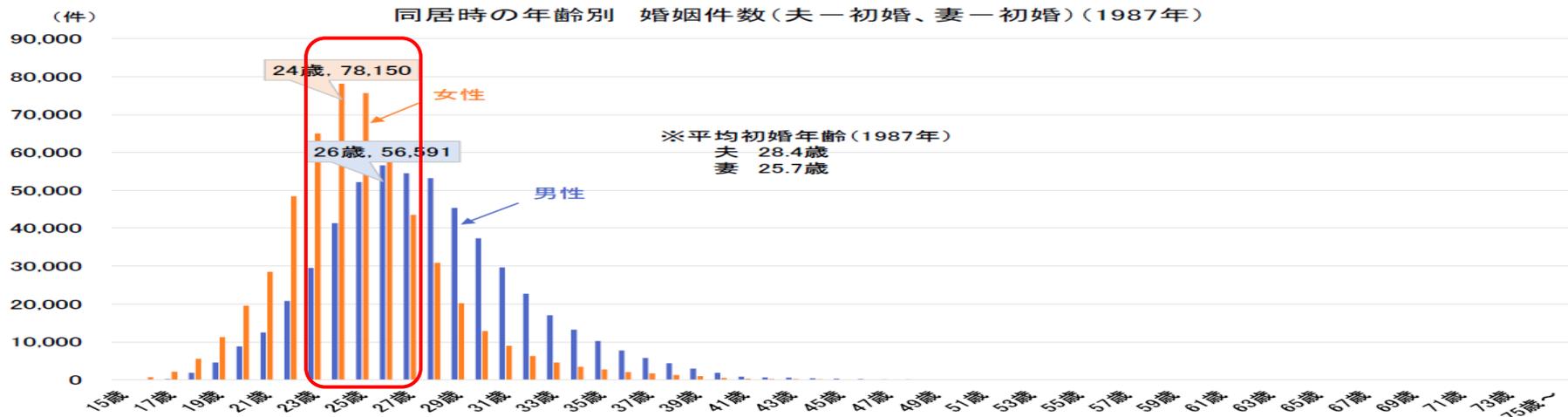
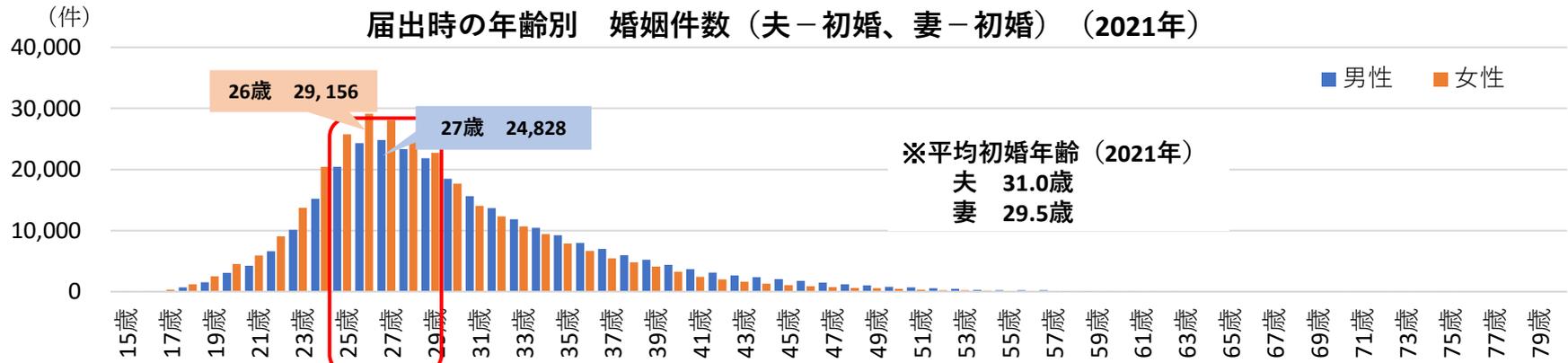


(出典)厚生労働省「人口動態統計」

こども家庭庁『令和4年度 少子化の状況及び少子化への対処施策の概況』  
「図表4 平均初婚年齢と出生順位別出生時の母の平均年齢の推移」

## (6) 晩婚化の進行？実は… ②

- 一方、実は統計上、今も、男性も女性も最も初婚で結婚する人数が多いのは20代後半である。



(出典)厚生労働省「人口動態調査」より男女共同参画局作成。

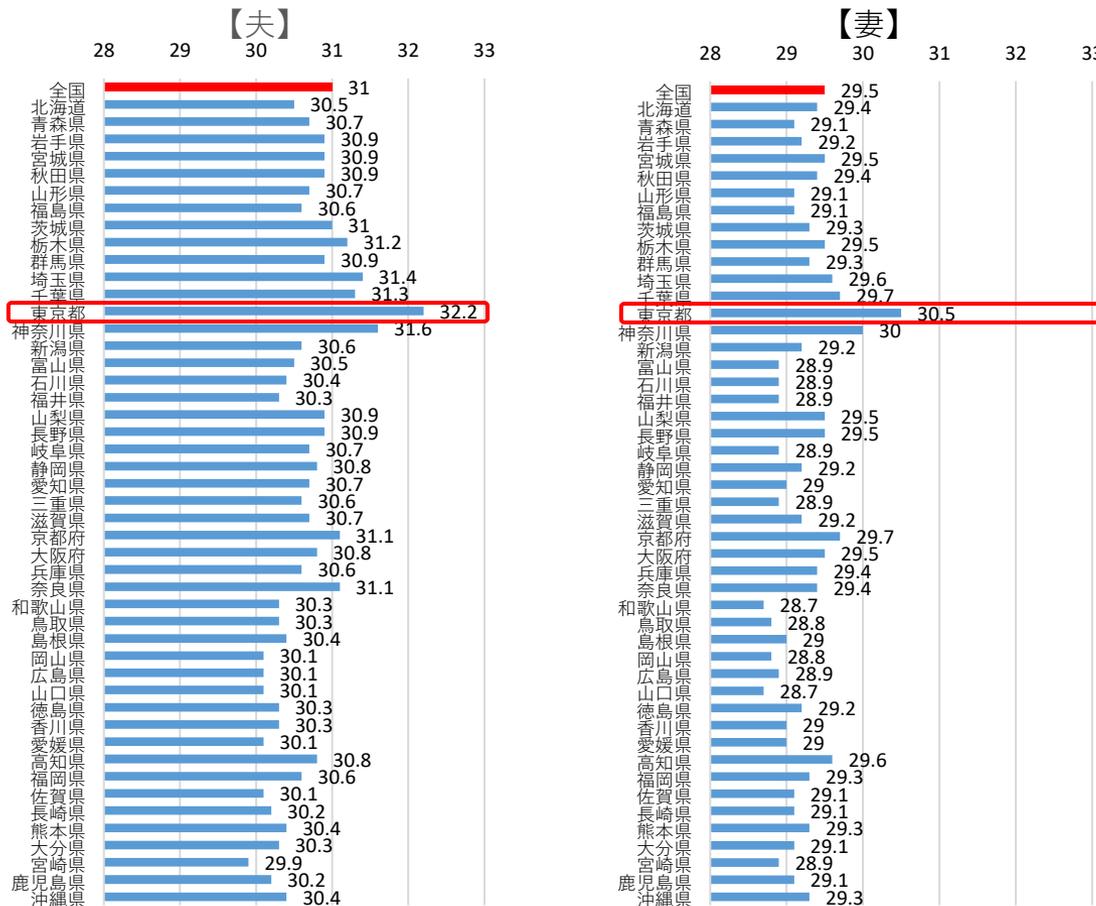
注:婚姻件数は、1987年に結婚生活に入ったもの。夫妻の年齢は、結婚式をあげた時または同居を始めた時の年齢である。

上:厚生労働省『人口動態統計』「婚姻件数(当該年に結婚生活に入り届け出たもの)、夫-妻の結婚生活に入ったときの年齢(各歳);夫妻の平均婚姻年齢,初婚-再婚・都道府県(特別区-指定都市再掲)別」(2021年)より作成

下:内閣府男女共同参画局『結婚と家族をめぐる基礎データ』「届出時の年齢別婚姻件数」(令和3年12月14日)

# (6) 晩婚化の進行？実は… ③

- 都道府県別にみても、夫の平均初婚年齢全国平均（2021年時点）は31歳となっているが、実際に初婚年齢が31歳を超えている主な地域は東京都やその近隣地域となっており、地域ごとに差異が見られる。



厚生労働省『人口動態統計』 「都道府県別にみた年次別夫妻の平均初婚年齢」 (2021年) より作成

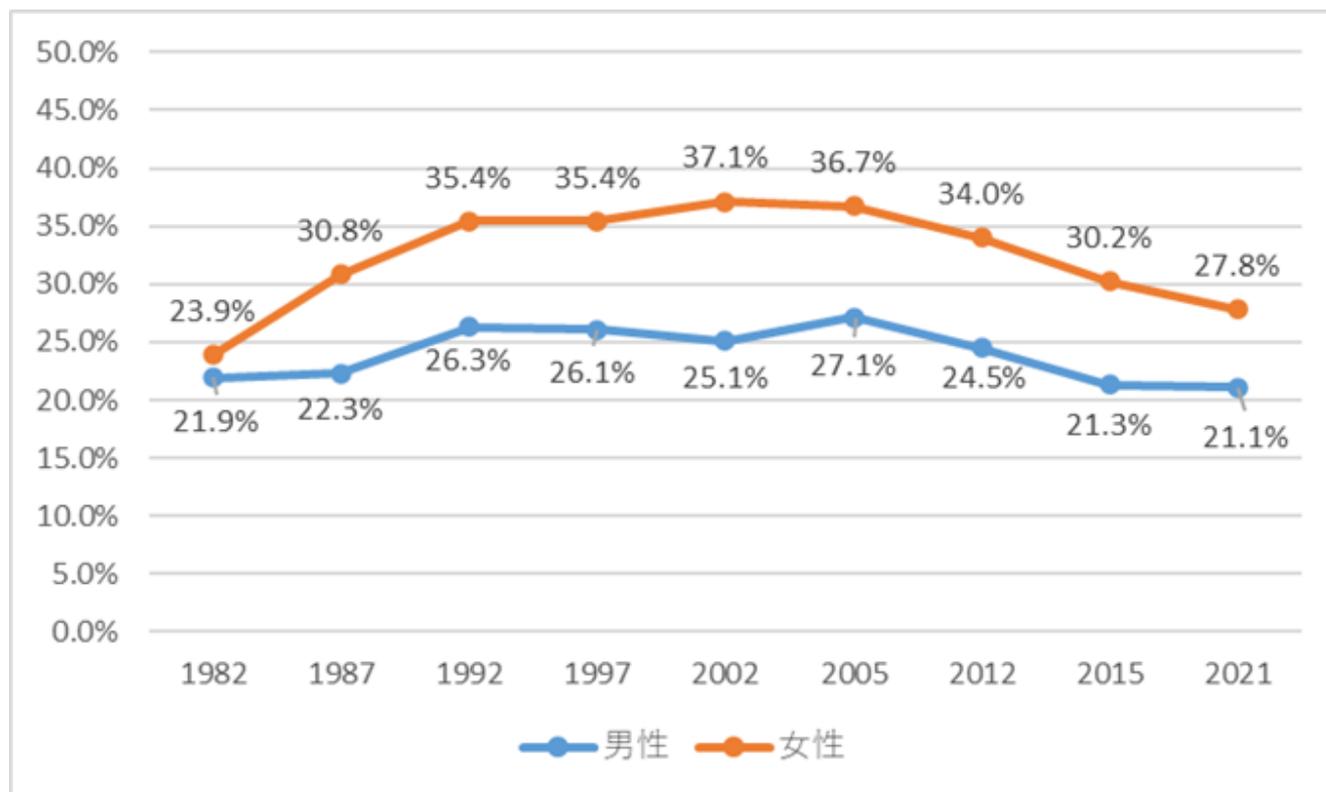
## 第2章. 未婚者の恋愛・結婚状況

ここでは、皆さんが今後かかわることになる未婚者の方たちを取り巻く社会の変化をみた上で、社会とともに変化する結婚に関する意識・行動を理解し、未婚者の方の希望をかなえる結婚支援とは何かを考えていきます。

# (1) 男女別にみる「交際相手がいる割合」の推移

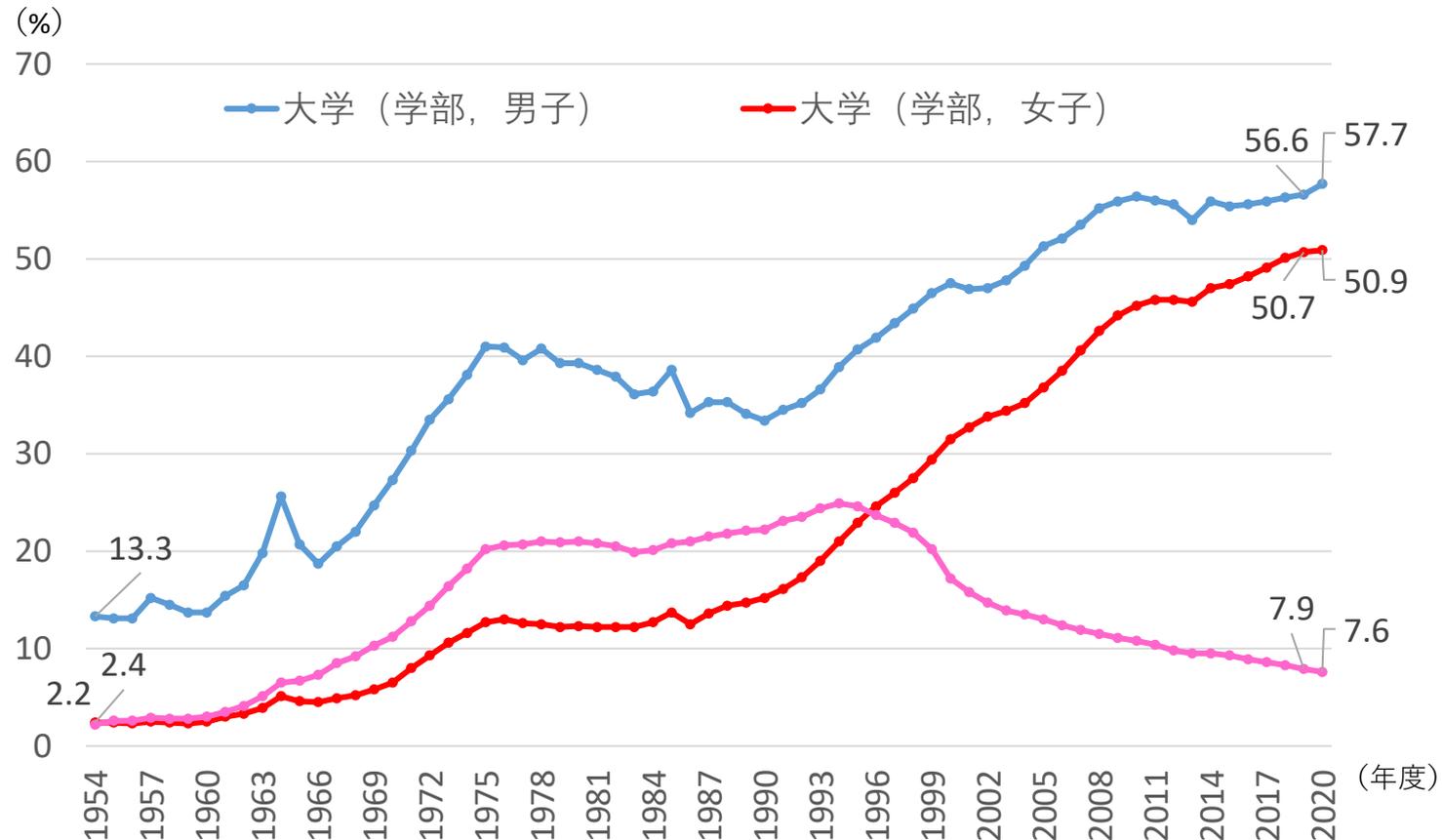
- 18歳から34歳の男女で、「恋人として交際している異性がいる」、または「婚約者がいる」人の割合は、男性が約2割、女性が約3割。

## 交際相手がいる割合の推移（18～34歳男女）



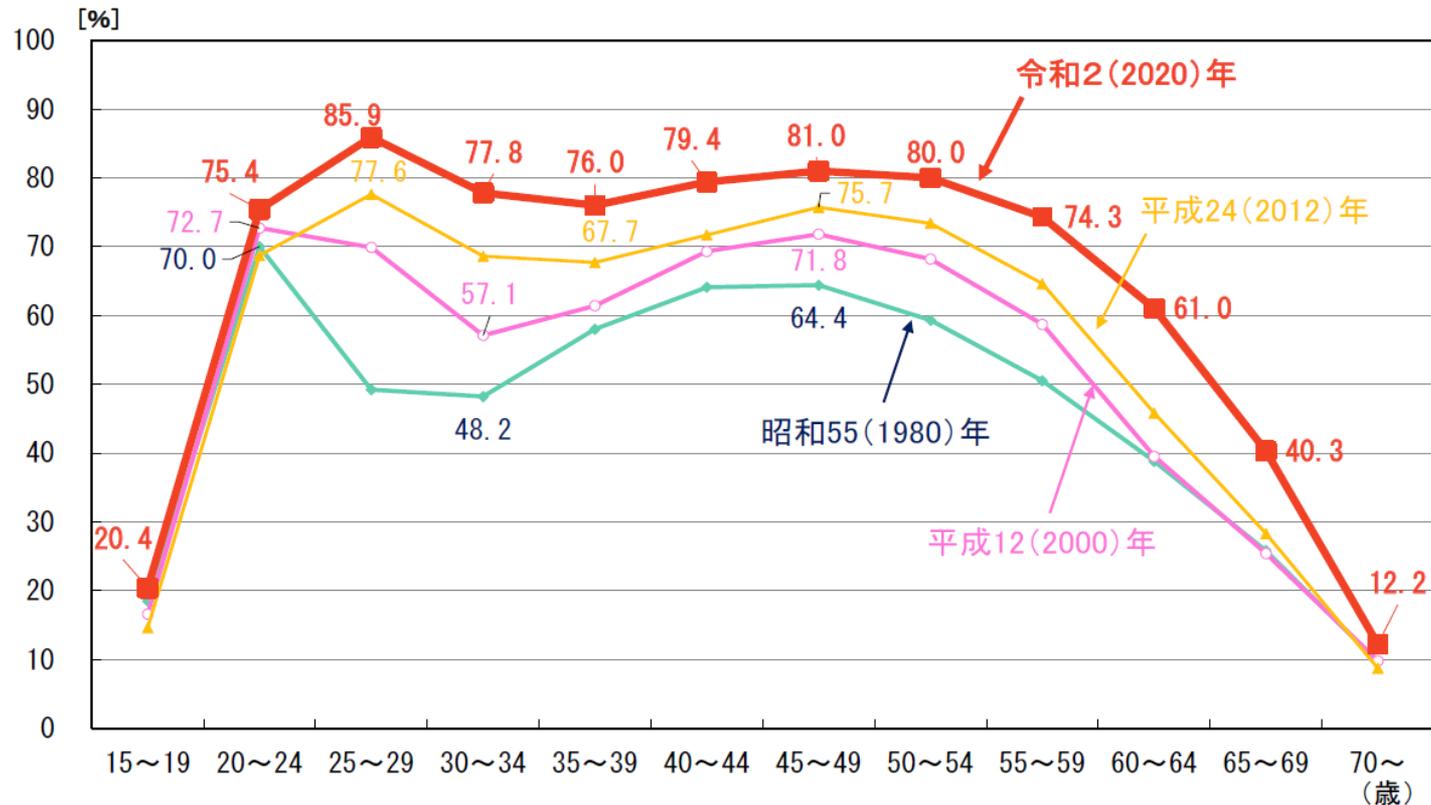
## (2) 男女別進学率の推移

- 結婚をめぐる社会情勢は、ここ30年ほどで大きく変化。4年制大学進学率について、男性で58%、女性で51%。男女間の進学率の差が縮小している。



### (3) 女性の年齢階級別労働力率の推移

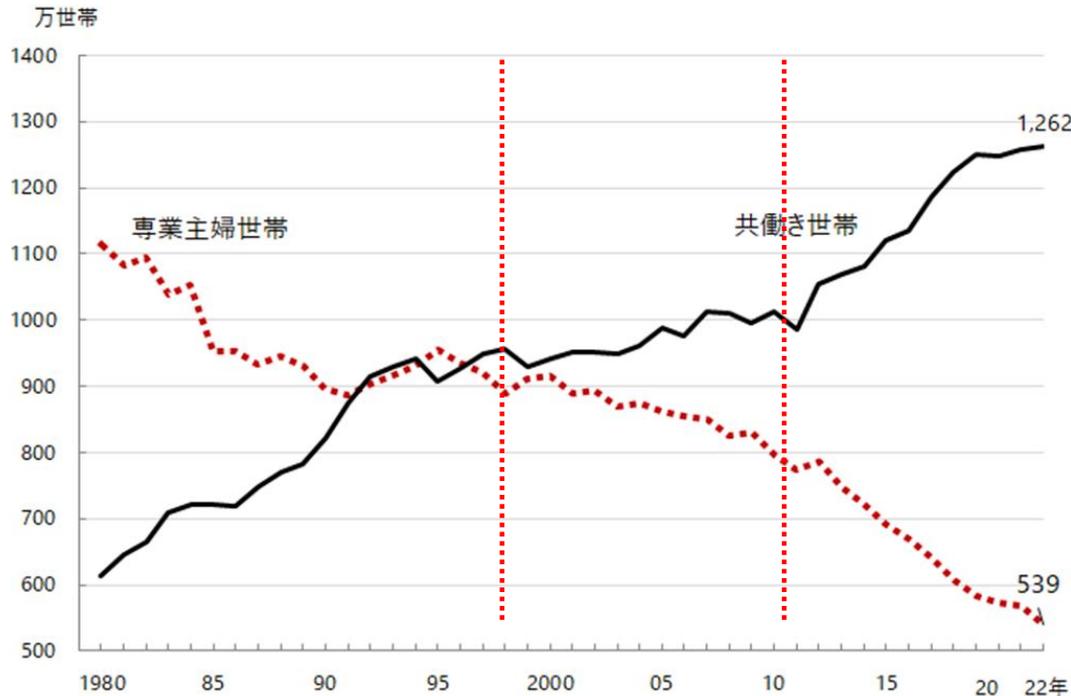
- 25歳～29歳の女性の労働力率は、1980（昭和55）年では、5割を切っていたが、2020（令和2）年では8割を超えている。20歳代後半が社会人としてのキャリア形成の時期と重なるようになった。



(備考) 1. 総務省「労働力調査（基本集計）」より作成。  
2. 労働力率は、「労働力人口（就業者＋完全失業者）」／「15歳以上人口」×100。

## (4) 共働き世帯と専業主婦世帯の推移

- 1980（昭和55）年以降、夫婦ともに雇用者の共働き世帯は増加し、1997（平成9）年以降は、共働き世帯が専業主婦世帯を上回っている。
- 2010年以降は、共働き世帯が急激に増えている。男女ともに働きながら家事・育児を担うことが求められる時代に。



資料出所 総務省統計局「労働力調査特別調査」、総務省統計局「労働力調査（詳細集計）」

注1 「専業主婦世帯」は、夫が非農林業雇用者で妻が非就業者（非労働力人口及び完全失業者）の世帯。2018年以降は夫が非農林業雇用者で妻が非就業者（非労働力人口及び失業者）の世帯。

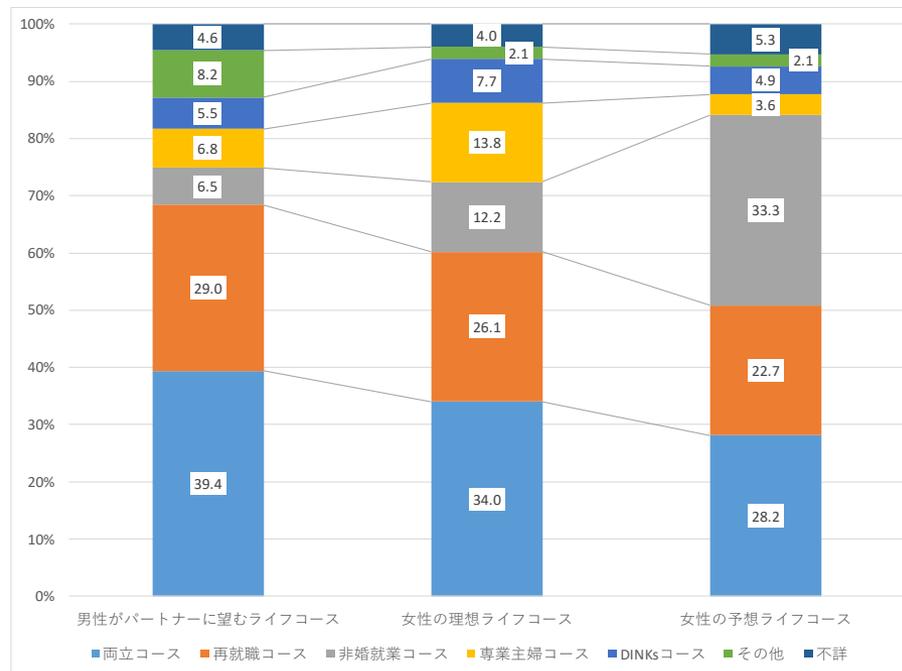
注2 「共働き世帯」は、夫婦ともに非農林業雇用者の世帯。

注3 2011年は岩手県、宮城県及び福島県を除く全国の結果。

注4 2018年～2021年は2020年国勢調査基準のベンチマーク人口に基づく時系列接続用数値。

これまでは未婚者の意識についてみてきましたが、  
ここからは、未婚者の婚活などの**結婚行動**について  
見ていきたいと思います。

- 今後の人生のライフコースについて、女性は「結婚し、子どもを持つが、仕事も続ける（両立コース）」を理想とする割合が**34.0%**で最多であり、男性がパートナーに望むライフコースも「両立コース」が最多である。しかし、女性が実際になりそうだと考える予想ライフコースでは、「結婚せず、仕事を続ける（非婚就業コース）」が**33.3%**で最多であり、本当は仕事と子育てを両立したいにもかかわらずそれを諦めざるを得ないと感じている女性が多いことが伺える。



国立社会保障・人口問題研究所『第16回出生動向基本調査』「図表3-1-1 調査別に見た、女性の理想・予想のライフコース、男性がパートナーに望むライフコース」を基に作成

※DINKSとは、Double Income No Kidsの略であり、子どもを持たない共働き夫婦のことである。

## (6) 恋愛や婚活に受け身になりがち

- 「恋愛は面倒」、「自信がない」との回答も一定割合あり。恋愛に対して、相手からアプローチがあれば考えるが4割。

### 恋愛に関する考え方

(複数回答) (%)

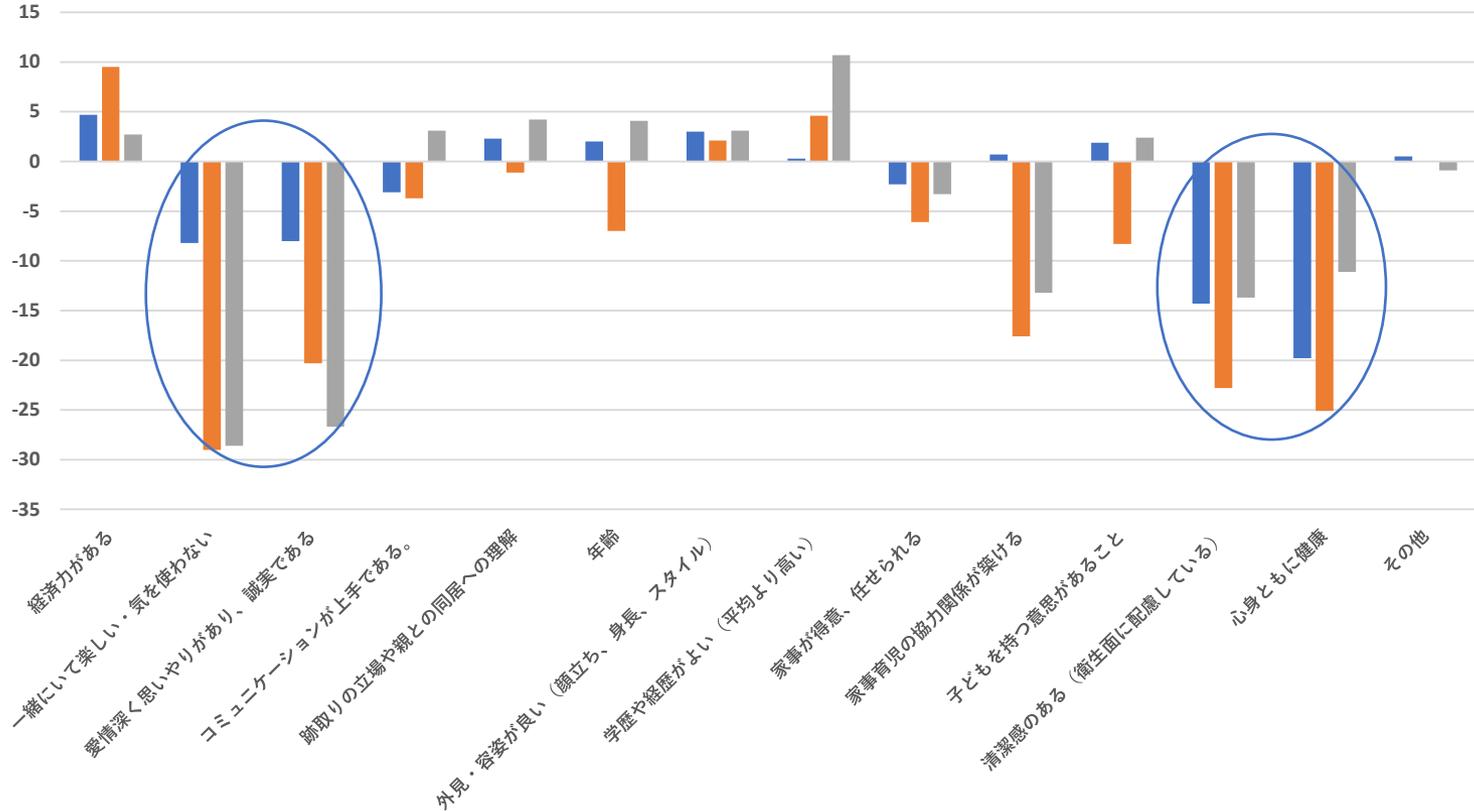
	2020年							
	日本		フランス		ドイツ		スウェーデン	
	男性 (n=648)	女性 (n=724)	男性 (n=493)	女性 (n=507)	男性 (n=520)	女性 (n=502)	男性 (n=505)	女性 (n=495)
恋愛よりも勉強や仕事を優先したい	14.5	10.5	16.2	14.0	16.5	11.8	14.1	11.7
恋愛よりも趣味を優先したい	22.4	14.5	17.0	9.3	7.9	7.2	10.1	8.3
交際すると相手との結婚を考える	34.0	39.6	17.6	26.2	36.2	40.8	29.1	32.5
いつも恋愛をしていたい	8.8	9.0	21.1	28.0	29.4	30.3	22.6	16.6
気になる相手には自分から積極的にアプローチをする	22.7	16.6	21.9	13.0	41.3	35.1	36.0	32.7
相手からのアプローチがあれば考える	34.6	45.6	11.2	9.7	16.9	17.1	31.7	19.2
恋愛することで人生は豊かになる	43.1	52.2	52.1	55.8	58.1	66.7	87.1	88.1
恋愛は面倒だと感じる	19.1	19.6	2.0	1.0	5.0	5.4	15.6	13.1
恋愛することに自信がない	14.7	13.7	6.1	6.7	6.9	7.0	2.2	1.2
恋愛はしたいがお金がかかる	15.7	7.9	6.9	3.0	10.0	3.6	4.0	3.4

# (7) 都市規模別にみる未婚男性の「結婚条件ミスマッチ」

- 男性は「居心地の良さ」「愛情深さ・誠実さ」「健康」「清潔感」を過小評価。中核都市・地方部在住の男性は、政令指定都市在住の男性と比べて「居心地の良さ」「愛情深さ・誠実さ」という条件を過小評価する傾向。

複数回答 (%)

都市規模別にみる未婚男性の「結婚条件ミスマッチ」



■ 政令指定都市(n=461) ■ 中核都市(n=454) ■ 地方部(n=455)

内閣府子ども・子育て本部『結婚支援ボランティア等育成モデルプログラム開発調査報告書』

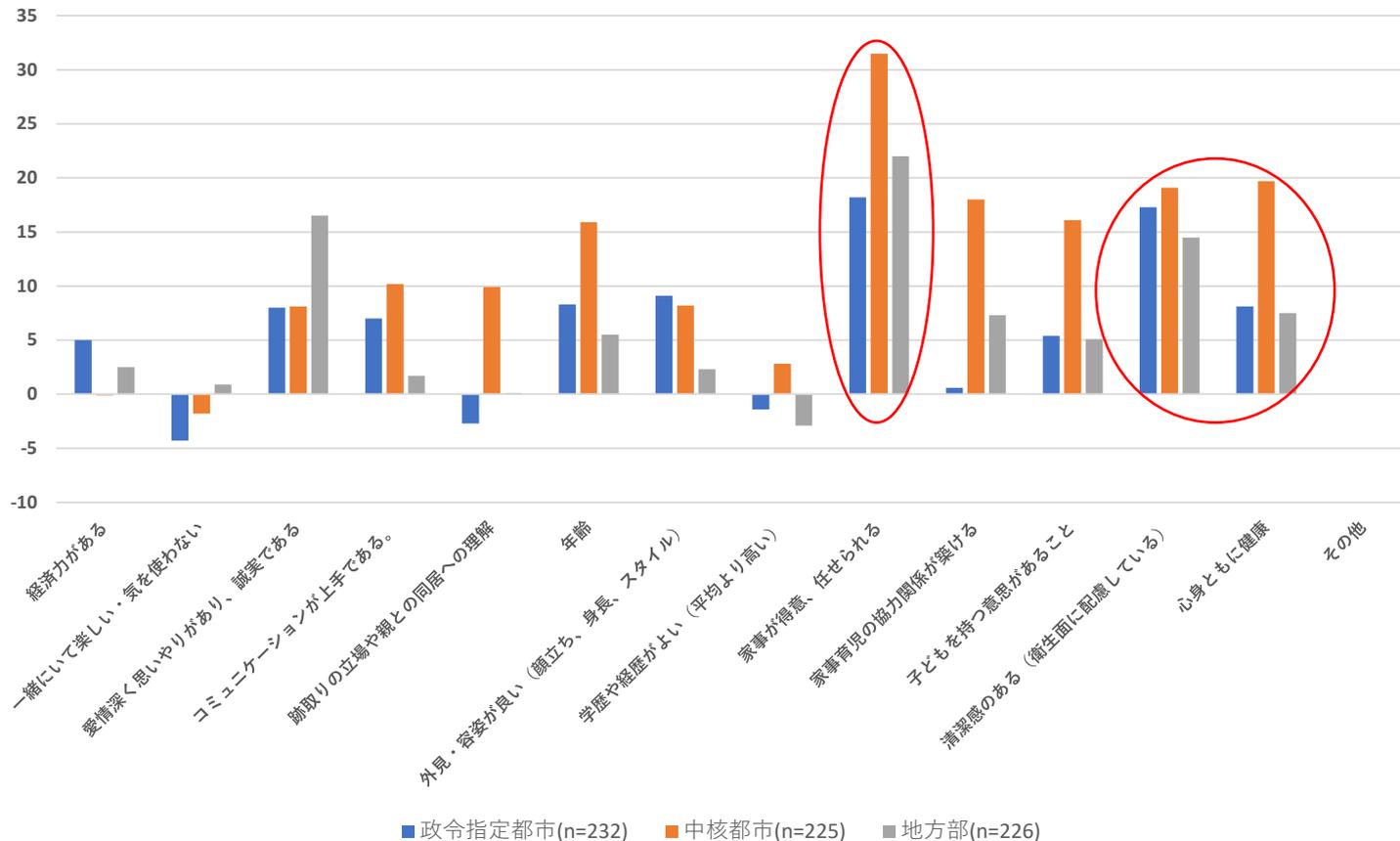
(ミスマッチ = 結婚相手から求められていると思う条件 (男性回答率) - 結婚相手に求める条件 (女性回答率))

## (8) 都市規模別にみる未婚女性の「結婚条件ミスマッチ」

- 女性は「家事が得意」「清潔感」「健康」という条件について、男性側が相手に求める条件との間に、認識のギャップがある。

複数回答 (%)

### 都市規模別にみる未婚女性の「結婚条件ミスマッチ」



内閣府子ども・子育て本部『結婚支援ボランティア等育成モデルプログラム開発調査報告書』

(ミスマッチ = 結婚相手から求められていると思う条件 (女性回答率) - 結婚相手に求める条件 (男性回答率))

- 未婚者と既婚者の双方の金額に関する意識がわかるデータによると、未婚者は実際よりも過大に「結婚生活にはお金がかかる」と思いがち。

## 結婚後に期待する相手の年収（未婚者vs既婚者）

未婚者		
1位	400万～500万	23.6%
2位	500万～600万	20.1%
3位	300万～400万	15.2%
4位	700万～1,000万	12.4%
5位	600万～700万	10.0%

既婚者		
1位	400万～500万	23.5%
2位	300万～400万	21.1%
3位	500万～600万	18.1%
4位	200万～300万	11.1%
5位	700万～1,000万	7.0%

資料：明治安田総合研究所「20代～40代の恋愛と結婚―第9回結婚・出産に関する調査より―」（2016年）より作成  
※〔全国の20歳～49歳の男女3,595人対象〕

未婚者・離別・死別（全体）		
1位	500万円以上～600万円未満	21.4%
2位	300万円以上～400万円未満	19.0%
3位	400万円以上～500万円未満	15.9%
4位	200万円以上～300万円未満	9.9%
5位	700万円以上～1,000万円未満	7.6%

上：天野馨南子（2021）『未婚化する日本』「結婚後に期待する相手の年収は？」（未婚者vs既婚者）P142  
下：明治安田総合研究所『2023年 恋愛・結婚に関するアンケート調査』「図表12 求める最低年収と最低貯蓄額」より作成

- 18歳から34歳までの未婚女性の約8割が、おなじ歳～4歳年上までの男性との結婚を希望。また、未婚男性の約7割がおなじ歳～4歳年下までの女性との結婚を希望。

## 18～34歳の未婚男女の希望する「結婚相手との年齢差」ランキング

### 女性の希望

	男性との歳の差	割合	累計割合
1位	1～2歳年上	29.6%	29.6%
2位	おなじ歳	28.4%	58.0%
3位	3～4歳年上	20.6%	78.6%
4位	5～6歳年上	12.0%	90.6%
5位	7歳以上年上	5.6%	
6位	年下	3.9%	

### 男性の希望

	女性との歳の差	割合	累計割合
1位	おなじ歳	41.8%	41.8%
2位	1～2歳年下	14.9%	56.7%
3位	5～6歳年下	14.5%	—
4位	3～4歳年下	12.0%	68.7%
5位	7歳以上年下	8.5%	
6位	年上	6.7%	

資料：国立社会保障・人口問題研究所（2015年）「第15回出生動向基本調査（独身者調査）」より作成

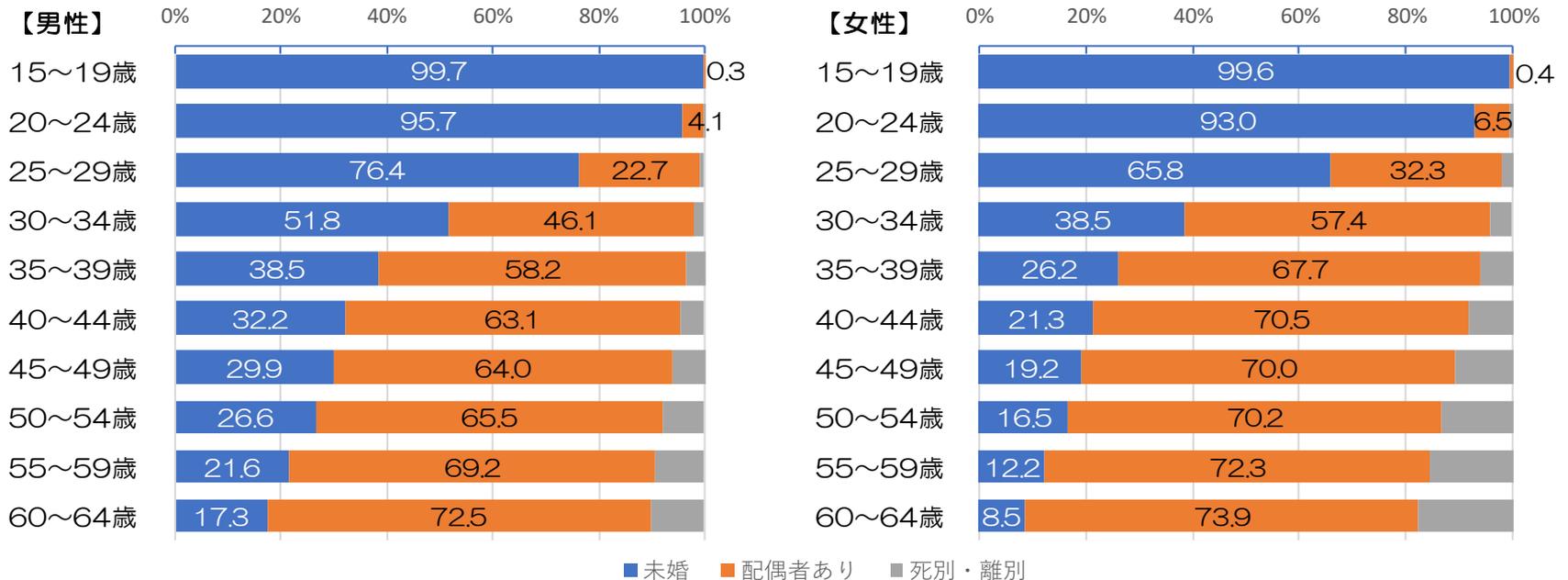
※〔2015年の独身者調査の有効票数は8,752票、夫婦調査の有効票数は6,598票〕

天野馨南子（2019）『データで読み解く「生涯独身」社会』

「18歳～34歳の未婚男女の希望する「結婚相手との年齢差」ランキング」P67

- 男性が30代前半にもなると、すでに希望している同年齢ゾーンの女性の約6割は既婚。その一方で、男性は約半数が未婚のまま。
- 男性が30代前半になってから同年齢ゾーンの女性と結婚を希望しても、同年齢ゾーンの未婚女性は少なくなっている。

## 年齢ゾーン別 未婚者の割合



資料：令和2年国勢調査より作成

- 芸能人カップルの年の差婚が報道されて目立つ傾向があるが、実は、統計上、年の差婚はかなりレアケース。
- 若い相手との結婚を望むのならば、自分も若いうちから婚活を始めないと、希望をかなえるのは難しい。

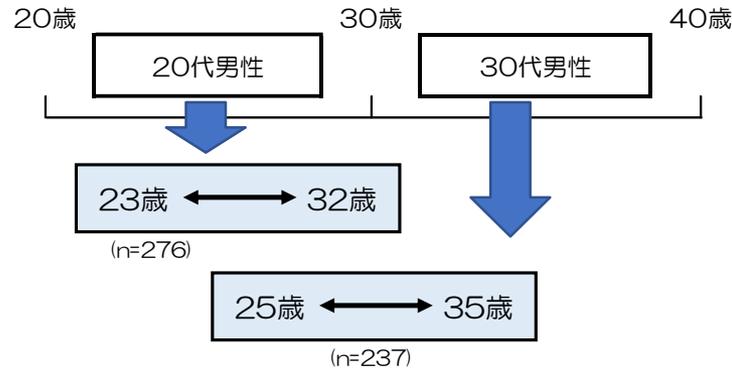
## 初婚カップルの年齢差

	年齢差	婚姻数	割合	割合累計
1位	同年齢	59,596	22.4%	22.4%
2位	夫1歳上	37,357	14.0%	36.4%
3位	妻1歳上	27,157	10.2%	46.6%
4位	夫2歳上	24,702	9.3%	55.9%
5位	夫3歳上	19,069	7.2%	63.1%
6位	夫4歳上	14,789	5.6%	73.6%
7位	妻2歳上	13,174	4.9%	77.7%

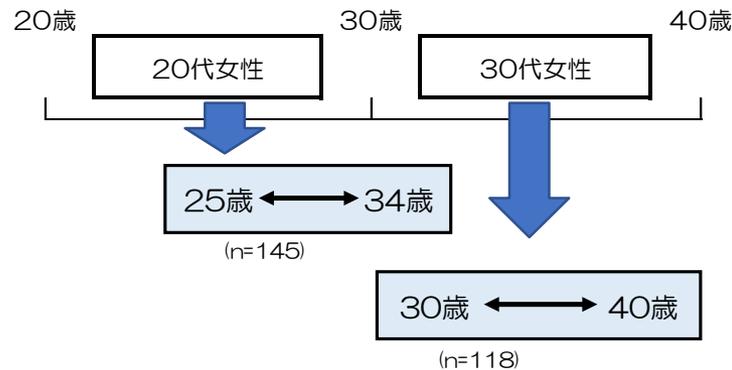
- 未婚女性に比べて未婚男性は自己年齢が高くなるにつれて自分よりも年上拒否、年下選好の傾向が高まる。

## 結婚希望年齢の違い 未婚男性／未婚女性（20～30代）

【男性】



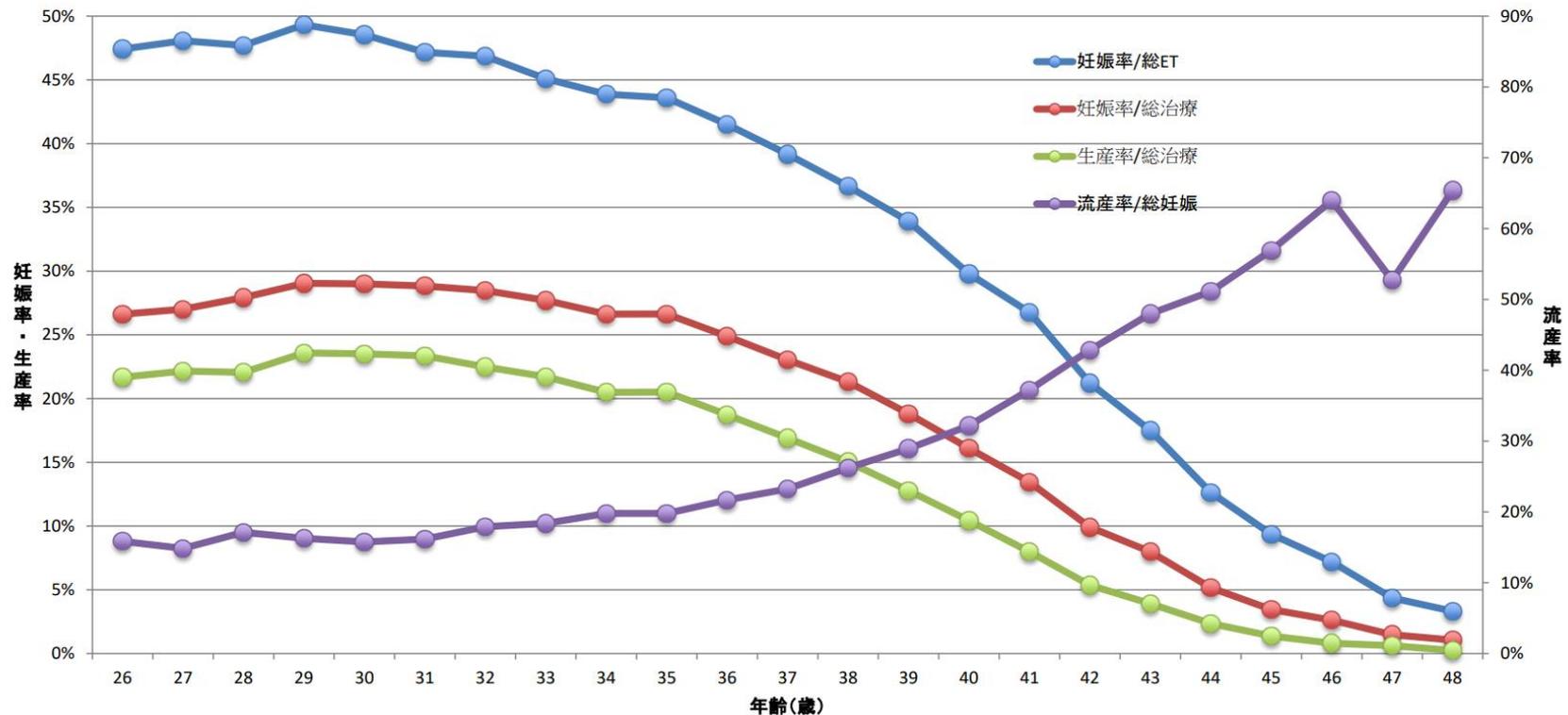
【女性】



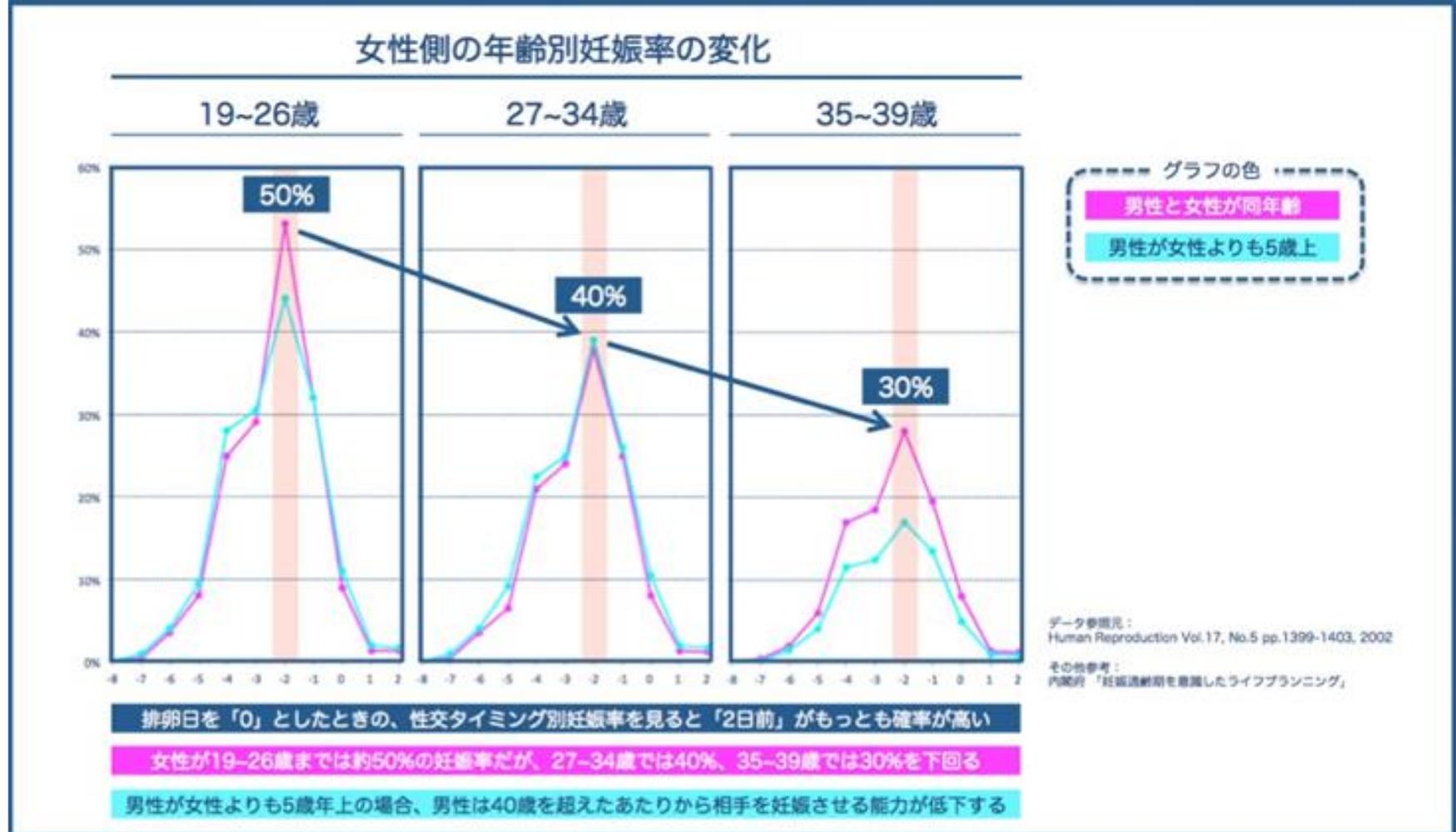
- 年齢が高くなるほど妊娠する確率は下がり、流産する確率は高まる傾向にある。

ART妊娠率・生産率・流産率 2021

## ART妊娠率・生産率・流産率 2021



- 男性についても、40歳を超えたあたりから相手を妊娠させる能力が低下することがデータから示唆されている。

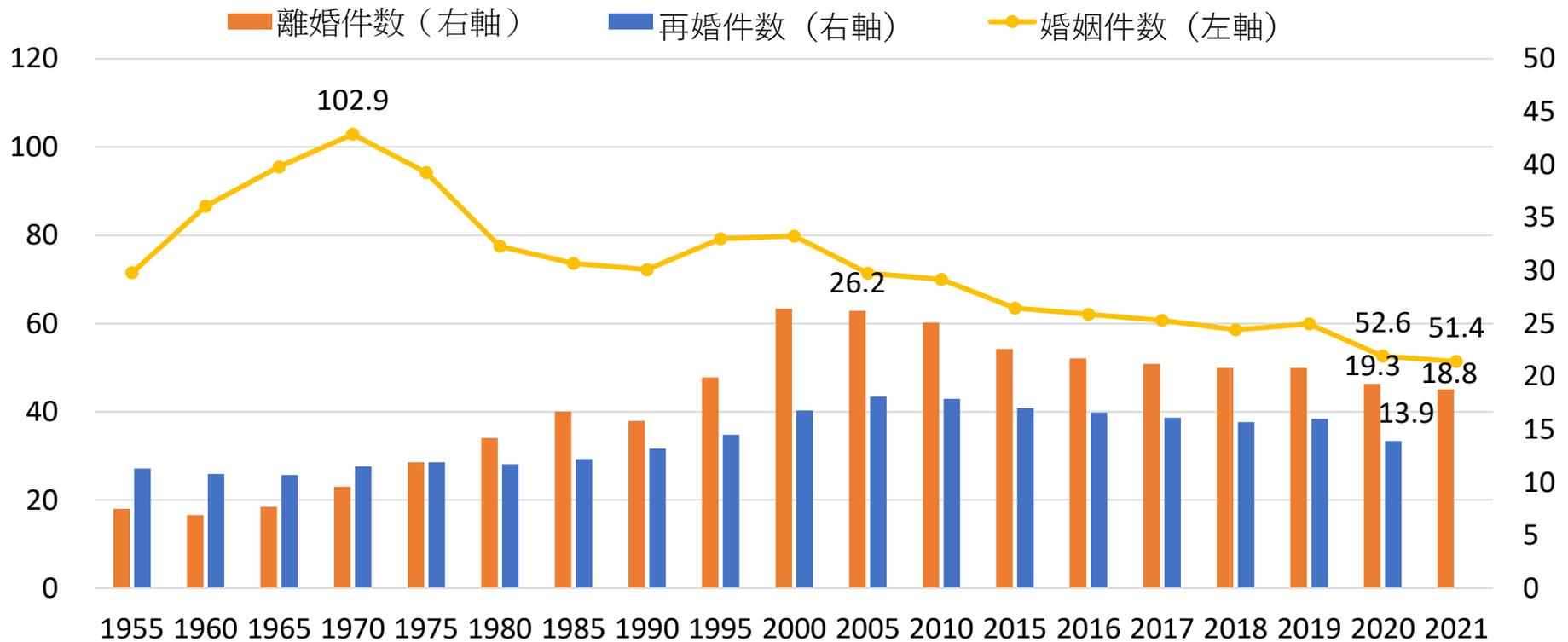


三重県男女共同参画センター「フレンテみえ」ウェブサイト

(データ提供元：Human Reproduction Vol.17, No.5 pp.1399-1403, 2002、その他参考：内閣府「妊娠適齢期を意識したライフプランニング」)

- 離婚件数は、1960年代と比較して大幅に増加。
- 2021年は、年間51万件的婚姻件数に対し、離婚件数は年間19万件、再婚件数は2020年時点で年間14万件。

## 結婚・離婚・再婚件数の年次推移

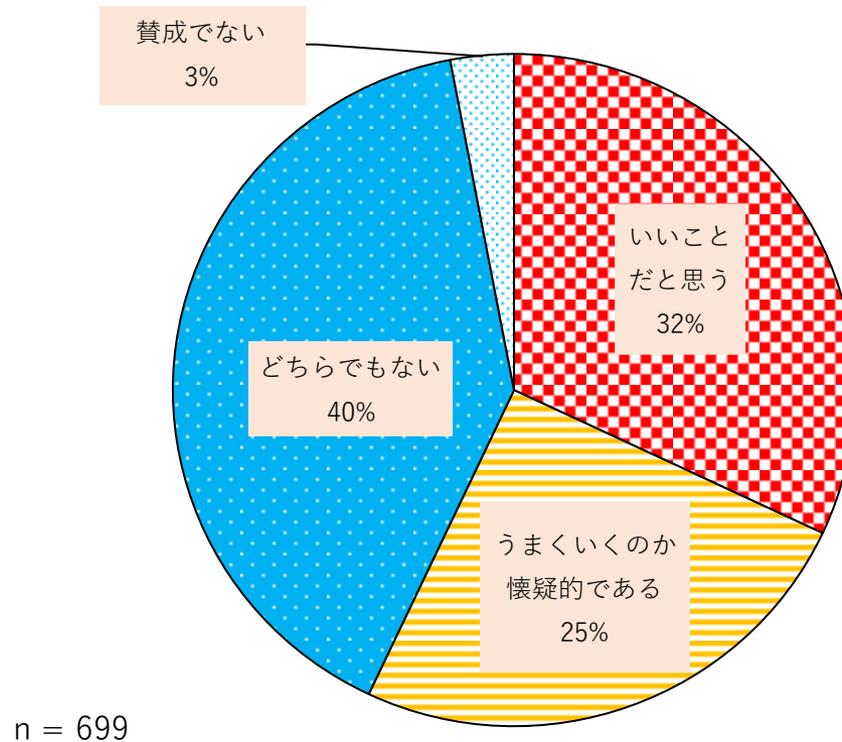


内閣府男女共同参画局『令和4年版 男女共同参画白書』「特-1 図 婚姻・離婚・再婚件数の年次推移」より作成  
『結婚と家族をめぐる基礎データ』「結婚・離婚・再婚件数の年次推移」(令和3年7月26日)

※2021年は離婚件数と婚姻件数のみ記載。

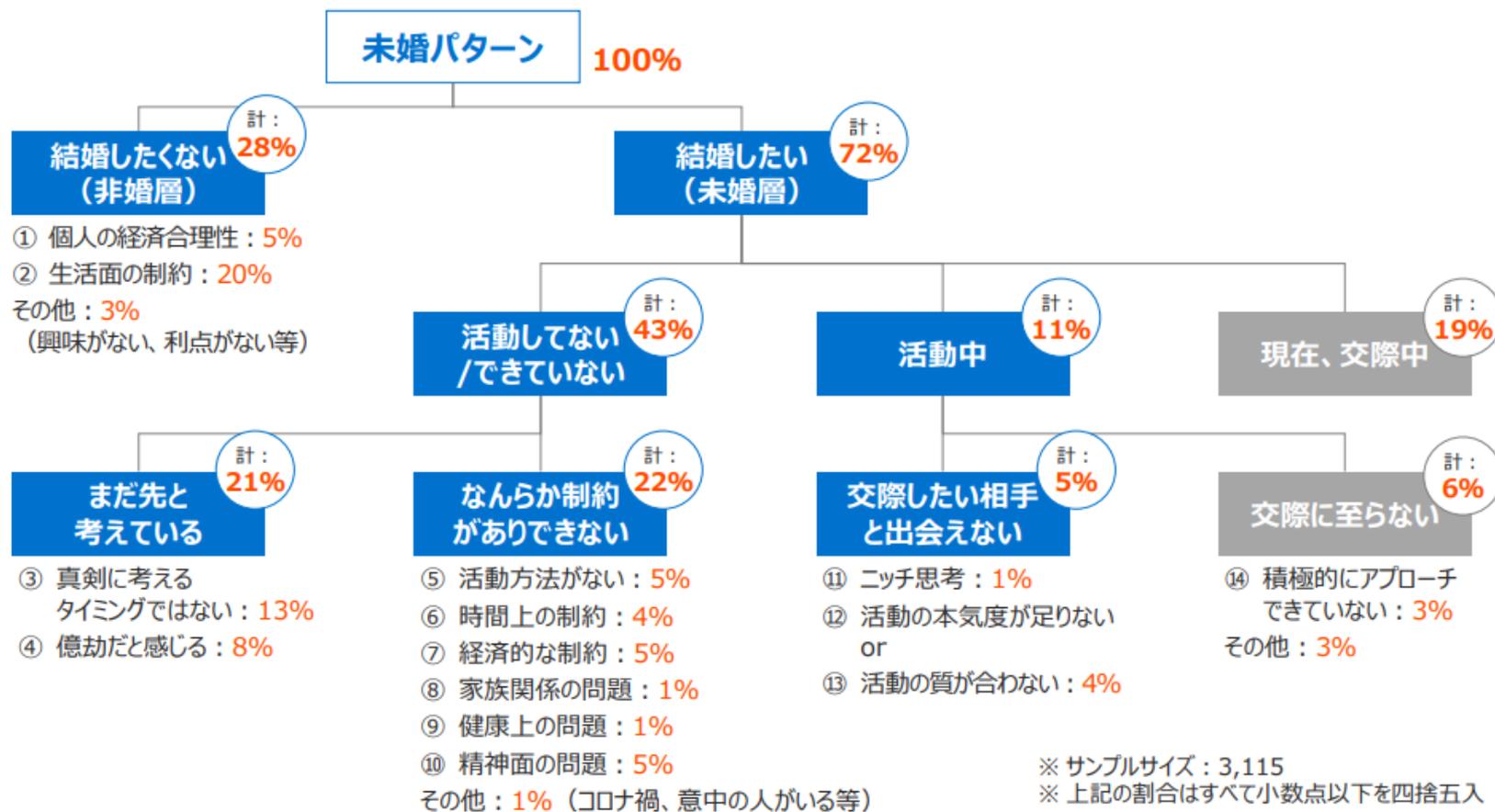
- どちらかに子どもがいる場合の再婚ケースの家族「ステップファミリー」に対する肯定的意見は32%。

## ステップファミリーについての意見



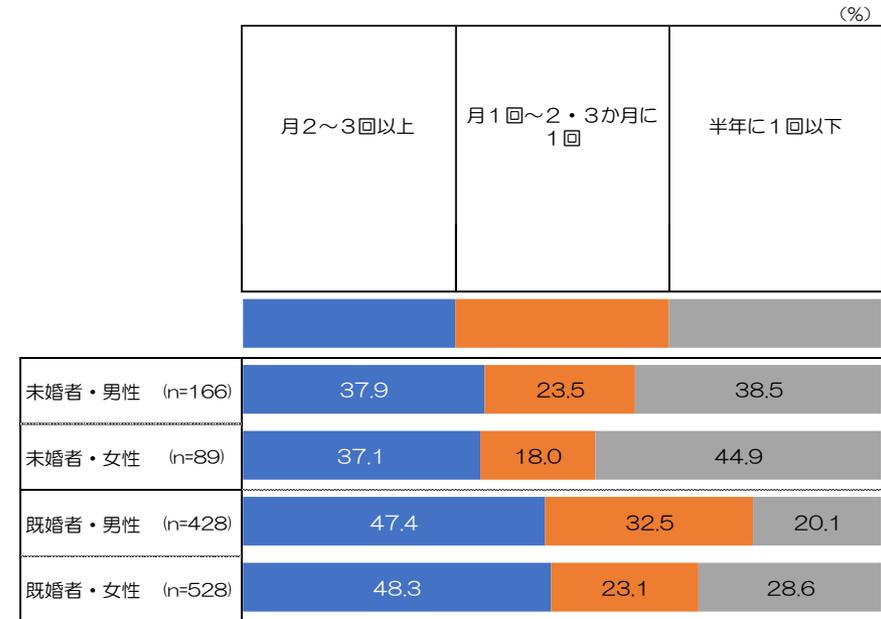
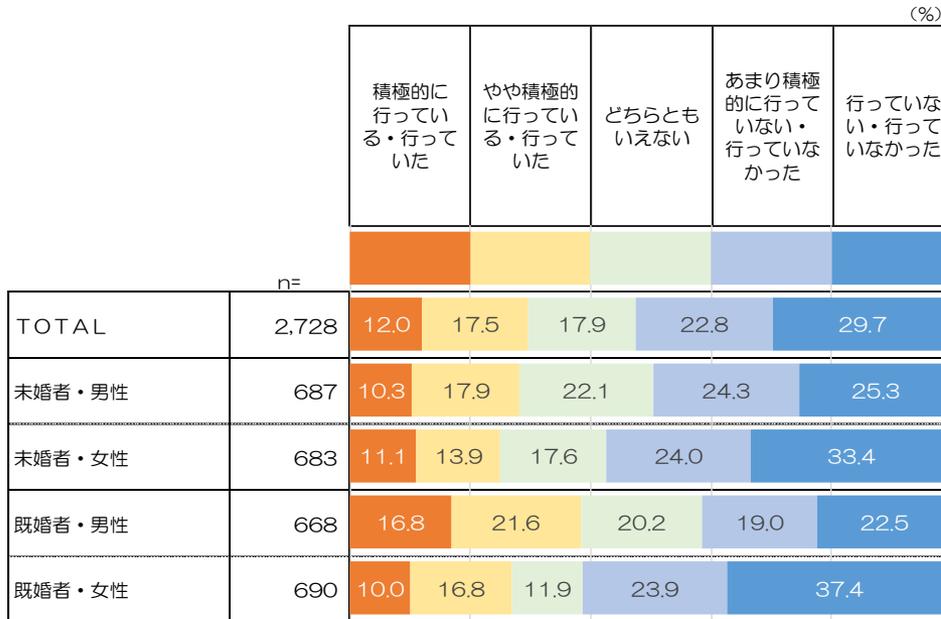
これまでは未婚者の意識についてみてきましたが、  
ここからは、未婚者の婚活などの**結婚行動**について  
見ていきたいと思います。

- 未婚者の未婚パターンを整理した調査によると、調査対象の未婚者のうち72%は「結婚したい」と考えているが、うち43%はまだ結婚に向けた活動に踏み出せていない層である。



- 既婚者は未婚者より総じて、独身時代の婚活・恋人探し活動が積極的。

## 婚活・恋人探しの実施状況



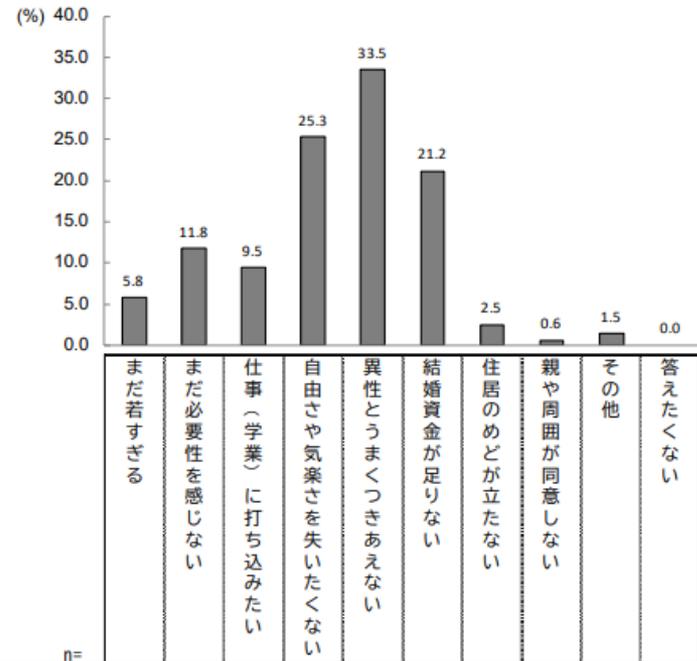
左図：内閣府子ども・子育て本部『令和3年度結婚支援ボランティア等育成モデルプログラム開発調査報告書』  
「婚活・恋人探しの実施状況」より抜粋

右図：株式会社エウレカ（2020）『日本の未婚化の要因に関する仮説検証調査』  
「Q8 活動頻度 未婚者/既婚者（20～40代）」

# (18) 異性との交際に自信がなく行動しない男性に対し、自分なりの考えがあって行動しない女性

- 20歳から49歳の未婚男女のうち、行動を起こしていない男性では、「異性とうまくつきあえない」、行動を起こしていない女性では、他に「自由さや気楽さを失いたくない」「まだ必要性を感じない」との回答が多い。

“適切な相手にめぐりあわない”と回答した者のうち、具体的な相手を探すための行動の有無別・性別で見た結婚していない理由



		n=	5.8	11.8	9.5	25.3	33.5	21.2	2.5	0.6	1.5	0.0
TOTAL		1864	5.8	11.8	9.5	25.3	33.5	21.2	2.5	0.6	1.5	0.0
何らかの行動を起こした	男性	318	3.8	9.1	9.4	20.8	37.1	26.1	3.8	0.9	2.2	0.0
	女性	402	4.7	9.2	11.9	26.9	33.8	13.9	1.7	0.7	1.0	0.0
特に何も行動を起こしていない	男性	699	6.3	12.0	8.3	24.2	37.3	30.3	3.4	0.0	1.4	0.0
	女性	445	7.4	15.7	9.4	29.0	24.7	10.1	0.9	1.1	1.6	0.0

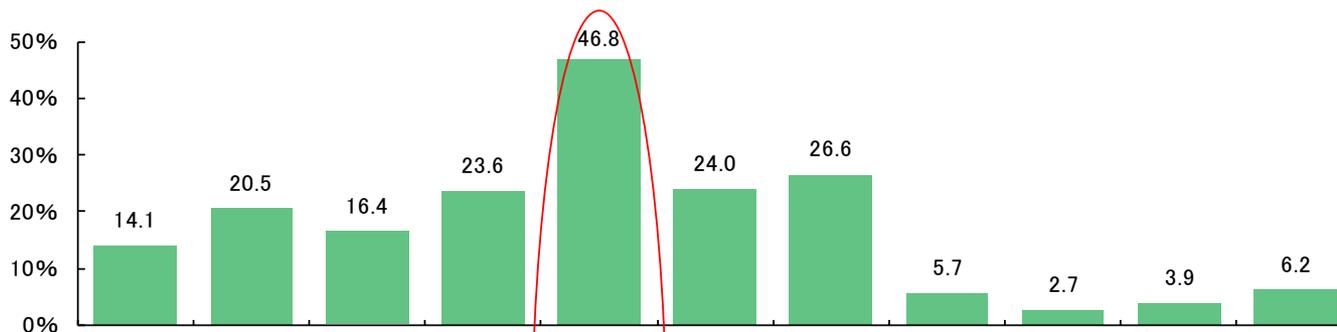
※何らかの行動を起こした：問26において、「特に何も行動を起こしていない」以外を選択した男女  
 ※特に何も行動を起こしていない：問26において、「特に何も行動を起こしていない」を選択した男女  
 ※「適切な相手にめぐりあわない」が100%のため、省略している。

内閣府子ども・子育て本部『平成30年度少子化社会対策に関する意識調査』“適切な相手にめぐりあわない”と回答した者のうち、「具体的な相手を探すための行動の有無別・性別で見た結婚していない理由」（複数回答）

# (19) 年齢が上がるにつれ見つかりにくい「理想の相手」

- 結婚していない理由について、年齢が上がるにつれ「適切な相手にめぐりあわない」の回答割合が大きくなる。

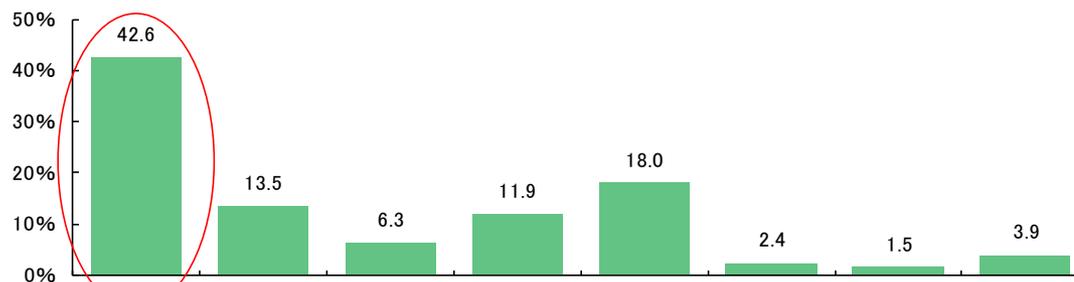
## 結婚していない理由



		n=	まだ若すぎる	まだ必要性を感じない	仕事(学業)に打ち込みたい	自由さや気楽さを失いたくない	適切な相手にめぐりあわない	異性とうまくつきあえない	結婚資金が足りない	住居のめどが立たない	親や周囲が同意しない	その他	答えたくない
TOTAL		3,980	14.1	20.5	16.4	23.6	46.8	24.0	26.6	5.7	2.7	3.9	6.2
男性	合計	2,241	14.1	19.9	15.5	22.4	45.4	26.4	32.7	6.2	1.7	2.8	6.1
	20~29歳	1,066	28.9	24.0	25.4	19.1	35.1	23.6	34.2	5.9	1.5	2.1	4.8
	30~39歳	656	1.1	17.1	7.3	24.1	52.3	32.6	34.0	7.2	2.3	2.6	6.4
	40~49歳	519	0.4	15.2	5.4	26.8	57.8	24.1	27.9	5.6	1.5	4.4	8.3
女性	合計	1,739	14.1	21.3	17.7	25.2	48.7	21.0	18.7	5.1	4.0	5.3	6.3
	20~29歳	973	24.7	27.6	28.2	25.1	38.6	17.9	21.7	5.2	3.6	4.8	4.8
	30~39歳	458	0.7	14.4	5.5	24.2	61.1	30.1	14.6	3.3	5.0	5.5	9.4
	40~49歳	308	0.6	11.4	2.6	26.9	62.0	17.5	15.6	7.1	3.6	6.5	6.2

- 男女とも「そもそも身近に、自分と同世代の未婚者が少ない（いない）ため、出会いの機会がほとんどない」が最も高くなっている。

## 適当な相手とめぐりあわない理由①



		n=	42.6	13.5	6.3	11.9	18.0	2.4	1.5	3.9
TOTAL		1,864	42.6	13.5	6.3	11.9	18.0	2.4	1.5	3.9
男性	合計	1,017	44.2	11.8	5.1	14.5	16.6	2.0	1.6	4.2
	20～29歳	374	38.0	12.6	2.9	13.9	23.5	2.1	2.7	4.3
	30～39歳	343	50.1	9.0	7.6	14.3	12.8	1.5	0.6	4.1
	40～49歳	300	45.3	14.0	5.0	15.3	12.3	2.3	1.3	4.3
女性	合計	847	40.6	15.5	7.8	8.7	19.7	2.8	1.4	3.4
	20～29歳	376	32.4	18.6	6.6	8.0	26.6	2.7	1.9	3.2
	30～39歳	280	47.1	10.4	7.1	10.7	17.9	2.9	0.4	3.6
	40～49歳	191	47.1	16.8	11.0	7.3	8.9	3.1	2.1	3.7

# (21) 政令都市在住以外の男性の結婚難要因となっている「不安定雇用」 42

- 都市規模別に結婚に至らない理由をみると、政令都市と比べて、中核都市・地方部在住の男性で「雇用が安定しないから」の回答割合が大きい。

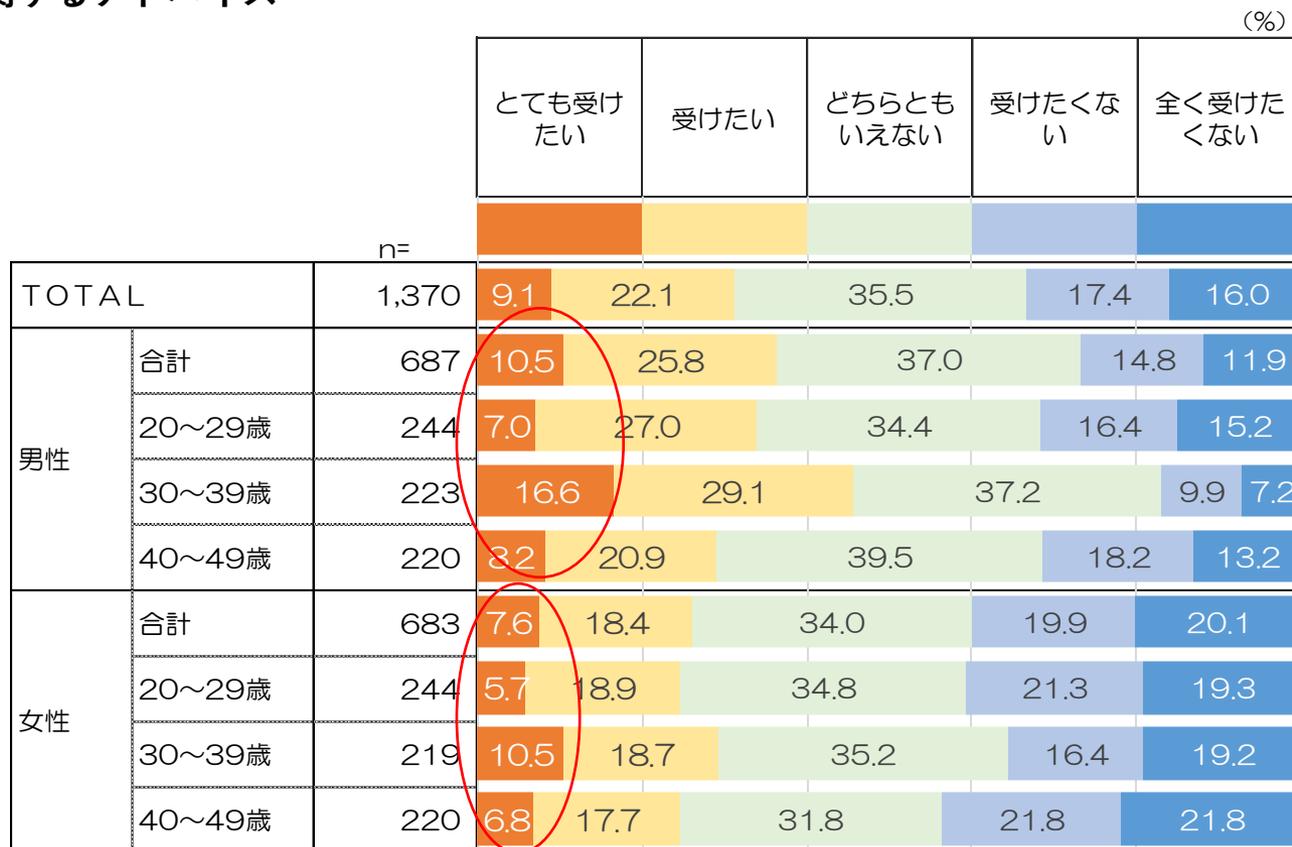
## 結婚に至らない理由

(複数回答) (%)

		n=	自分に合った相手となかなか出会えない	異性とのコミュニケーションに対する苦手意識がある	自由さや気楽さを失いたくないから	仕事や趣味・プライベートに打ち込みたい・集中したい	結婚後の生活費不足が不安だから	雇用が安定しないから	出会いはあるが、恋人以上に発展しない	理想が高い	親や周囲が同意しないから	子どもが嫌いだから	長男長女で避けられることが多いから	その他
未婚者 TOTAL	合計	1370	40.5	24.0	23.7	23.6	22.0	16.7	15.5	13.6	4.0	4.0	3.1	6.4
	政令都市在住	461	39.0	24.1	23.0	23.6	19.3	12.4	14.5	16.7	2.4	3.9	2.6	6.9
	中核都市在住	454	40.3	25.3	25.6	24.4	22.7	18.3	16.7	11.2	4.8	5.1	2.4	6.8
	地方部在住	455	42.2	22.6	22.6	22.9	24.2	19.6	15.4	13.0	4.8	3.1	4.2	5.5
未婚者・ 男性	合計	687	38.7	27.9	22.0	26.2	26.5	19.7	17.8	9.9	3.8	3.1	3.8	4.1
	政令都市在住	229	34.1	27.5	24.0	27.5	25.8	14.4	17.0	10.5	2.2	3.1	4.4	5.2
	中核都市在住	229	39.3	31.9	22.3	26.6	24.5	20.1	19.7	9.6	4.8	3.1	3.1	3.9
	地方部在住	229	42.8	24.5	19.7	24.5	29.3	24.5	16.6	9.6	4.4	3.1	3.9	3.1
未婚者・ 女性	合計	683	42.3	20.1	25.5	21.1	17.6	13.8	13.3	17.4	4.2	5.0	2.3	8.8
	政令都市在住	232	44.0	20.7	22.0	19.8	12.9	10.3	12.1	22.8	2.6	4.7	0.9	8.6
	中核都市在住	225	41.3	18.7	28.9	22.2	20.9	16.4	13.8	12.9	4.9	7.1	1.8	9.8
	地方部在住	226	41.6	20.8	25.7	21.2	19.0	14.6	14.2	16.4	5.3	3.1	4.4	8.0

- 婚活、結婚に関するアドバイスを第三者から受けたいと思うかというニーズについて、「受けたい」、「とても受けたい」とともに、男女年代問わず、ある程度の割合を占める。

## 婚活、結婚に関するアドバイス



## (23) 婚活、結婚に関して受けたと思う支援の男女ギャップ

- 「良い人の紹介」以外では、女性と比べて男性では「デートスポット」「ファッション」などの要望が強い。一方、女性では、「結婚の決め手や壁を乗り越えるための考え方」の要望が強い。

### 婚活、結婚に関するアドバイス

(複数回答) (%)

		n=	良い人の紹介	結婚の決め手や壁を乗り越えるための考え方	交際術やコミュニケーションのとりかた	デートスポットのアドバイス	ファッションなどのアドバイス	その他
未婚者 TOTAL	合計	427	76.3	46.8	46.4	28.6	28.1	0.7
	政令都市在住	147	74.8	49.0	50.3	25.9	27.9	0.7
	中核都市在住	135	79.3	48.9	47.4	34.1	30.4	1.5
	地方部在住	145	75.2	42.8	41.4	26.2	26.2	0.0
未婚者・ 男性	合計	249	75.9	41.4	51.4	40.2	36.1	0.0
	政令都市在住	90	74.4	42.2	53.3	35.6	34.4	0.0
	中核都市在住	79	78.5	45.6	51.9	46.8	36.7	0.0
	地方部在住	80	75.0	36.3	48.8	38.8	37.5	0.0
未婚者・ 女性	合計	178	77.0	54.5	39.3	12.4	16.9	1.7
	政令都市在住	57	75.4	59.6	45.6	10.5	17.5	1.8
	中核都市在住	56	80.4	53.6	41.1	16.1	21.4	3.6
	地方部在住	65	75.4	50.8	32.3	10.8	12.3	0.0

## 第3章. 婚活・結婚支援サービス業界の現状

(これまで)

- ・世話好きな親戚や知人が「お見合い」の話を持ってくる
- ・職場内恋愛などの出会いの機会



(最近)

- ・こうした出会いの機会が減少。
- ・マッチングアプリの利用が増加するなど、新たな出会いの機会も誕生。

ここでは、結婚相談所やマッチングアプリなどを含む、最近の結婚支援サービス業界全体の動向や、個別の婚活・結婚支援サービス事業者の状況・近年の婚活サービスに対するイメージの変化について見ていきたいと思います。

- 男女ともに20代と30代において利用経験者が多い（20代男性24.9%、30代男性24.4%、20代女性26.5%、30代女性33.7%）。また、新型コロナウイルス流行前と比べて婚活サービスのイメージ向上や婚活へのモチベーションの高まりが伺える。

### ■ 婚活サービスの利用経験割合【全体・性年代別】（1次調査/恋愛もしくは結婚意向がある恋人のいない独身者/単一回答）

※婚活サービス：結婚相談所、ネット系婚活サービス、婚活パーティ・イベントの3サービス

※独身者：結婚経験のない未婚者および結婚経験のある（死別・離別の）現在独身者



### ■ 「婚活（恋活）サービス」に関する内容について、新型コロナウイルス流行前（2020年3月以前）と比べた際の意識や状況の変化（2次調査/恋愛もしくは結婚意向のある婚活サービス利用中の独身者/それぞれ単一回答）

※婚活サービス：結婚相談所、ネット系婚活サービス、婚活パーティ・イベントの3サービス

※婚活サービス利用者：本調査タイミングで何らかしらの婚活サービスを利用

※小数第2位を四捨五入しているため、内訳の計と合計が一致しない場合がある

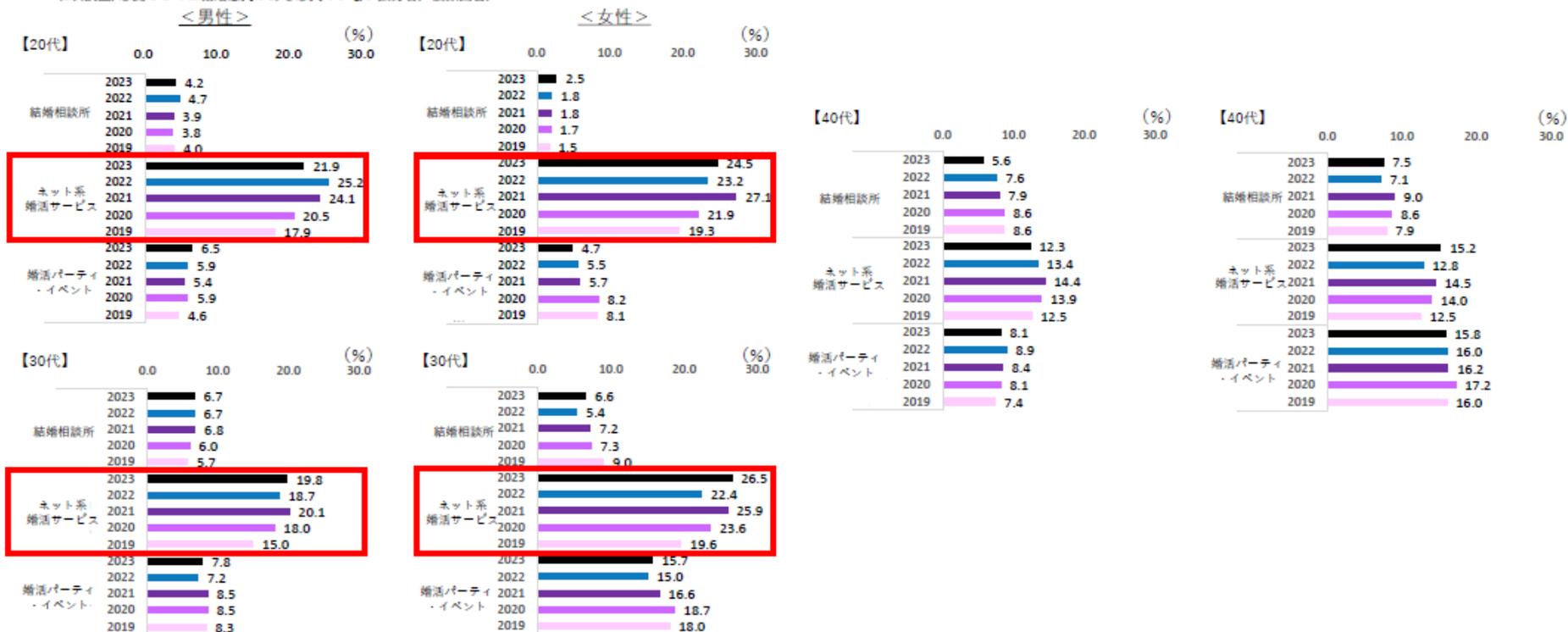


# (1) 婚活・結婚支援サービス業界の動向 ②

- 利用経験のある婚活サービスは、20代・30代においてはネット系婚活サービスの割合が男女ともに高くなっている。(複数回答)

■ 各婚活サービスの利用経験割合【性年代別】

(1次調査/恋愛もしくは結婚意向がある恋人のいない独身者/複数回答)



- 婚活・恋人探しの活動内容をみると、都市規模に関わらず、「友人・知人の紹介」や「婚活イベント」などのほか、「マッチングアプリ」の利用も活発。

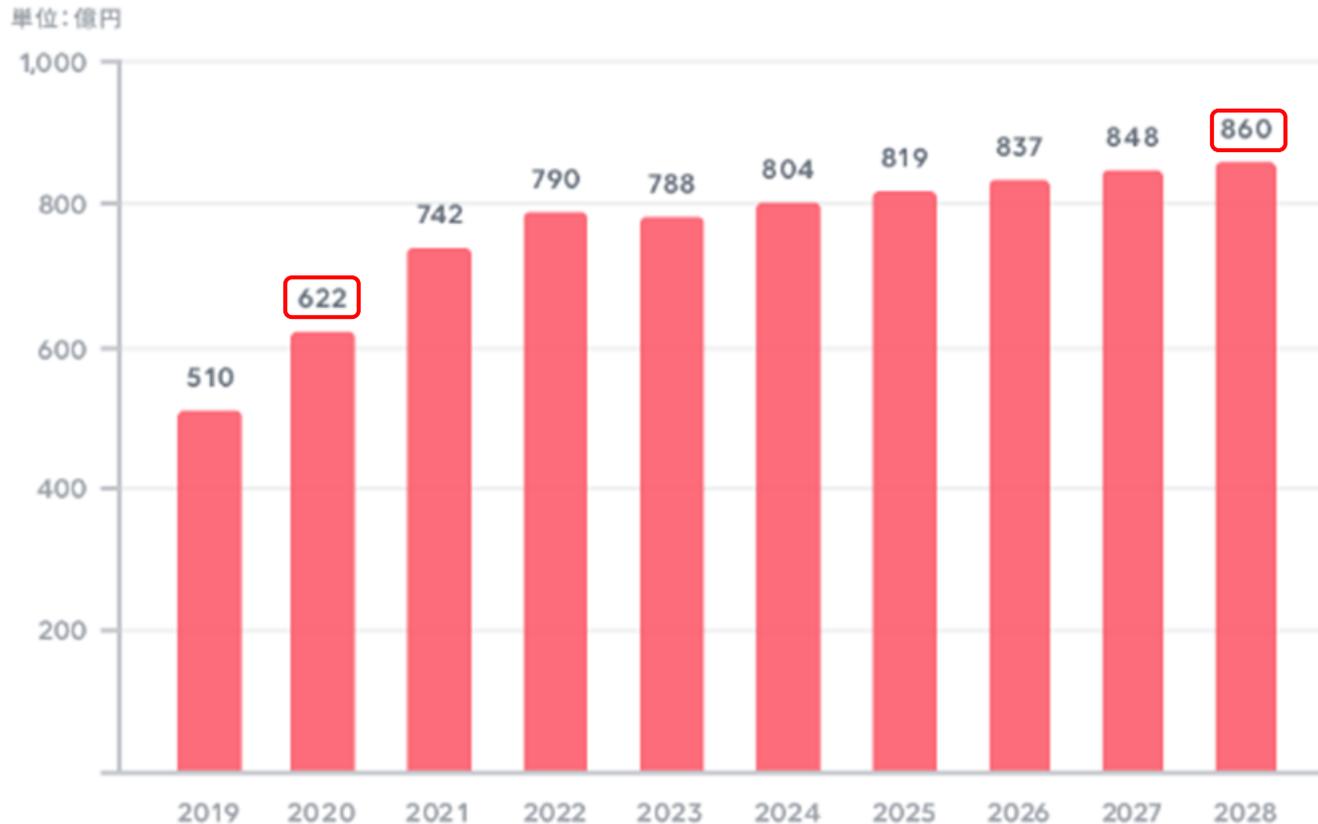
## 現在の婚活・恋人探しの活動内容

(複数回答) (%)

		n=	友人・知人に紹介を頼む	マッチングアプリ	合コン、街コン、婚活パーティーなどの出会いを目的としたイベント	職場の同僚や先輩に紹介を頼む	サークル活動、習い事、資格取得のための学校	SNS やオンラインサービス	家族や親戚の紹介/ お見合い	民間の結婚支援事業を利用する	地方自治体やNPOなどの団体の結婚支援事業を利用する	その他	行っていない
未婚者 TOTAL	合計	1370	25.1	24.7	17.6	10.5	6.2	5.8	5.3	4.2	2.9	0.2	52.3
	政令都市在住	461	24.3	24.1	17.6	10.8	5.6	7.2	4.1	4.3	1.5	0.2	52.7
	中核都市在住	454	25.8	24.7	18.7	10.6	5.7	5.9	7.3	3.3	3.7	0.4	54.0
	地方部在住	455	25.3	25.3	16.5	10.1	7.3	4.4	4.4	4.8	3.5	0.0	50.1
未婚者・ 男性	合計	687	29.5	29.4	21.4	14.0	7.9	7.9	6.4	5.5	3.8	0.1	46.0
	政令都市在住	229	29.3	31.9	21.0	15.7	7.9	10.9	4.4	5.2	2.6	0.0	43.7
	中核都市在住	229	30.6	28.4	24.0	14.8	7.4	6.1	9.2	5.7	5.7	0.4	47.6
	地方部在住	229	28.8	27.9	19.2	11.4	8.3	6.6	5.7	5.7	3.1	0.0	46.7
未婚者・ 女性	合計	683	20.6	19.9	13.8	7.0	4.5	3.8	4.1	2.8	2.0	0.3	58.6
	政令都市在住	232	19.4	16.4	14.2	6.0	3.4	3.4	3.9	3.4	0.4	0.4	61.6
	中核都市在住	225	20.9	20.9	13.3	6.2	4.0	5.8	5.3	0.9	1.8	0.4	60.4
	地方部在住	226	21.7	22.6	13.7	8.8	6.2	2.2	3.1	4.0	4.0	0.0	53.5

- 2020年のオンライン恋活・婚活マッチングサービス市場は、前年比約2割増の622億円。2028年には2020年比1.38倍の860億円に達する見込み。

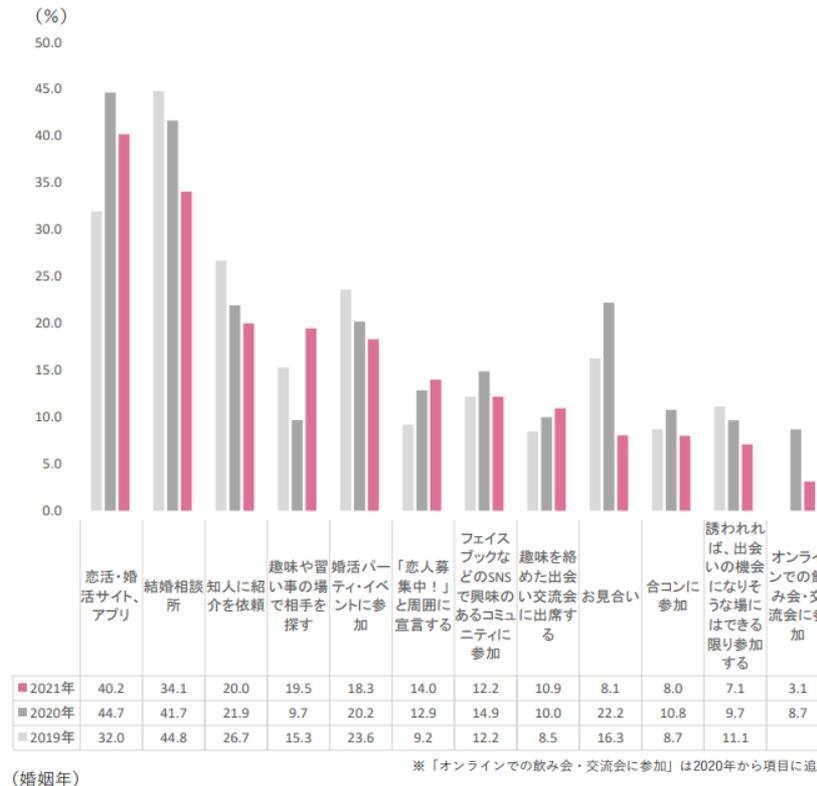
### 国内オンライン恋活・婚活マッチングサービスの市場予測



### (3) 民間の婚活支援サービスの状況

- 結婚した人の婚活支援サービスの利用状況をみると、コロナ禍もあってか、婚活サイト・アプリの利用割合が増えている。具体的な割合は、婚活サイト・アプリ（40.2%）、相談所（34.1%）、お見合い（8.1%）、知人に紹介を依頼（20.0%）、婚活パーティ・イベント（18.3%）。

#### 民間の婚活支援サービスの利用状況



リクルートブライダル総研『婚活実態調査2023』「実施（利用）した婚活によって、結婚した人の割合（1次調査／各年に結婚した人のうち、各婚活を実施（利用）した既婚者／各項目単一回答）」

### ①結婚相談所

- 婚活・結婚支援サービスは、「利用までの流れ」、「サービス内容」、「料金」などで「店舗型相談所」、「オンライン型相談所」、「オンラインサービス」に大別される。それぞれに違った特徴があり、個人の希望にあったサービスをよく考えて選ぶことが重要。
- 結婚相談所は、結婚を希望する独身の会員に対して、結婚を前提とした出会いを支援するサービス。利用するには本人確認書類に加え、独身証明書や年収証明書などを求める事業者が多い。

(事業者・団体により異なる。上記は一般的な例示)



## (4) 婚活・結婚支援サービス別の特徴

### ②オンラインサービス（婚活サイト・マッチングアプリ等）

- オンラインサービスは20代～30代の利用者が多く、恋愛や結婚対象となるパートナーとの出会いを気軽に見つけられるサービス。
- 利用料金が定額制のところが多く、比較的安価で気軽に始められる。
- 最近は、オンラインサービスであっても、独身証明書の提出を求めたり、専用のカウンセラーが支援したりするなど、利用者の真剣度に応じて、様々なサービスを提供するケースも。

(事業者・団体により異なる。上記は一般的な例示)



### ③地域の結婚支援センターによる結婚支援サービス

- 地域の結婚支援センター等が提供するサービス内容を明記

パートナーを見つけるための活動をオンラインでサポートするサービスでは、オンラインで気軽にパートナーを探せる一方、本人確認の徹底が難しいことから、本来の利用方法ではない目的で近づいてくる人物とマッチングしてしまうこともある。

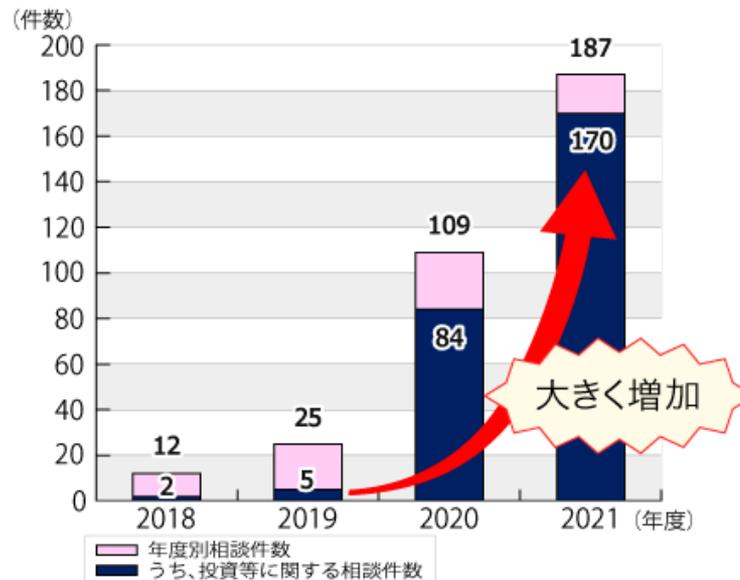
悪質な事例は続いており、利用者にとっても注意が必要である。

### 相談事例から見える問題点

- メッセージのやり取りだけでは本人確認が難しい
- 紹介された投資サイト等が架空
- 個人情報が悪用される可能性がある

- パートナーを見つけるための活動をオンラインでサポートするサービスでは、オンラインで気軽にパートナーを探せる一方、本人確認の徹底が難しいことから、本来の利用方法ではない目的で近づいてくる人物とマッチングしてしまうこともある。

### 出会い系サイトやマッチングアプリ等に関する年度別相談件数



年度別相談件数：2018年度は12件（うち投資等に関する相談は2件）、2019年度は25件（うち投資等に関する相談は5件）、2020年度は109件（うち投資等に関する相談は84件）、2021年度は12月31日までに187件（うち投資等に関する相談は170件）です。

（注）国民生活センター越境消費者センター（CCJ）で2018年4月1日から2021年12月31日までに受け付けた相談。

独立行政法人国民生活センター 2022年3月3日発表情報より

「図. CCJにみる、出会い系サイトやマッチングアプリ等に関する年度別相談件数」

※CCJ：Cross-border Consumer center Japanの略。

## Check !

利用者に対するアドバイスとして

- 出会い系サイトやマッチングアプリ等の規約をよく読んでから利用すること
- 投資等の話でうまいもうけ話には安易に応じないこと
- 個人情報を安易に提供しないこと

## 第4章. 結婚支援ボランティアの活動内容

結婚支援ボランティアの皆さんは、結婚のことで助けを必要とする地域の方々に対して、様々な形で支援活動を行います。

ここではまず結婚支援ボランティアの方々の活動内容は、どのようなものかを理解していただきます。

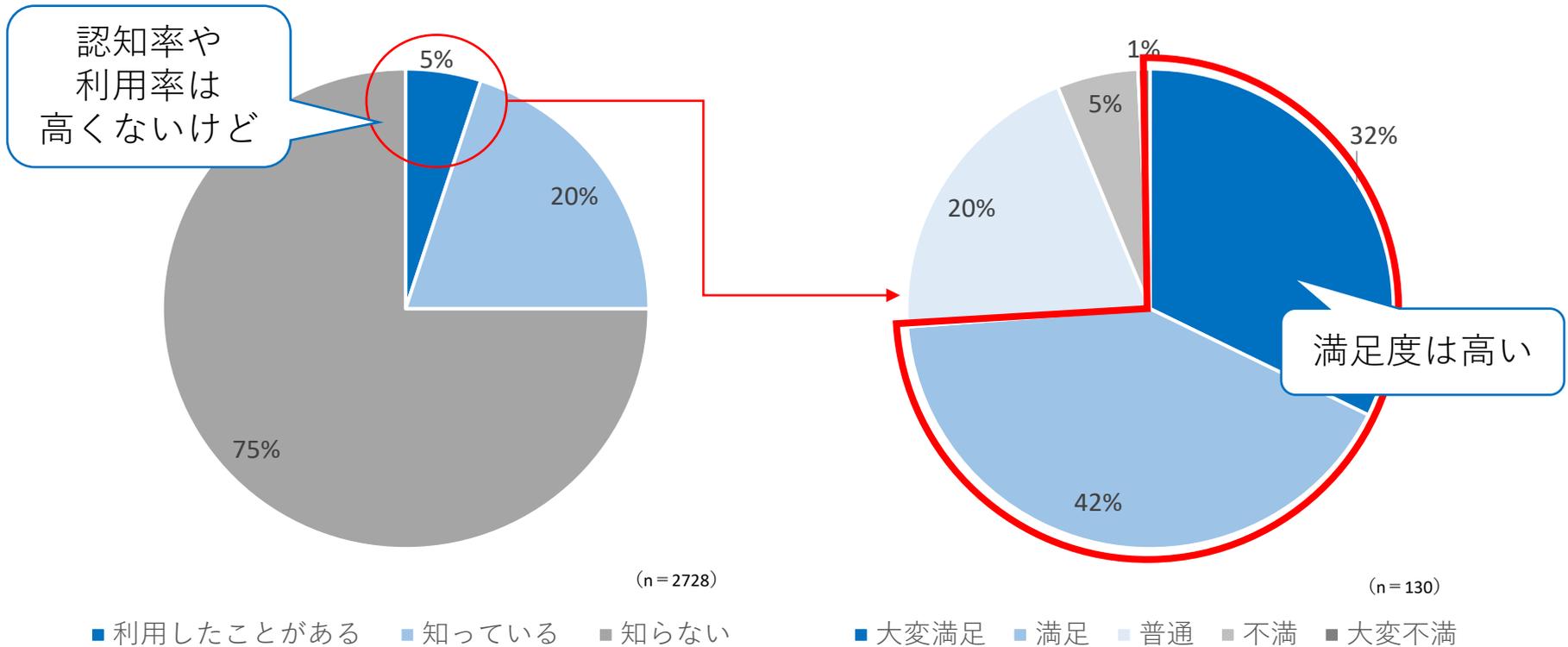
当県の結婚支援ボランティアの主な活動は、

- 1 1対1のお引き合わせ時の立会い・フォロー
- 2 婚活イベントの運営サポート
- 3 各取り組みでのカップリング後の交際フォロー
- 4 地域における独身者への広報、出会いの応援
- 5 結婚希望者を取り巻く関係者への啓発活動

以上の5つです。

第1回研修の時にデータでお示したように、本人たちの努力だけで婚活を進めるのが厳しい現状もある中、婚活支援するのが主な役割です。

皆様のように活動するボランティアの利用実態や評価は、



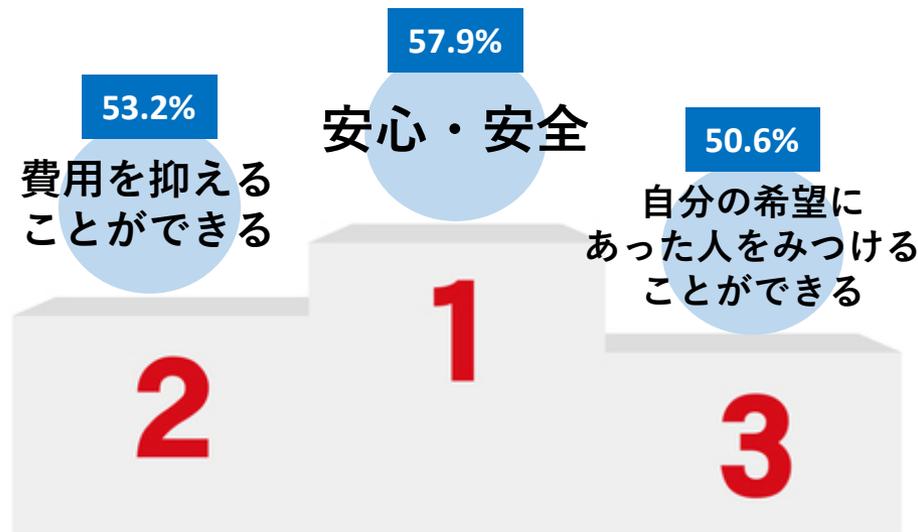
注) 当県だけでなく全国の結婚支援ボランティアの平均です

## 行政主体の結婚支援ボランティアに対して期待することは、

Q：行政主体の結婚支援ボランティア（結婚相談サポーター、結婚相談支援員含む）でサービスを利用する・利用した際に期待する/期待したことは何ですか？

※「とてもあてはまる」「どちらかというにあてはまる」の合計のTOP3

(n=2728)



利用者の期待に応えるためにも、センター所属のボランティアとして、責任ある活動を心がけましょう。

### 当県の結婚支援ボランティアの主な活動の内容

- |   |                       |                                       |
|---|-----------------------|---------------------------------------|
| 1 | 1対1のお引き合わせ時の立会い・フォロー  | 1対1の引き合わせの日程調整、当日の立ち合い。               |
| 2 | 婚活イベントの運営サポート         | 県・センター主催のイベント時の運営フォロー。                |
| 3 | 各取り組みでのカップリング後の交際フォロー | カップリング後の意思確認、進捗確認、後押し。                |
| 4 | 地域における独身者への広報、出会いの応援  | 機縁などによる地域の独身者の出会いの応援、地域の登録システムへの登録促進。 |
| 5 | 結婚希望者を取りまく関係者への啓発活動   | センター主催の親セミナーでの個別相談。                   |

次のページから、それぞれの活動内容について、具体例を挙げながら解説していきます。

### ① 1対1のお引き合わせ時の立会い・フォロー<sup>①a</sup>

## 日程調整の連絡・情報の確認

センターよりマッチングしたお二人の情報が送られてきます。  
メールを使って連絡し、お会いする日程を決めていきましょう。  
プロフィールを確認し共通点などを事前に把握しておくといよいでしょう。



件名：お引き合わせ日程の件

〇〇様

はじめまして。  
婚活サポーターの鈴木と申します。  
(中略)  
マッチングしましたお相手との日程  
について。  
ご都合の良い日程を何点か教えてく  
ださい。



仕事は土日がお休みなので、土日のどちらか  
お願いします。

木曜日か日曜日なら都合がつかます。  
できれば午後だとありがたいです。



日曜日の午後がよさそうね・・・  
会場の予約をして、確定したらお二人にも決まった日程をお知らせしなきゃ！  
事前にお二人のプロフィールも再度確認しておきましょう。  
音楽の趣味が共通点ね！話題に困ったら好きな音楽について話を振るといいかも・・・

## (2) 結婚支援ボランティアの活動内容

### ① 1対1のお引き合わせ時の立会い・フォロー②

## 会場の確認

当県で利用できるお引き合わせ会場



【A地区】 ホテル●●ラウンジ

住所：●●町2丁目-15  
電話：00-0000-0000  
定休日：第2・4火曜日



【B地区】 喫茶店▽

住所：--町1丁目-1  
電話：00-0000-0000  
定休日：なし（年未年始）



【C地区】 ホテル×ラウンジ

住所：×○町3丁目-10  
電話：00-0000-0000  
定休日：なし（年未年始）



【D地区】 レストラン◇◇

住所：△●町1丁目-1  
電話：00-0000-0000  
定休日：木曜日

- 一度も行ったことがない会場は、可能なら下見しておくで安心。
- 当日は〇〇分程度前に会場に向かい、席のレイアウトの確認やお茶菓子を持ってきてもらうタイミングをお店の方と打ち合わせしておくでよい。

## 当日の同席・ルールと留意事項の説明

当日はまず会員証と本人確認書類で本人確認をし、留意事項について説明します。

### <当県の基本ルール・留意事項>

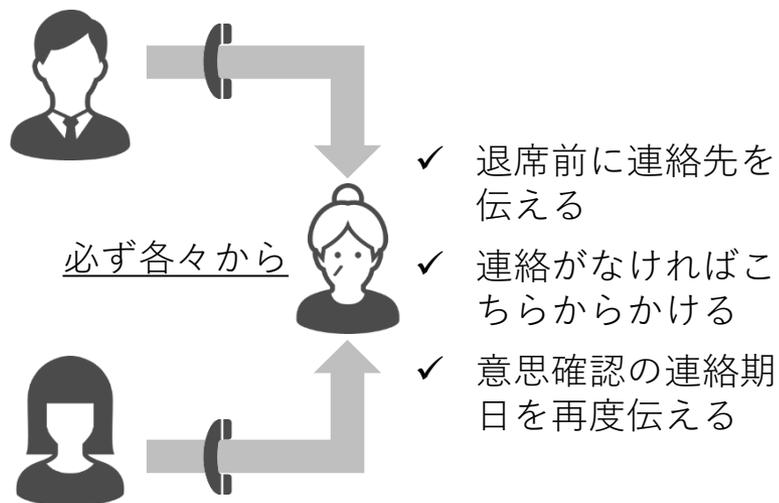
- ✓ 初回お引き合わせ時には、お名前や連絡先などは非公開です。  
(無理に聞き出したりしないように注意します)
- ✓ 時間は〇時間までです。会場で解散するよう伝えてください。  
(盛り上がっても後日日程調整してもらいます)
- ✓ 終わりましたら各々サポーターへ連絡してもらってください。  
(それぞれから連絡するよう伝えましょう)
- ✓ 〇日以内に再度お会いしたいかサポーターに連絡してもらってください。  
(ダメだった場合も連絡が必要です、連絡がない場合こちらから連絡しましょう)
- ✓ 不成立だった場合、お相手のプロフィールが閲覧できなくなる旨伝えてください。  
(後からクレームにならないよう事前説明してきましょう)

おおよそ〇分程度経過したら様子を見て退席します。

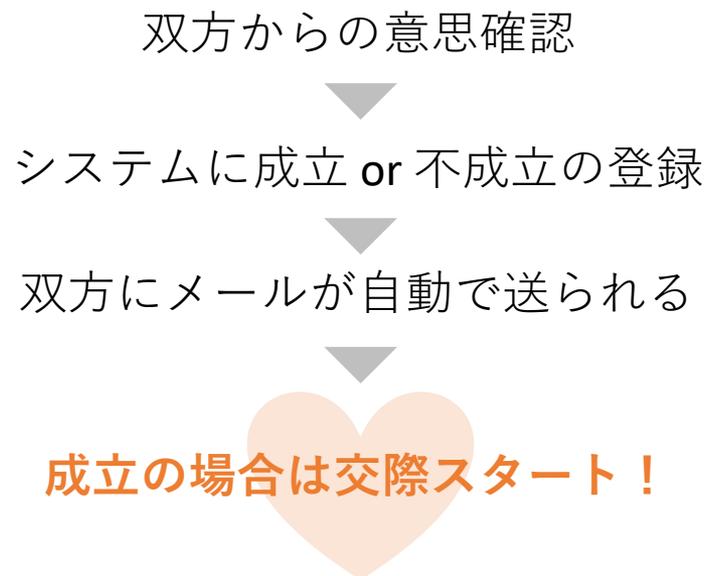
## お引き合わせ後の終了連絡・意思確認

お引き合わせ終了時と、その後の意思確認については必ず各々からもらってください。

### 終了連絡



### 意思確認



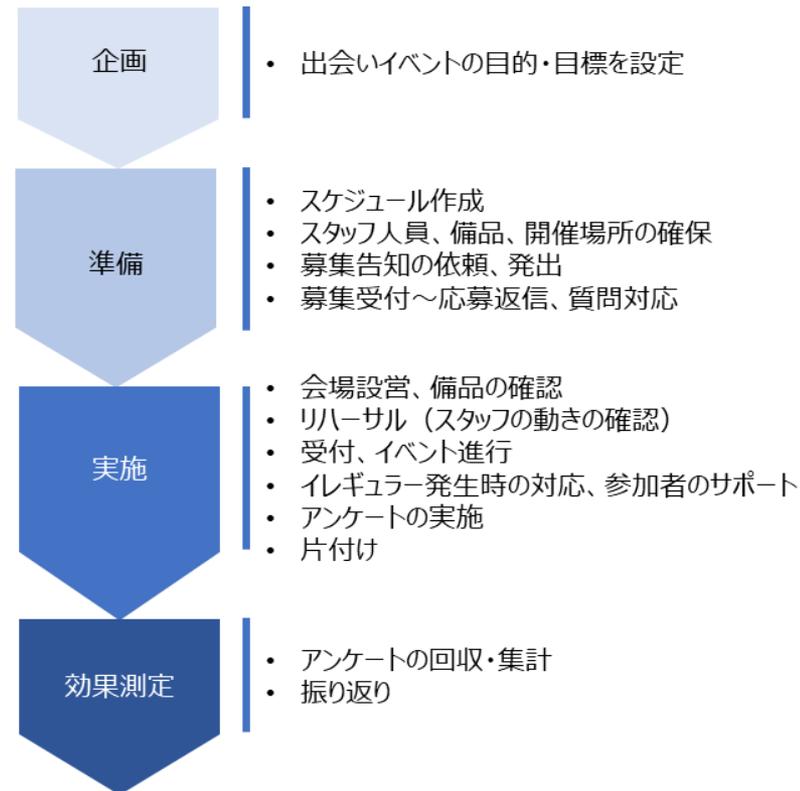
成立した場合は、めでたく「③各取り組みでのカップリング後の交際フォロー」へ進みます！

### ② 婚活イベントの運営サポート①

## 活動の内容

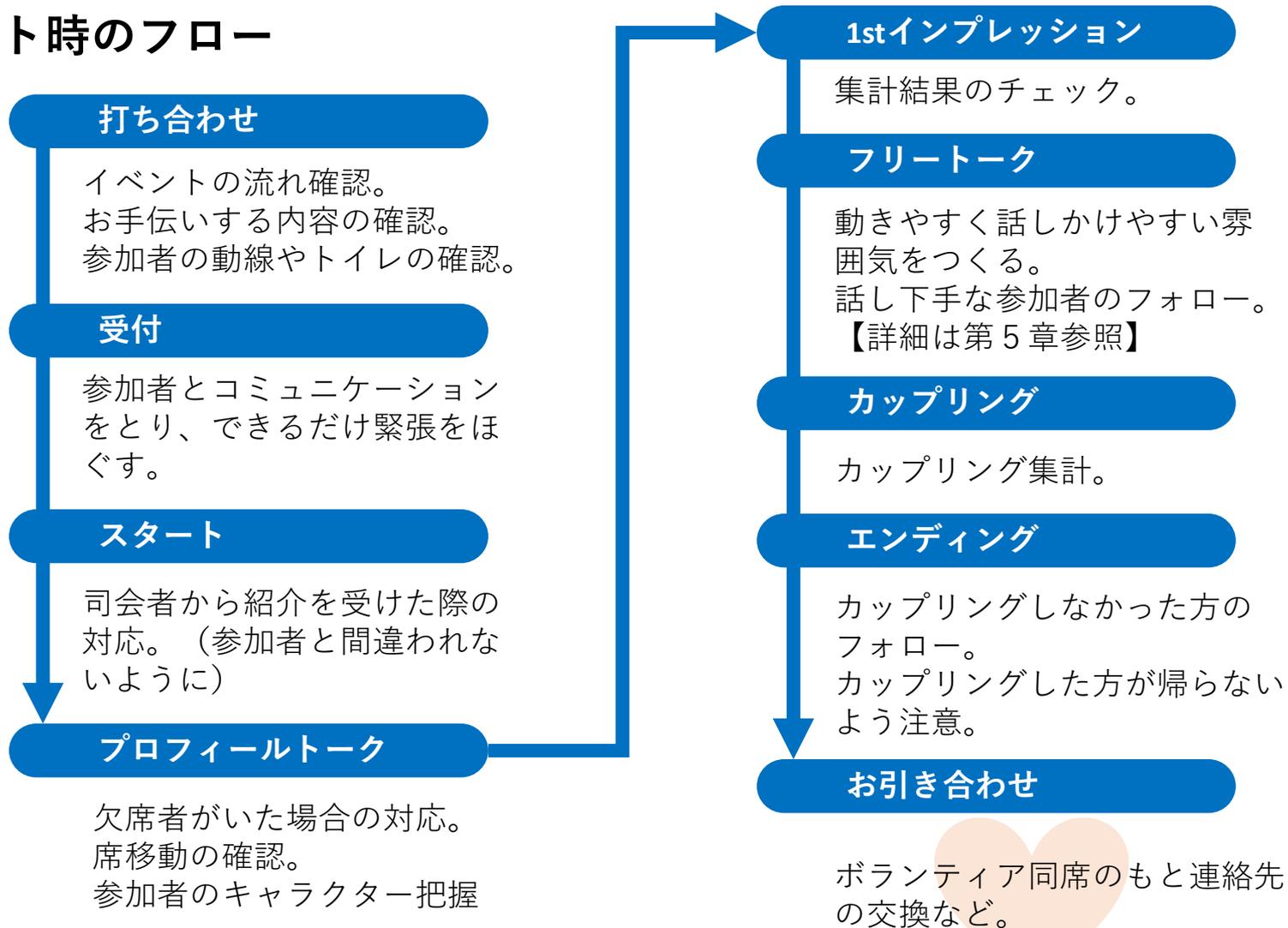
イベント時の企画（代表的なイベントの企画運営の流れ）  
婚活イベントの企画はおおまかに、企画、準備、当日運営、効果測定の4つから構成される。例えば、下図のような流れが考えられる。

イベントの企画運営の流れと主な対応事項



### ② 婚活イベントの運営サポート ⑥

#### イベント時のフロー



### ② 婚活イベントの運営サポート③

#### イベント時のフロー（代表的なイベント全体の流れ）

イベント当日は円滑に進められるよう、あらかじめタイムスケジュールと、担当する役割分担、必要備品の管理等を決めておくことが望ましい。以下は、タイムスケジュールの例である。

タイムスケジュール	ラップ	内容
1時間前～15分前	45分	設営・準備・リハーサル
15分前～	15分	受付
開始時刻～30分後	30分	セミナー
30分後～60分後	30分	1対1でのトーク時間
60分後～90分後	30分	グループイベントタイム
90分後～120分後	30分	フリートーク時間・連絡先交換
イベント終了～終了後30分	30分	撤収作業

## ② 婚活イベントの運営サポート④

### マッチングカード等の記入・集計例

#### ■ファーストインプレッションカード

<ファーストインプレッションカード>

男性 女性 \_\_\_\_番さんへ

先ほどのプロフィールトークで、 \_\_\_\_番  
さんと仲よくなれたらいいなと思いました。  
よろしく申し上げます。

男性 女性 \_\_\_\_番より

#### ■マッチングカード

<マッチングカード>

男性 \_\_\_\_番さん

第一候補 \_\_\_\_\_番

第二候補 \_\_\_\_\_番

第三候補 \_\_\_\_\_番

#### ■マッチング判定シート

	女1	女2	女3	女4	女5	女6	
男1		A	A			C	B
男2	B	A		A			C
男3	A		C	B	C	C	A
男4		C		A	B	B	C
男5	C	A	B			B	B
男6		B		A	A	A	B

男性は黒で (→横のライン左列)

女性は赤で (↓縦のライン右列)

第一候補：A 第二候補：B 第三候補：C

#### ■結果報告カード

男性 女性 ____番さんへ ※〇がついている方へお進みください。	
( )	( )
おめでとうございます。本日は____番の方とカップルになりました。この後、お相手とお引き合わせいたします。	残念ながらマッチングはありませんでした。今後もセンターでは皆さまに良い出会いをお届けしてまいります。
<u>そのまま席に残り下さい。</u>	またのご参加をお待ちしております。

## イベント中のフォローアップ

イベント中はボランティアの皆さまに参加者のフォローをしていただきます。以下のような参加者（初心者が多い）は特に注意が必要です。

- 準備が不十分
  - ⇒プロフィールまとめ忘れ等
- イベントの流れがわかっていない
  - ⇒緊張で説明を聞いていない
- たくさんの異性と話すため相手を把握できない
  - ⇒メモを取らない、話した内容がわからない
- フリートークを活用できない
  - ⇒意中の相手に話せずに終わる
- カップリングで迷う
  - ⇒お相手を絞り切れない

イベント中のフォローアップに関する詳細は、第5章の「結婚支援業務に関する知識・技能」で紹介します。

## カップリング後のフォローアップ

1対1のお引き合わせ、婚活イベント終了後担当したお二人が双方「もう一度会いたい」となった場合は、交際がスタートします。以下の流れでしっかりとサポートしていきましょう。



## 不成立時のフォロー

カップルが成立しても全てが成婚につながるわけではありません。様々な理由で不成立になることもあります。参加者の心が折れそうになることもあると思いますが、婚活が継続できるよう励ましながら支えていきましょう。

カップリング後のフォローアップに関する詳細は、第5章の「結婚支援業務に関する知識・技能」で紹介します。

#### 利用者との顔合わせ（相談申込/機縁紹介）

身近な知り合いやよく行くお店などに「婚活ボランティア」として活動していることをアピールしておく、情報が入りやすくなる場合も。

結婚を希望する独身者やその家族から相談があった場合は、本人と面談をし、支援内容の説明や希望条件のヒアリングを行います。

本人に結婚の意思があることを必ず確認してください。

#### 本人および独身者であることの確認

本人と面談する際は、必ず本人確認と独身であることの確認を行ってください。

##### 本人確認

写真付きの本人確認書類（免許証・パスポート等）で確認。ない場合は複数の身分証を提出してもらう。

##### 独身確認

独身証明書で確認（1か月以内の発行されたものに限ります）。

## 初回面会時の説明事項

初回面会時に、結婚支援サービスの制度や決まり事、注意事項についてきちんと説明しトラブルを防止していきましょう。

### < ボランティア制度の仕組み >

- ✓ ボランティアと利用者の信頼関係の構築が重要なので、不謹慎な態度の方やこちらの注意事項が守れない方に対しては、支援できないことを伝えること。
- ✓ ボランティア活動であり、必ずお相手の紹介を約束するものではないこと。
- ✓ ボランティアの報酬、活動経費は一切請求しないこと。
- ✓ 自らもお相手探しに努力すること。

### < 支援のおおよその期限 >

- ✓ 支援する期限を、利用者との話し合いによりあらかじめ定め、その期間が経過した際にはいったんプロフィールや身上書を返却することを伝えること。
- ✓ 上記の期間を経過した場合でも、支援の継続を利用者が希望し、ボランティアもこれに応じることに合意すれば、その後の継続も可能であること。ただし、継続する場合は、新たなプロフィールの記入を求めること。

### < 個人情報の保護についての説明 >

- ✓ お預かりした個人情報は適正に管理することを伝えること。又、ボランティア同士で情報交換を行うことについて了解を得ること。
- ✓ 紹介を受けた異性の個人情報を決して第三者に漏らすことのないよう利用者に秘密厳守を約束してもらうこと。

### < 費用の負担 >

- ✓ ボランティアへの支払は不要であるが、お見合いの飲食や会場費、パーティーの参加費等の費用に関しては利用者の負担となることを説明すること。

### < トラブルが発生した場合の責任 >

- ✓ お相手の紹介および紹介後に発生したトラブル等については、当事者同士で解決することを説明すること。

### < カップルの現況報告 >

- ✓ ボランティアから紹介を受けて交際を始めたカップルに対し、定期的に、「交際中である」、「結婚が決まった」等、現況の報告をする必要があることを説明すること。

## ④ 地域における独身者への広報、出会いの応援④

### 利用者情報および相手についての希望の登録

当県では以下の様式に、利用者の情報と希望条件を記入してもらいます。

第3号様式（相談者用）【結婚分野】

**相談者情報登録書（自己申告書）**

相談者番号（世話やき人が記入）： No. \_\_\_\_\_ 氏名 \_\_\_\_\_  
 担当世話やき人： \_\_\_\_\_ (No. \_\_\_\_\_)  
 相談受付日： \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日

**相談者プロフィール**

居住市町村		性別	男・女
生年月日	S・H 年 月 日	年齢	歳
身長	cm		
結婚歴	<input type="checkbox"/> 初婚 <input type="checkbox"/> 再婚(死別) <input type="checkbox"/> 再婚		
子どもの有無	<input type="checkbox"/> 無し <input type="checkbox"/> 有り( )		
現在の住まい	<input type="checkbox"/> 自分の持ち家 <input type="checkbox"/> 家族の持ち家		
職業	<input type="checkbox"/> 農林水産業 <input type="checkbox"/> 自営業 <input type="checkbox"/> 会社 <input type="checkbox"/> パート・アルバイト <input type="checkbox"/> 無職 <input type="checkbox"/>		
職種	<input type="checkbox"/> 専門技術 <input type="checkbox"/> 管理 <input type="checkbox"/> 事務 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 農林漁業 <input type="checkbox"/> 運輸通信 <input type="checkbox"/> 製造		
転勤の有無	<input type="checkbox"/> 無し <input type="checkbox"/> 県内 <input type="checkbox"/> 近県 <input type="checkbox"/> 国内 <input type="checkbox"/> 海外		
最終学歴	<input type="checkbox"/> 中学校卒 <input type="checkbox"/> 高等学校卒 <input type="checkbox"/> 専門学校卒 <input type="checkbox"/> 短大卒 <input type="checkbox"/> 大卒 <input type="checkbox"/> 大学院卒 <input type="checkbox"/> その他( )	年 取	
タバコ	<input type="checkbox"/> 吸わない <input type="checkbox"/> 吸う	お酒	<input type="checkbox"/> 好き <input type="checkbox"/> 付き合い程度 <input type="checkbox"/> 飲まない
家族構成	自分の続柄 <input type="checkbox"/> 長男 <input type="checkbox"/> 次男 <input type="checkbox"/> 長女 <input type="checkbox"/> 次女 <input type="checkbox"/> その他( ) 同居の家族 <input type="checkbox"/> 祖父 <input type="checkbox"/> 祖母 <input type="checkbox"/> 父 <input type="checkbox"/> 母 <input type="checkbox"/> 子ども(詳細 ) <input type="checkbox"/> 兄弟姉妹(詳細 ) <input type="checkbox"/> その他( )		
県外にお住まいの方	今後福島に移住する予定 <input type="checkbox"/> 有 今後福島に勤務する予定 <input type="checkbox"/> 有		
福島での予定住所地もしくはエリア	〒 _____ <input type="checkbox"/> 東北 <input type="checkbox"/> 県中 <input type="checkbox"/> 県南 <input type="checkbox"/> 会津 <input type="checkbox"/> 相双 <input type="checkbox"/> いわき		
特記事項	(治療中の病気、障がい、後遺症など)		
自己PR (性格・趣味 特技・資格等)			

各都道府県（市町村）のもの

**相手についての希望**

○お相手を選ぶ際の条件となりますので、※印以外は必ず記入してください。

年齢	<input type="checkbox"/> こだわらない <input type="checkbox"/> _____ 歳位から _____ 歳位まで
身長	<input type="checkbox"/> こだわらない <input type="checkbox"/> _____ cmから _____ cm位まで
現在の居住地 (複数回答可)	<input type="checkbox"/> こだわらない <input type="checkbox"/> 同一市町村内 <input type="checkbox"/> 東北 <input type="checkbox"/> 県中 <input type="checkbox"/> 県南 <input type="checkbox"/> 会津 <input type="checkbox"/> 相双 <input type="checkbox"/> いわき
職業 (複数回答可)	<input type="checkbox"/> こだわらない <input type="checkbox"/> 農林水産業 <input type="checkbox"/> 会社員 <input type="checkbox"/> 公務員 <input type="checkbox"/> 団体職員 <input type="checkbox"/> 自営業 <input type="checkbox"/> パート・アルバイト <input type="checkbox"/> その他( )
年収	<input type="checkbox"/> こだわらない <input type="checkbox"/> 100万円以上 <input type="checkbox"/> 200万円以上 <input type="checkbox"/> 300万円以上 <input type="checkbox"/> 万円以上 <input type="checkbox"/> 500万円以上
その他重視する点	_____の方がよい
結婚後の共稼ぎ	<input type="checkbox"/> 希望する <input type="checkbox"/> 希望しない <input type="checkbox"/> 話し合い
転勤の有無 (複数回答可)	<input type="checkbox"/> 無い方がよい <input type="checkbox"/> 県内 <input type="checkbox"/> 近県 <input type="checkbox"/> 国内 <input type="checkbox"/> 海外
※婿養子の希望 (女性のみ記入)	<input type="checkbox"/> こだわらない <input type="checkbox"/> 婿養子にきてくれる方がよい
※趣味	※ご希望がある場合のみご記入ください。
※資格	※ご希望がある場合のみご記入ください。
その他重視する点	例：お酒は飲まない 等
相手を選ぶ際に 重視する項目を 3つ選んで下さい	<input type="checkbox"/> 年齢 <input type="checkbox"/> 身長 <input type="checkbox"/> 趣味 <input type="checkbox"/> 資格 <input type="checkbox"/> 居住地 <input type="checkbox"/> 職業 <input type="checkbox"/> 年収 <input type="checkbox"/> 結婚歴 <input type="checkbox"/> 結婚後の同居 <input type="checkbox"/> 結婚後の共稼ぎ <input type="checkbox"/> 転勤の有無 <input type="checkbox"/> 子ども <input type="checkbox"/> 婿養子の希望 <input type="checkbox"/> その他重視する点

※ここに記載した情報は引き合わせを検討されているお相手にお伝えする情報となります。  
 ※身分証(運転免許証、健康保険証のいずれか)の写しと、独身証明書または戸籍抄本  
 (1か月以内発行)を添えて提出して下さい。

自己PRの記載例について、第5章で紹介します。

#### センター主催の親セミナーでの個別相談

- ・ 適時、親セミナーを開催します。
- ・ 参加対象者は、主として各都道府県（市町村）のものを見御さん。
- ・ ボランティアによる個別相談を行う。
- ・ 詳しい日程や場所などは、決まり次第センターからお知らせします。

#### 1対1のお見合いフォローボランティアの認定手順

<例> 募集説明会に参加⇒面接選考⇒研修会参加⇒認定証授与

- (1) ボランティアを希望する者は、個人情報保護に関する研修を受講しなければならない。
- (2) センターは、上記研修受講者のうち、適正検査および面接等に合格した者で個人情報（氏名、住所、顔写真）の公開に同意したものをボランティアとして認定する。

#### イベントフォローボランティアの認定手順

<例> 募集説明会に参加⇒面接選考⇒研修会参加⇒認定証授与

- (1) ボランティアを希望する者は、個人情報保護に関する研修を受講しなければならない。
- (2) センターは、上記研修受講者のうち、適正検査および面接等に合格した者で個人情報（氏名、住所、顔写真）の公開に同意したものをボランティアとして認定する。

#### 活動経費の支払い精算方法、センターが加入するボランティア保険等

- ○ヶ月に○回、センターへ報告書の提出をお願いします。  
引き合わせを行った場合、その報告書により活動費として○回あたり○,○○○円をお支払いします。なお、引き合わせ当日に立ち会いができなかった場合は、○回あたり○,○○○円をお支払いします。
- 登録時に、ボランティア保険に加入していただきます。ボランティア活動中に事故によるケガなどありましたらご相談ください。

#### 結婚支援ボランティアの資格要件

センターは次の要件を審査し、〇〇県が登録証および認定証を交付する。

- ① 地域の独身者の出会いや縁結びの応援をする熱い気持ちのある者
- ② 県内在住又は県内企業に勤務している満20歳以上の者
- ③ 県の実施する研修を受講した者
- ④ 結婚相談所、仲人等を業としていない者
- ⑤ 暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成3年法律第77号）第2条第6号に規定する暴力団員でないこと
- ⑥ 登録申込書および誓約書の提出（電子メールでの提出可）があること

## 結婚支援センターへの誓約書の提出

様式第2

### 誓 約 書

私は、下記の事項に同意し、世話やき人として活動することを誓約します。  
これに反した場合、虚偽の申告等が判明した場合又は世話やき人にふさわしくない行為があったと認められる場合は、登録を取り消されても異議を申しません。

各都道府県（市町村）のもの

- 3 婚活者のプライバシー及び個人情報の管理には十分に留意し、婚活者の同意なく第三者に漏らさないこと。
- 4 現在、暴力団員等のいずれにも該当しておらず、かつ世話やき人に登録されている間も該当することはないこと。

年 月 日

氏名

## 結婚支援ボランティアの登録期間

活動期間は登録年度を含めて○年間です。

(例えば、令和○年度に登録された方は、  
令和○年○月○日まで)

満了時期が近づきましたらセンターから更新のご連絡をします。

更新する場合は指定の研修を受講し、誓約書などを再度提出してください。

①センターとの連絡

センターとの連絡

困った事があった場合、不安な場合などは、  
随時センターへお問い合わせください。

連絡先：〇〇〇婚活サポートセンター



000-000-0000

(〒\*\*\*\*\*-\*\*\*\*\* □□市△△△\*-\*\* \* 〇〇ビル)

必要書類提出方法：ご持参いただくか郵送で提出ください。  
郵送代は後日切手でお返しします。

## ②センター主催の情報交換会

### センター主催の情報交換会

- 年〇回程度、意見交換会を開催します。
- 活動状況の確認と、お互いの利用者の情報について、ボランティア同士で情報交換を行い、いい相手がないか相互に相談してください。
- 詳しい日程などは、決まり次第センターからお知らせします。

#### ■ 本年度の情報交換会の予定

時期	会場
20xx年 ●月	〇〇公民館 レクレーションルーム
20xx年 ◇月	市役所 第二会議室

### 活躍中の先輩ボランティアさんへのインタビュー

Aさん



カップルの方と深い関わりあいができ、責任の重さも感じるが、カップルの交際が順調に行き、お二人からお礼をいわれると、こちらもすごくうれしい気持ちになります。

Bさん



婚活ボランティアというのは幸せなボランティアだと思います。みなさんのお役に立てるし、みなさんに喜んでいただけることに加え、自分自身の成長につながる素晴らしいボランティアだと思っています。

Cさん



お見合いをして2か月後に婚約した男性から「こんなに素晴らしい人と出会わせていただきありがとうございました」というメッセージをいただいて、涙が出るくらいうれしかったです。

Dさん



どのカップルもかわいいわが子のように感じ、一生懸命アドバイスしています。お二人が順調に交際していく過程を見ていく喜びは、婚活ボランティアをしていないと経験できないと思います。1人でも多くの方にこの喜びを味わっていただきたいです。

地域において、若い人たちの結婚支援を行うにあたっては、ボランティアの方々などが、若者を理解し、寄り添いながら、ほんの少し背中を押してあげることがとても大事です。私のこれまでの経験上、特に結婚支援ボランティアの方に、心がけていただくと、よりよい支援に繋がっていくなと思っていることが、いくつかあります。この場を借りて、紹介させていただきます。

1. 「支援する側、される側」が支援のルールやシステムについて理解し合い、共有する
2. まずは、利用者側の思いや希望を肯定的に受け入れる
3. 独身者の悩みや質問に「アドバイス」することも必要だが、その前に「ファシリテーター」であるという認識をしてほしい
4. 「結婚の王道」「世間の常識」に左右されない姿勢
5. 結婚支援の視点を広げる、結婚しやすい社会への問題意識を持つ

## 第5章. 結婚支援業務に関する知識・技能

第4章で紹介した結婚支援活動内容について、実際に活動する上で必要な知識や技能を紹介していきます。

実際にやってみないとわからない部分も多いと思いますが、先輩ボランティアの経験を踏まえたFAQなども紹介していますので参考にして活動のイメージを強めていってください。

利用者とのコミュニケーションの取り方について、それぞれの活動内容ごとに、ポイントを紹介していきます。

### 自己紹介 お互いの呼び名を決めよう

初回お引き合わせ時では名前などの個人情報には明かさない決まりになっています。お互いの趣味なども絡めて呼び名を決めるとそのあとのコミュニケーションもスムーズになりやすいです。



僕はサッカーが好きなので“カズ”で！

わたしはテニスが好きなので“ナオミ”で(笑)



なかなか決まらないときは・・・



それじゃ芸能界のビッグカップルにあやかって“Aさん”と“Bさん”にしましょう！

呼び名決めにかかる時間が過ぎるともったいないので、あらかじめ決まらなかったときの案を準備しておくとい良いでしょう。

### 話しやすい雰囲気づくり

このあと二人きりになった時の会話がはずみやすいように場を和ませましょう。緊張をほぐしてあげながら二人で会話するウォーミングアップを進めます。

### 話題の事前準備

趣味やお仕事など、各々のプロフィールから共通点を見つけておくと当日話題の振りに役立ちます。また必ずしも共通している必要はありません。きっかけとなる引き出しを準備しておきましょう。



二人とも音楽が趣味ね。  
お勤め先も食品業界ってところも共通点ね・・・  
カズさんはサッカー部だったのね、ナオミさんはサッカーは好きかしら？



趣味

勤め先の業種

好きな食べ物

学生時の部活

休日の過ごし方

など

当日会話が弾まなかったときの備えとして、事前に話題の準備をしておく  
と安心できます。それに加えて当日会話の中からも探していきましょう。

### 退席のタイミング

開始後およそ〇〇分を目安に退室します。会話が弾んでいない場合は心残りかもしれませんが、ずっと同席するわけにもいきません。

**緊張や沈黙を肯定してあげる**ことで、二人の気を楽しませてあげましょう。



そろそろ失礼しなきゃいけない時間なんですけど、やっぱりこういう場は緊張しちゃうわね！わたしもすごく緊張してるの。ご本人たちはもっと緊張するわよね！

沈黙って少し気まずいわよね。でも沈黙は自分と向き合っている大切な時間だから、お互い焦らずに待ってあげましょうね。



- ⇒緊張して当たり前、緊張は悪いことではないことを伝えましょう。
- 沈黙も前向きにとらえ、急かさずに会話を促していきましょう。
- きっとお二人とも気が楽になると思います。
- 逆にしゃべりすぎてボランティアさんの独壇場にならないように！

できる限り場を暖めて退席できると理想的ですね。二人になったら逆に会話が弾む可能性もあるので、最後は心配しすぎず、二人を信じて退席すること。

### よくある質問FAQ

Q. お引き合わせ日時の段取りをしてもスケジュールがなかなかあいません。その間に会員からお付き合いをしてもなかなか会う事ができないのではないかと心配される声がありました。

A. いろいろな職業、勤務体制の方がいらっしゃいます。お会いしたいという気持ちを大事にして大切にして、職場の有給休暇や早退の利用、どちらかが歩み寄りのお気持ち、時間のすき間を探してみましょう。大事なものは「会う」ということ、それなくして、次の進展はありません。

Q. お引き合わせ当日に時間になっても会員が到着しない時、会員が遅刻などでして時間が大幅に遅れる場合はどうしたらよいでしょうか？

A. 約束時間においでにならないときは、緊急事態の発生かもしれません。会員の安否確認も応援の1つです。遅刻して来られる場合は、「お相手がお待ちなのでお会いした時に、お詫びを添えて」とアドバイスしておきましょう。またお相手には「不信」を抱かない程度にお伝えすれば、安心してお待ちいただく事ができます。また、やむを得ず、当日キャンセルになった場合は会場のスタッフに「お引き合わせ延期」を説明し、そのまま退席します。

Q. お引き合わせ費用をいただくタイミングはいつですか？

A. まずお越しになった方から、会員証で本人確認をし、費用の〇,〇〇〇円をお預かりします。事務的な事を最初に済ますことで、あとの会話に集中できます。

Q. 緊張が解けず、会話は途切れがち、サポーターの私の責任でしょうか？

A. 最初は誰でも緊張するもので、沈黙は自分と向かい合う時間でもあり大切な経験です。お話が弾まなかったとしてもサポーターさんが気落ちすることはありません。

### フリートーク時の立ち回り

受付やプロフィールトークで各参加者のキャラクター（社会的・引っ込み思案など）の把握に努めましょう。

ファーストインプレッションの集計結果も参考に、フォローをする方針を決めておくと動きやすいです。

#### 【ファーストインプレッション集計結果のチェックのポイント】

- 一番人気でフリータイムで集中しそうな人（バランスを注意）
- 一致しているカップル（チャンス）
- 一枚ももらっていない人（励ましたり、重点的にフォロー）

フリートーク時にどう立ち回るかを考えて進めると、より効果的にフォローできます。

### スロースターターのフォロー

フリートーク時に会話の輪に入るタイミングを逃しているスロースターターさんを見つけてフォローしていきましょう。

#### 【お声がけ例】



もらったファーストインプレッションカードのお礼は言いに行きましたか？

ファーストインプレッションカードに書いたお相手に、声かけされましたか？

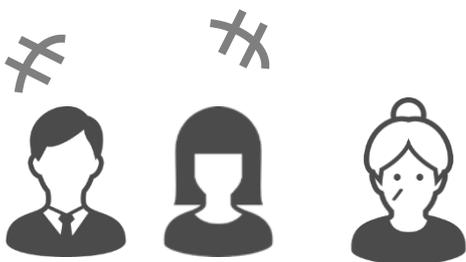
男性（女性）は話しかけられると嬉しいからどんどん話しかけてね

ファーストインプレッションカードは第一印象だから、このフリートークが勝負よ

引っ込み思案の参加者ほどフォローを必要としています。  
励ましながら背中をポンッと押してあげてください。

### 話が長引く際の対応

ファーストインプレッションで、人気集中した方がいる場合は注意が必要です。参加者が自分で間に割って入るのは難しいため、皆さんがバランスをとって間を取り持ちましょう。



お話し盛り上がってるところ、ゴメンなさいネ！  
○番の男性があなたとお話ししたいそうなのよ・・・  
こちらの輪に入っていいかしら？

出会いのチャンスが参加者全体に行くよう心がけ、コーディネートしていきましょう！

### カップリング後のフォロー

イベントでのカップリングは＝（イコール）交際ではありません。  
ボランティアの皆さん立会いの下、お互いの連絡先などを交換するところから始めていきます。

#### 【可能なら具体的な約束を】



今日は、是非次回お会いする約束をして帰りましょう！

⇒連絡先を交換して終わってしまうケースも多いです。ぜひ具体的な約束まで取り付けるところまでフォローしましょう。

#### 【男女の温度差についての説明】



今回のカップリングはあくまでお付き合いの入り口です。  
傾向として男性はすぐ結論を出したがり女性はじっくり考えようとします。  
初めてのデートでプロポーズして女性が驚いてダメになったケースもある  
みたいなので、焦らず仲良くなっていきましょう。

“縁”を最大限活かせるようにフォローしていきましょう！

### よくある質問FAQ

Q. イベント開始時間の○時間前に会場に行きますが、イベント開始まで、そしてイベント開始後、何をすればいいのか判らず不安です。

A. 会場に着いたら、担当者にセンターからのボランティアである事を伝え、イベントの中でどの部分を手伝うか聞いてください。企業によってボランティアさんをお願いしたい事はさまざまです。先輩ボランティアさんがいれば、一緒に聞いてください。

Q. イベント中や終了後に勝手にアドレス交換している男女がいました。大丈夫ですか？

A. センターではイベント中、終了後に個人の責任において連絡先の交換を認めています。ただし、明らかに営利目的や勧誘などに気がついた場合はセンターのスタッフに伝えてください。

Q. (元カノ元カレが再会した場合の対応) 気まずく別れたカップルがイベント参加していました。女性から居心地が悪いので帰りたいと申し出があり返答に困りました。こんなときはどんな言葉でそのイベントを楽しんでいただければよいのでしょうか？

A. 「出会いの機会」をできるだけ多くつくることを勧めることが婚活の目的でもありますから、当然、前に交際した人との再会はあり得ます。まして狭い地域ですからどこかで鉢合わせの可能性は大きいと思います。その前提でアドバイスをしたほうがいいですね。帰りたいというならやむを得ないこと、無理にお引き止めしないほうがいいと思います。でも他の参加者への配慮をしながら「運命の人がここにいるかもしれないのに、一人の人へのこだわりで帰るのは、運命のチャンスを逃すことになりかねない…」とささやいてあげるのもいいかもしれません。

### フォローアップのタイミングとメールの文例

カップリング後、担当ボランティアから、お二人の交際状況の確認（フォローアップ）を行う。

状況がどうなっているかはわからないので、二人の気持ちに水を差したり、傷つけたりしないように気をつけながらも、困っていることがないか、積極的にアプローチして、アドバイス・応援していくことが求められる。

状況確認したところ、交際が終了していたという場合もあるので、その場合も、次につながるような励ましの言葉をかけることが重要

#### 【○週間後のフォローの意義】

- 交際初期の悩みを聞くことにより、カップルを実際の交際へと導く手助けができる。
- カップリングはしたもののおまじないが、ご縁がなかった人を励ますことができる。
- トラブルを抱えたカップルの早期発見につながる。
- お引合い時のイメージと○週間後の結果との関連性を探ることにより、より効果的なお引き合わせの実施につながる。

### 【○週間後のフォローのメールの文例】

#### ■順調な交際の応援

○○様

ご返信ありがとうございます。  
婚活サポーターの鈴木です。  
イベントの際、とてもいい雰囲気  
だったので、いいご報告が聞けるこ  
とを願っていたところでした。  
今後お付き合いしていく上で、なに  
かご相談にのれることがあればいつ  
でもご協力しますのでご連絡くださ  
い。  
良いお付き合いが続くことをお祈り  
しています。

#### ■交際終了時の励まし

○○様

ご返信ありがとうございます。  
婚活サポーターの鈴木です。  
結果に関わらず、返信してくださっ  
た誠意に感謝いたします。  
いろいろな思いがあったことと思  
いますが、また、次の一步を踏み出さ  
れますことを心より応援しています。

#### ■複雑な交際終了のフォロー

○○様

ご返信ありがとうございます。  
婚活サポーターの鈴木です。  
連絡が来なくなったとのご相談です  
が、もう少し待ってみて来ないよう  
なら相手の気持ちを確認してみ  
てはどうでしょうか？  
ご自身から聞きにくいようでしたら、  
またこちらへご相談ください。

こんにちは。  
婚活サポーターの鈴木です。  
先日のご相談の件ですが、今回は残  
念ながらご縁がなかったようです。  
お返事が遅れた相手の方も一生の  
ことなので考える時間が必要だった  
のかと思います。  
○○さんもいろいろな思いはあると  
思いますが、お気持ちを整えられ、  
また次の一步を踏み出されますこと  
を心より応援しております。

### 【〇か月後のフォローの意義】

- 交際時の悩みを聞くことにより、カップルを成婚へと導く手助けができる。
- 交際はしたものの上手くいかず、ご縁がなかった人を励ますことができる。
- 出会いイベントを通じて知り合ったカップルの交際時の問題を聞くことができ、より良い交際につながる。
- 同じようなトラブルの事前対応を参考にすることで、より質の高いボランティア推進員の活動が可能となる。
- 実際の交際へとつながったカップルから、さらに進んだ状態の成婚への可能性があるカップリング率を把握することができ、より質の高い出会いの場となるイベントの実施につながる。
- 成婚へとつながるカップルと連絡を取り、成婚記念品の存在等を告知することにより、成婚数の把握につながる。

### 【〇か月後のフォローのメールの文例】

#### ■フォローメッセージ

〇〇様

ご返信ありがとうございます。  
婚活サポーターの鈴木です。  
その後2カ月経ちましたが、□□様との交際は順調でしょうか？  
お悩み事などありましたら、いつでもご相談ください。  
よろしければ交際継続の有無をお知らせください。ご返信お待ちしております。

#### ■順調な交際の応援

〇〇様

ご返信ありがとうございます。  
婚活サポーターの鈴木です。  
順調な交際とのお返事とてもうれしく読みました。  
今後、お付き合いしていく上で、なにかご相談にのれることがあればいつでもご協力しますのでご連絡ください。  
良いお付き合いが続くことをお祈りしています。

#### ■交際終了のフォロー

〇〇様

ご返信ありがとうございます。  
婚活サポーターの鈴木です。  
結果に関わらず、返信してくださった誠意に感謝いたします。  
いろいろな思いがあったことと思いますが、また、次の一步を踏み出されますことを心より応援しています。

### 迷っている利用者への対応

お引き合わせや婚活イベントで数時間話ただけで、お相手のことがよくわからないのは当然です。

「もう一度会って話をしてみたいかどうか？」を基準にしてもらったらいと思います。連絡先と名前をお伝えすることに抵抗がなければ「もう一度会ってみたら」とすすめてみましょう。

どんなにいい人でも、そう感じるかどうかは本人次第です。

### 相手の気持ちを確認する際の注意

お相手の気持ちは、ケースにもよりますが基本的には、当事者であるご自身が確認されるのが望ましいです。

お気持ちによっては、背中を押してあげるような声かけをするようにしましょう。ボランティアの皆さんがお二人の間でお互いの気持ちを伝達していると、誤解を招いたり、伝え方によっては相手を傷つけたり、個人情報を漏らしたりすることにもなりかねません。

ボランティアの皆さんは、結果に寄り添い前進のフォローをしてあげてください。ただ、お相手と連絡がうまく取れないなど困っているときは、皆さんからお相手にお尋ねしてもいいと思います。

### よくある質問FAQ

Q. お引き合わせ後に双方に交際するかどうかの返事を聞きますが、片方が「付き合いたい」、もう片方が「お断り」というとき、とても悩みます。「お断り」でも迷っている場合は説得したほうがいいのでしょうか。

A. 交際の是非を決めることに迷いがあれば、その理由を先に聞いてみてはどうですか？「迷い」はその人の心にあるこだわりで、誰にでもあることです。迷いの内容に応じて背中を押してあげたり、会員さんの気持ちを優先させたりすることも必要です。必要以上におすすめしても、思うようにはいきません。気楽に考えるように促してあげてはいかがでしょうか。

Q. 「交際中お相手の方に既往病があることがわかりました。交際をお断りしたいのですが、どのような理由にすればよいか迷います」との相談がありました。病気についてとなると第三者がどこまで口を出してよいか返答にも困りました。

A. 病気の内容にもよりますが、いずれにせよ「病」を理由に交際中止と言われることは、その方にとってはけっして気持ちのいいものではなく、「傷つく」ことになるでしょう。それでも、交際していたなら、そのご本人が直接お断りの気持ちを伝えるしかないのです。そういう場合、無難に「性格があわない・・・」など気持ちのズレを理由にしている方が多いようです。ボランティアさんが交際中止の理由に口添えしてあげる必要はないかと感じます。

Q. 自分よりも年齢の高い方のフォローをすることがあります。交際がうまくいかなかったことから、アドバイスしても説得力がない（頼りない）ように思われてしまいました。

A. 自分のやり方や、考えを言ってあげたり、注意を与えたりするようなアドバイスはあまり必要ないかと思えます。

ボランティアさんと利用者の信頼関係は、ご本人に寄り添ってあげることから始まります。そのためには、思いを聴いてあげる。どんな結婚をしたいのか、結婚に至らない課題や壁をクリアできるか一緒に考えてあげることが大切かと思えます。

### 利用者との初対面の際の自己紹介

利用者との初対面の際は、利用者には少なからず緊張や警戒があります。心を開いて本音で相談してもらうことが重要です。まずはボランティアご自身のことについて話してみましょう。

初対面の人に対するコミュニケーションの取り方として「**自己開示**」はとても有効です。自分がどんな人間か話すことで警戒心を和らげます。

また、「こんなにさらけ出してくれたのだから、自分の話もしなきゃ」といった「**返報性**」の効果も期待できます。

### 希望条件のヒアリング

相手に求める条件などを聞いていくと、理想が高すぎてマッチングが難しそうな利用者もいらっしゃいます。

そんな時は、第一回研修で得た統計的な知識を活用しながら希望条件の緩和などを提案していきましょう。

	年齢差	婚姻数	割合	割合累計
1	同年齢	71,202	21%	21%
2	夫1歳上	46,166	14%	35%
3	妻1歳上	33,367	10%	44%
4	夫2歳上	31,309	9%	54%
5	夫3歳上	24,491	7%	61%
6	夫4歳上	19,190	6%	67%
7	妻2歳上	16,333	5%	71%

資料：厚生労働省「令和元年人口動態統計」より作成



芸能人のように若い奥さんが欲しい！

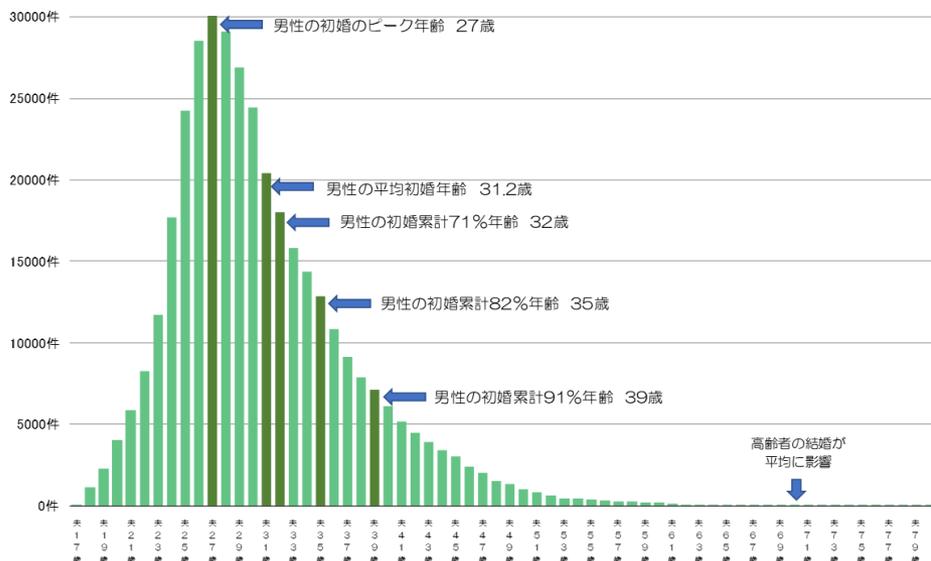
年の差婚は、統計的には、かなりレアなケースなんです。無理強いはいまあせんがもう少し近い年代のお相手も検討してみては？



### 結婚についてのモチベーション

両親などにすすめられて、本人は乗り気でない利用者もいます。まだ結婚を焦らなくてもよいのではと考える方もいるかもしれません。

ここでも、第一回研修で得た統計的な知識を活用しながら結婚に対する意識を高めてもらえるよう促していきましょう。



結婚年齢は平均で31歳でしょ？まだ焦らなくてもよい気がする...

平均はそうですが、ピークは27歳です。35歳までに8割以上が結婚してるんですよ。焦る必要はないけどそろそろ積極的に進めて行きましょう。



### 自己PRの記載例

登録シートの自己PR欄はお相手から選んでもらうために重要なポイントです。記入例を参考にしながらしっかり記入できるようフォローしましょう。

#### 【男性側】

はじめまして。プロフィールを見ていただきありがとうございます。  
今まで出会いがありませんでした。周りが結婚し始めたことをきっかけに、このままではいけないと思い、一念発起して登録しました。  
自分では意識していませんが、周りからは穏やかな人だと言われます。  
普段は英会話教室に通ったり、B級グルメを探して食べに行ったり、近場ですが旅行に行ったりしています。おすすめの場所もあるので、ぜひ紹介したいです。  
将来は一緒に同じ趣味を共有して楽しみ、常に語り合える関係を築きたいです。

#### 【女性側】

はじめまして。  
周囲から性格は穏やかでのんびりしていると言われます。  
休日は買物に出かけたり、カフェでゆっくりお茶をすることが多いです。  
旅行も好きなので、一緒に行っていただけパートナーが居ると素敵だなと思います。  
お互い自然体でいれるような、居心地の良い男性と出会えればと思っています。  
よろしくお願いします。

婚活を続けるうえで、うまくいくことばかりではありません。

なかなか良い相手と巡り会えなかったり、良いと思っていた相手に断られたりと利用者が傷つくことも多々あると思います。

利用者の心のケアをしながら寄り添ってあげることもボランティアの役割の一つです。

### 不成立時のフォロー

婚活を続けていく上でうまくいくことばかりではありません。期待していたお相手から断られ傷ついてしまう利用者もいると思います。つらい時こそ利用者は皆さんの支えを必要としています。利用者に寄り添いながらフォローしてあげてください。

### お断り理由のヒアリングと相手へのフィードバック

お相手からお断りの理由が聞けた場合、状況によってはお伝えしていい場合もあります。

ただし、必ずしもそのままお伝えするのではなく、利用者をなるべく傷つけることのないような配慮が必要です。仮に利用者にとって耳の痛いことでも、次の機会に向かって伝えるべき事があるならば、客観性を持たせながら、ボランティアとして気づいたことを、お伝えしてみてください。

よい経験となって、次の出会いへとつながるようなフォローを、心がけましょう。

### 「もっといるかも症候群」について

未婚が、結婚していない理由として上位にあげられるのが「適切な相手にめぐりあわない」という理由です。その中で高い理想をもって婚活をされている利用者もいらっしゃいます。

自分の理想とのギャップが起因して、前に進めなくなってしまう利用者もいらっしゃるようです。

なかなか決まらない方へのフォローとして、「理想」について今一度考えてみることを促すのも有効かと思います。

決まらないと思い悩む要因が自分自身にもあることがわかれば、気持ちも軽くなって活動にも積極的になれるかもしれません。

ただ、利用者の将来に関わることで、安易に妥協を推奨したり考えを押しつけるのではなく、統計データ等も引用しながら、あくまでご自身の考え方を直すという方向で話し合うよう心掛けてください。

利用者に対してだけではなく、ボランティアの皆さん自身も活動を通じて嫌なことを言われたり、利用者から過度なプレッシャーを受けたりすることが想定されます。

ひとりで抱え込まずに相談しながら進めていければと思います。

何かあれば気軽に相談してください。

### 困ったときの相談窓口

ボランティア活動をするうえで困りごと等があった場合は、一人で抱え込まずにまずはセンターにご相談してください。

センター職員は皆さんの味方です。些細なことでも遠慮なく連絡いただけると嬉しいです。

<〇〇センター連絡先>

**0 0 0 - 0 0 0 - 0 0 0 0**

センター職員に相談しづらい悩みもあるかもしれません。メンタルヘルスに関する匿名で相談できる窓口も紹介しておきますので、こちらもご活用ください。

<〇県こころのホットライン>

**0 0 0 - 0 0 0 - 0 0 0 0**

メンタルヘルス関連以外の窓口も第6章で紹介しています。

### 先輩ボランティアの体験談

ボランティア活動は大変なことも多いですが、反面嬉しいこともたくさんあります。先輩ボランティアたちも、いろいろな経験をしながらやりがいを感じて活動してくれています。

カップルの方と深い関わりあいができ、責任の重さも感じるが、カップルの交際が順調にいき、お二人からお礼を言われると、こちらもすごくうれしい気持ちになります。

自分の婚活経験から、恋愛したことがないけれども結婚したいという人がたくさんいる。婚活に悩んでいる人がいたら幸せになってほしい気持ちが大きいので、できることを伝えていきたいなと思っています。

最初は不安なこともありましたが、経験を重ねていくうち、いろんなことがわかってきて、楽しさが見えてきます。自分も楽しむことが一番大事だと思います。

このボランティアをしていないと出会えない、いろいろな人と出会えることが楽しいです。

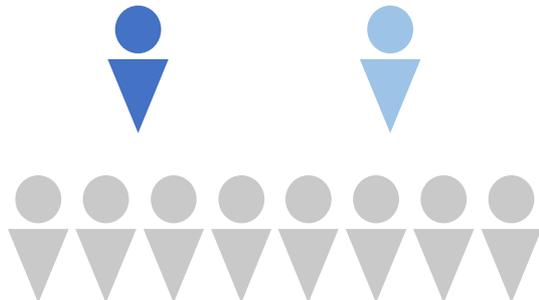
ボランティアの活動はチームワークが重要です。  
センターや先輩ボランティアさんと連携しながら進めると、より成果が出やすくなります。

連絡会などの機会を設けていますので積極的に参加してみてください。

## ボランティア同士の連携について

当県では地区ごとにチーム制で活動しています。各チームにはベテランボランティアのチームリーダーとサブリーダーがいますのでわからないことがあったら積極的にご相談ください。

【チームリーダー】 【サブリーダー】



#### ◇チームの活動内容

- ・チームごとの情報交流会（年〇回実施）
- ・リーダー会議の情報共有（トラブル例・好事例）
- ・新人ボランティアの研修・ロールプレイング
- ・リーダー、サブリーダーによる相談対応
- ・新人ボランティアの初期同行

皆さんも将来的には、新人ボランティアのフォローをお願いします。

最後に、結婚支援業務において直面しやすいさまざまなケースについての対応方針について、QA集の形で取りまとめています。一部のケースについてはNG対応も整理しているので、研修の際にいくつか例示して参加者の皆さんに対応を考えてもらうことも一案です。

※実際に各自治体で使われているQ&Aを参考に編集したのですが、対応の仕方や留意点等が異なる場合は修正して、地域の実情に合った内容に編集してください

分類	Q (ケース)	A (対応方針)
利用者とのやり取り	<p>✓ 引き合わせ後の継続意思を確認すると、利用者が自身の意思を言わずに「相手の方はどう言っていますか」等と聞いてくる。</p>	<p>✓ 相手の方の意思が気になる方は多いが、その後の交際・結婚を考えると「相手の思うままの自分」ではなく、正直な気持ちを伝えていただく必要があるため、まず自身の意思を伝えていただくようにする。</p>
	<p>✓ 引き合わせや交際お断りの理由を聞いて、相手の方に伝えた方が良いか。</p>	<p>✓ お断りの理由を聞いても、本音の理由を話したくない方も多いことを念頭に置く。</p> <p>✓ 更に、お断りの理由を相手の方に伝えることは、困惑や動揺を生んで気持ちの切替を阻害し、異性への不信感に繋がる恐れもあるため、基本的には相手の方に伝えることはしない。</p> <p>NG：お断りの理由を相手の方に伝え、「〇〇を改善すべきだ」等とアドバイスしてしまう</p>
	<p>✓ 利用者から「今後の参考として自身についてアドバイスして欲しい」と相談を受ける。</p>	<p>✓ 一般論の範囲で、否定的な表現は避けて押し付けにならないように配慮してアドバイスを行う。</p> <p>✓ 体系・顔・表情・髪型等の容姿に関わるアドバイスは避けるようにする。</p> <p>NG：「前髪が顔にかかると暗い印象になるから、散髪した方が良いですよ！」等と容姿に関わるアドバイスをしてしまう。</p>

分類	Q (ケース)	A (対応方針)
プロフィール、 マッチング	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 利用者から、病気や障害のことについて、プロフィールへ記載すべきか、どのタイミングでカミングアウトすべきか相談を受ける。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ プロフィールへの記載内容については、利用者ご本人の意向次第であることを念頭に置く。</li> <li>✓ その上で、「一般的には、結婚においては重要な情報であるため、一定早い時期（遅くとも成婚を見据えた交際に至る段階まで）にお伝えすることが望ましいと思われるが、プライベートな情報であるため、お相手を信頼でき受け止めてくれるであろうタイミングを見計らって、カミングアウトすることが良いのではないか」等と適宜助言する。</li> </ul> <p>NG：プロフィールへの記載/非記載やカミングアウトのタイミングをボランティアから指示する</p>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 高齢の利用者から「年齢的に婚活は難しいか」「若い（年の差の離れた）方と結婚したい」と相談を受ける。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 極端に高齢でなければ、毎年一定数の成婚があることを伝える。</li> <li>✓ 一方で、年の差婚希望に関しては成婚実績が少ないことを伝え、適宜希望条件の見直しを勧める。</li> <li>✓ それでも年の差婚を希望される場合は、しばらく希望条件でトライしていただき、中々マッチングしない場合に改めて条件の見直し検討を提案する。</li> </ul>

分類	Q (ケース)	A (対応方針)
引き合わせ	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 利用者から、適切な服装についてアドバイスして欲しいと相談を受ける。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 男女ともに清潔感のあるスタイルが好ましい（一例として男性は紺やグレー等のスーツやジャケットにパンツと革靴、女性は明るめの色の服にナチュラルメイクでアクセサリ・ネイル等は控えめ）と伝える。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 引き合わせで利用者間の会話が弾まない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ コミュニケーションが苦手な方も多く、まして引き合わせの場は緊張して当然であることを念頭に置く。</li> <li>✓ 会話のきっかけが全くない場合はYes/Noで答えられるクローズドクエスチョン、会話が膨らまない場合はオープンクエスチョンで会話を促すことが一案。</li> <li>✓ ただし、第三者に見守られていると会話しづらいと感じることも多いので、様子が気になっても退席してしまう方が、会話が弾むこともある。</li> </ul> <p>NG：場を持たせようとしてボランティアが話を続けてしまい、利用者の話す機会を奪ってしまう</p>

分類	Q (ケース)	A (対応方針)
交際、結婚	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 利用者から「他に良い人が現れるかもしれないと思うと、結婚に踏み切れない」と相談を受ける。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「もっと良い人が現れるかもしれない」という考えを否定する必要はないが、未来の事は誰にも分からず、今以上に良い人は現れない可能性もあることを伝える。</li> <li>✓ 結婚が決められないことを「他に良い人が現れるかも」という理由付けをして、無意識のうちに逃げているのかもしれないため、まずは目の前の相手、現実と向き合うことを勧める。</li> </ul> <p>NG：今以上に良い人は現れないから、結婚するべきだ！等と断定的に指示してしまう</p>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 利用者から「早く結婚したいが相手が具体的な話をしてくれない」と相談を受ける。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 相手からの話を待つだけでなく、積極的に自身から行動しても良いことを伝える。</li> <li>✓ 相手も相談者の気持ちが分からず悩まれているかもしれないため、話し合いの場を設けて、お互いの理解を深めることを勧める。</li> </ul>

分類	Q (ケース)	A (対応方針)
個人情報	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 利用者から「最初の引き合わせでは相手のプライベートをどこまで聞いてよいか」等と相談を受ける。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 名前や住所等の個人情報でなくとも、個人の特定につながる固有名詞（卒業学校名、会社名、住んでいる地区名など）は避けていただく。</li> <li>✓ プロフィールの公開項目にある内容については、一般的に初対面で聞いても差支えない内容だが、相手が非公開とされている項目については「差支えなければ〇〇について伺っていいですか」、「答えたくない場合は、話されなくて結構です」等と前置きすることを勧める。</li> <li>✓ 何か聞きたいことがあれば、「自分はこうだけど、あなたはどうですか？」と聞くことも一案。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 知人等が利用者であることを知った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 知人等が利用者であることを知っても、第三者にはもちろん、自身の家族や知人等の家族、知人等本人にも言わないようにする。</li> </ul> <p>NG：知人等本人に「登録しているんですね」等と声をかけてしまう。</p>

分類	Q (ケース)	A (対応方針)
クレーム対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 長時間の交渉・クレームを打切るタイミングと、その切り出し方はどうしたら良いか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 最初に面談時間・対応時間を約束しておく。</li> <li>✓ これ以上交渉しても堂々巡りになると判断したら、「何と申されても当方の考え方は変わりません」等と切り出し、退席を促す。</li> <li>✓ 相手がそれでも居座るようであれば、ビル管理者や警察等に連絡する。</li> </ul> <p>NG：相手の不当な要求に応える</p>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 上司との面談を要求してきて、「用件は直接上司に話す」と言っている場合どのように対処したら良いか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 上司の面談要求に応じる必要はなく、「私が担当なので、お話は私が伺います。上司には必要があれば私から報告します」と説明する。</li> <li>✓ 面談要求が執拗な場合は、ビル管理者等に連絡して退去を促す。</li> </ul> <p>NG：上司の面談要求に正当な理由なく応える</p>

## 第6章. 結婚支援業務に関するトラブルおよび その対応

結婚ボランティアの皆さんと利用者の方々との間で起きるトラブルについては、その事例や対応策についてよく知っておく必要があります。

ここでは、結婚支援活動を行う上で基本となるものを紹介します。

1 利用者・家族、地域、ペアの問題

2 利用者からのハラスメント

3 利用者へのハラスメント

## 利用者の経歴の詐称、結婚以外の動機

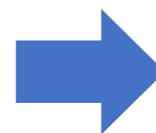
- 利用者自己申告の経歴(年齢や学歴等)に詐称や結婚以外の動機による利用が発覚した際は、利用者に退会していただくこととなっています(〇〇県〇〇センター・利用規約〇条)。
- このようなケースを把握した場合は、すぐにセンターにご連絡ください。



〇〇さんとお会いしたのですが、高価な宝石をたくさん私に売ろうとしてきました。



!!!



センターに  
相談

## 利用者に連絡が取れない、会合に遅刻、不適切発言

- ボランティアの方の疲労感や諦め感が伝わらない配慮が重要
- 事情を伝え、待つのか次の行動に出るのか、利用者ご本人の判断を促すことも必要。
- 連絡が取れない場合や不適切な言動が頻繁に利用者に見られる場合は、休会や退会を強制的に行えることとなっていますので、センターに相談してください。



△△さんが、待ち合わせ場所に現れず、その後何度連絡しても返事が来ないのですが。



△△さんは、センターからの連絡にも最近反応がなくなってしまったので、残念だけど何か事情があって活動をやめられたのかもしれませんが。あなたに落ち度はなかったと思うし、よければまた別の出会いを移ってみてはどうでしょうか？

## お引き合わせペアの都合が合わない

- 職場の有給休暇、早退の利用など、隙間時間を探すアドバイス
- 「会う」ことでしか次の進展がないという気持ちを強くもった前向きな姿勢の追求
- 不安を抱かせない配慮



こんなに都合が合わないということは、先方は私に興味がないということでは...？



先方もあなたに会いたいといっているので、本当にうまく都合が合わないだけかと思いますよ。こういうこともよくあります。決めつけしないで、会ってみてから判断しましょう。

## デート費用などの金銭トラブル

- 交際終了時に男性からデート費用の請求やその他ペア間で生じた金銭トラブルは、当事者間で解決を図る必要
- トラブル回避のために、事前にデート初期の費用は折半するアドバイスも効果的



初めてのデート代は、やはり男性の私が全額支払った方が良いですね？



女性側は、必ずしもそういうことを好まないなので、費用は最初は折半でよいかもしれませんよ。二人で話し合ってみてください。

## 家族の過干渉・非協力

- 家族が子の結婚に過剰に(受け入れ難いほど)介入する場合や積極的・肯定的でない場合は、両性の合意をもって結婚が可能となる婚姻に関する法律的視点に言及したアドバイスも必要です。(第7章参照)



私は〇〇さんに好意を持っているのですが、母がとても〇〇さんの収入が少ないことを嫌がっていて、早く別れて次の人を探せというんです。



難しい問題だけど、あなたも働いているんだし、お相手の収入にこだわる必要はないと思いますよ。女性が高収入のカップルも珍しくないんだとお母さまには伝えてみては？最後はあなたが気に入った人と一緒になることが大事ですし。

## 地域の慣習・相続の問題

- 慣習や相続制度に関する問題は、交際の早い段階で共有し合う必要性をアドバイスすることで、相続財産等の諸問題の深刻化を軽減させる。



今、交際は順調なのですが、もし結婚するとなると、家業の関係でどうしても相手に、私の家に引っ越してもらわないといけなくて...  
いつ、その話を切り出したらよいですか？



お互い結婚に向けて真剣交際なので、あまり引き延ばしてから言うよりも早めに伝えた方が  
良いかもしれませんね。

### 利用者からのハラスメントとクレームが発生した場合

独りで解決しようと思わずに、状況に応じた相談窓口にご相談することでトラブルの拡大を防ぐことが重要。

- 地域の実情に合わせた窓口や支援内容を紹介
- ボランティアが一人で抱え込まないようフォローする体制の明示

### ストーカーやDV等の緊急な対応を要する相談を受けた場合

速やかに最寄りの警察に連絡するように伝える。(地域によって、特にDVについては警察以外の窓口や支援体制がある場合も多いので、担当部局と事前に良く調整して、どの窓口につなぐべきか、整理しておくことが必要)

同時にセンターにも報告する。

その他、以下のような相談窓口も活用。

- 地域の相談窓口を明記

(特にDVについては、警察以外の窓口や支援体制があり、まずはそちらに繋ぐことが推奨されていることも多いので、担当部局と事前に調整して、どの窓口に繋ぐべきか、整理しておくことが必要です。)

上記について記載をしてください

こちらがそのつもりがなくても、相手にとってハラスメントと捉えられるケースが多々あります。注意が必要です。

#### こうならないように、気をつけよう！

- 行き過ぎ、やりすぎ
- 押しつけ、無理強い

#### こういう表現に、気をつけよう！

- 片親
- おじさん
- 男なんだから～しないと
- シングル
- おばさん
- 女なんだから～しないと

※その他、政治や宗教の話に不用意に触れること

※第7章も参照（人権、LGBTQ、夫婦の名字の問題など）

## 第7章. 結婚支援業務に関わるための法的知識等

ここでは、結婚支援を行う上で、結婚に関する法的な問題について基本的な知識を理解していただきます。この知識は、結婚支援活動をする上で、基本となるものです。

1 結婚に関連する基本的な法律について

2 個人情報保護法の基本

3 戸籍制度

4 関連情報

5 独身証明書

## ■ 日本国憲法第24条

日本国憲法24条では「家族生活における個人の尊厳と両性の平等」が明記している。条文は次のとおり。

- 【1項】 婚姻は、両性の合意のみに基づいて成立し、夫婦が同等の権利を有することを基本として、相互の協力により、維持されなければならない。
- 【2項】 配偶者の選択、財産権、相続、住居の選定、離婚並びに婚姻及び家族に関するその他の事項に関しては、法律は、個人の尊厳と両性の本質的平等に立脚して、制定されなければならない。



## ■ 民法第二章『婚姻』

- ・ 18歳になると、夫婦になることが認められます。(第731条)
- ・ 婚姻届を提出する際には、結婚する二人の署名とそれを証明する二人の成人の証人の署名が必要です。証人は口頭でも良いとされています。(第739条)

女性は長らく16歳でしたが、2022年4月から18歳になっています。

### その他・・・



結婚詐欺にあった場合や、脅されて無理やり結婚をさせられた場合は、家庭裁判所に訴えて結婚を取り消すことができます。(第747条)

### ■ 個人情報保護法

個人情報の保護に関する法律（個人情報保護法）は、利用者や消費者が安心できるように、個人情報の有用性に配慮しつつ、個人の権利利益を保護するためのルールを定めた法律。

### ■ 個人情報とは・・・

生存する個人に関する情報で、特定の個人を識別することができるもの（他の情報と容易に照合することができ、それにより特定の個人を識別することができることとなるものを含む。）

（例）氏名、生年月日と氏名の組み合わせ、顔写真、個人識別符号

※個人識別符号：その情報だけでも特定の個人を識別できる文字、番号、記号等として法令で定めがあるもの

（例）免許証番号、マイナンバー

### ■ 要配慮個人情報とは・・・

不当な差別、偏見その他の不利益が生じないように取扱いに配慮を要する情報として、法律・政令に定められた情報

（例）人種、信条、社会的身分、病歴、犯罪の経歴等

### 個人情報に関する守るべき4つの基本ルール

- ① 個人情報の取得・利用      『勝手に使わない！』
- ② 個人情報の保管              『なくさない！漏らさない！』
- ③ 個人方法の提供              『勝手に人に渡さない！』
- ④ 開示請求等への対応        『お問い合わせに対応！』  
    (本人からの)

⇒扱い方が気になる・判断に迷う場合は、センターにご相談ください。

### ■ 個人情報流出の事例

#### このようなことに、気をつけよう！

- ボランティア同士で利用者について話すとき、他人に聞こえる声で話をしていました。
- 利用者の情報を家族や友達に話をしていました。
- 個人情報を車などに放置した。
- メールを誤送信した。
- 不要になった個人情報を適切に破棄しなかった。

戸籍は、人の出生から死亡に至るまでの親族関係を登録公証するもので、日本国民について編製され、日本国籍をも公証する唯一の制度。ここでは、近年増加している再婚と養子縁組について説明します。

#### ■ 再婚

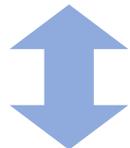
- 近年、結婚するカップルのうち、約4組に1組が再婚者を含む結婚。

### ■ 養子縁組

- 結婚するカップルどちらかにこどもがいる場合は、こどもの名字や戸籍を決める必要がある。
- 一般的に再婚のときは、『普通養子縁組』となるケースが高い。

### 普通養子縁組

養い親（養親）と養子の双方に制限が少なく、養子が成年の場合は養親と養子の同意によって成立する。養子が未成年の場合は、「養子縁組許可」を求める審判を家庭裁判所に申し立てることが必要。家庭裁判所では、こどもの年齢やこどもが置かれている状況などを総合的に判断し、養子縁組を許可するかどうか判断する。普通養子縁組では、養子になっても実父母との親族関係は残り、戸籍に実親の名前が記載され、養親と養子の続柄は「養子（または養女）」と記される。



### ※ 特別養子縁組

父母による養子となるこどもの監護が著しく困難又は不適當であること等の事情がある場合において、子の利益のため特に必要があると家庭裁判所に認められることで成立。

- **養子縁組せず、子を親の戸籍に入れる場合**  
再婚相手とは親子関係にはならず、名字は同じとなる。
- **養子縁組せず、子を親の戸籍に入れない場合**  
再婚相手とは親子関係にはならず、こどもの名字は変わらない。

人権、性的指向・性自認の多様性や多様な家族形態があることに配慮する。

### ■ 人権

- 「すべての人々が生命と自由を確保し、それぞれの幸福を追求する権利」あるいは「人間が人間らしく生きる権利で、生まれながらに持つ権利」。
- だれにとっても身近で大切なもの、日常の思いやりの心によって守られるもの。

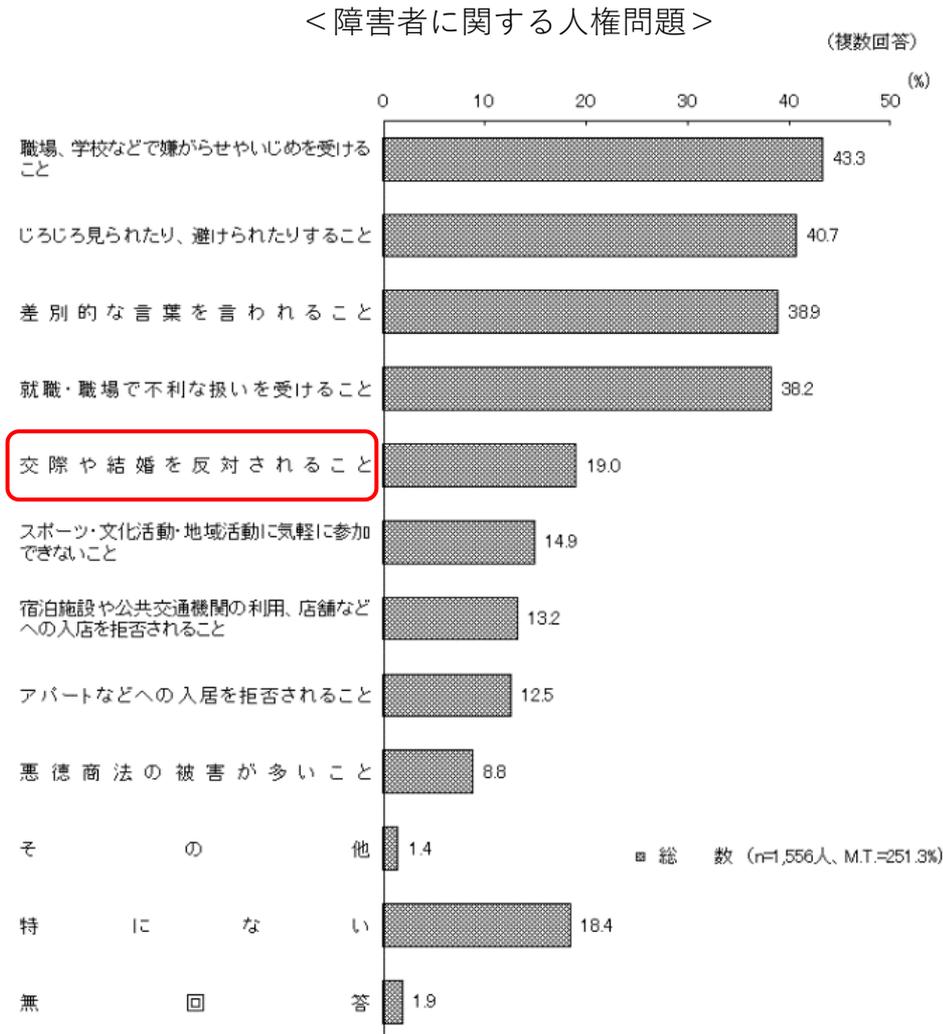
### ■ 人権や個人情報に対する関わり方

- 宗教、思想、信条、病歴、心身の障害の状況などの情報については、利用者が自発的に話さない限り自ら収集しないこと。
- 障害者、ひとり親、被差別部落出身者、LGBTQ、外国人等が利用者となることも想定されるが、利用者との対話時には、差別と指摘されるような言動や、不快感を与える言葉に気を付けること。

#### このようなことに、気をつけよう！

- 障害者と分かると、対応が横柄、差別的、威圧的になること。逆に、「大変ですね」「かわいそうね」などと不必要に言うこと。
- ひとり親の方に対して「片親」「シングル」などの言葉を使用すること。
- 利用者の出身地や家柄を調べたり、聞いたりすること。
- 外国人というだけの理由で、結婚支援に関し不合理な扱いをすること。

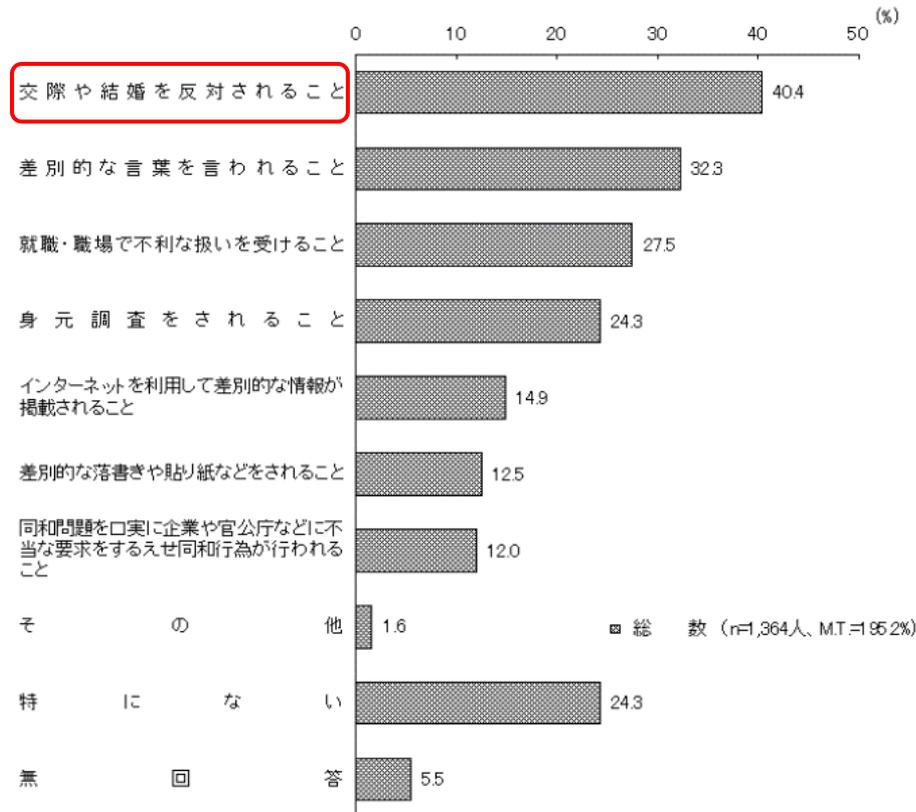
『結婚問題で周囲の反対を受けること』は障害者にとって人権問題の上位



『『結婚問題で周囲の反対を受けること』は、  
部落差別の問題として最も高い結果に』

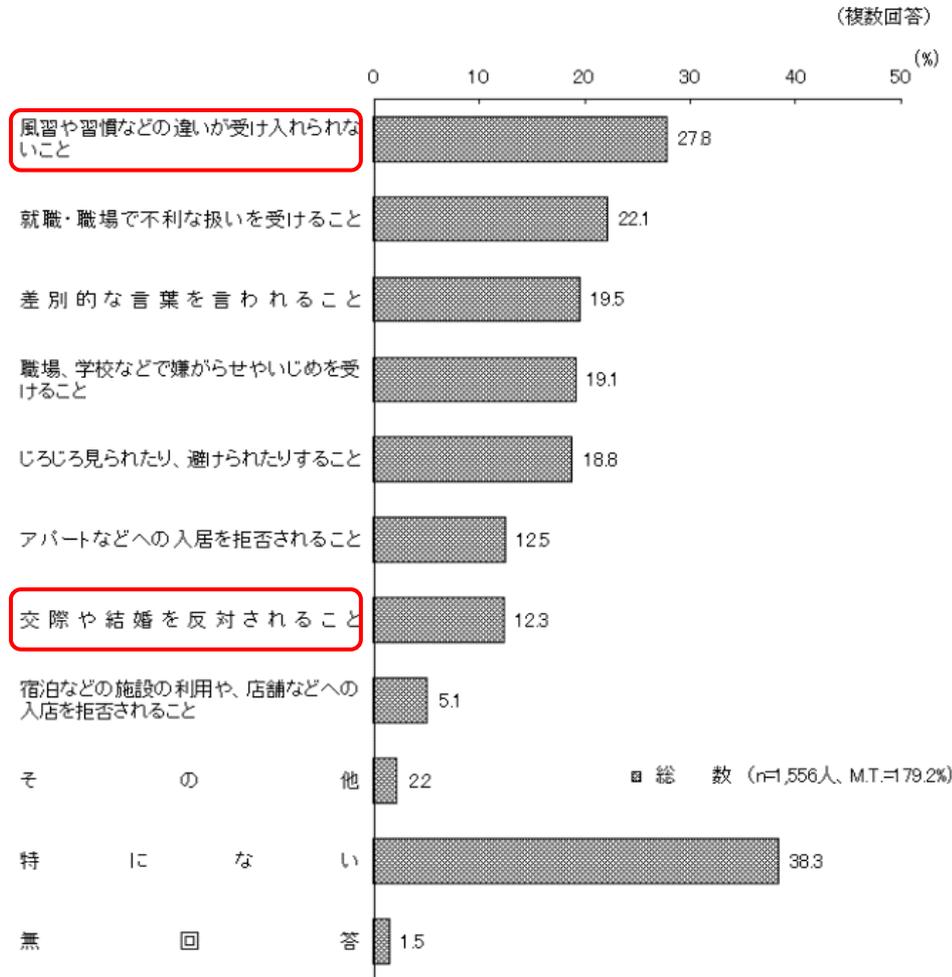
< 部落差別等の同和問題に関する人権問題 >

(部落差別・同和問題を知っているとする者に、複数回答)



## 外国人の風習や習慣等の違いを理解および許容することが大事

<外国人に関する人権問題>



### ■ L G B T Q

L G B T Qとは次の言葉の頭文字をとって組み合わせた言葉で、性的少数者（セクシャルマイノリティ）を表す言葉の一つとして、使われる。

- 性的指向とは、どのような性別の人を好きになるか、ということ。
- 性自認とは、自分の性をどのように認識しているのか、ということ。  
「心の性」と言われることもある。多くの方は「身体の性」と「心の性」が一致しているが、「身体の性」と「心の性」が一致せず、自身の身体に違和感を持つ人たちもいる。
- なお、Qとはクエスチョニングまたはクィアのことを指す。
- また、こうしたL G B T Qの枠に当てはまらない人もいる。

#### 性的指向

L

Lesbian 女性の同性愛者（心の性が女性で恋愛対象も女性）

G

Gay 男性の同性愛者（心の性が男性で恋愛対象も男性）

B

Bisexual 両性愛者（恋愛対象が女性にも男性にも向いている）

#### 性自認

T

Transgender 「身体の性」と「心の性」が一致しないため「身体の性」に違和感を持つ人。

Q

Questioning 自身の性のあり方について特定の枠に属さない人、分からない人、決めていない等の人

Queer 規範的とされる性のあり方以外を包括的に表す言葉

- 利用者および利用者の家族や友人がLGBTQであるかもしれないとの認識のもとで下記のような発言・行動をとらないように注意する。

### このようなことに、気をつけよう！

- 「ホモ」「オカマ」「男らしくない」「女らしくない」などとからかう
- 「どこかおかしいのでは」「問題があるのでは」「気持ち悪い」などとうわさ話をする
- 本人の了承なく、その人の性的指向や性自認について暴露する  
(アウティング)

### ■ 「名字」について

- 現在の民法のもとでは、結婚に際して、夫婦ともに男性又は女性のいずれかの氏（名字）を名乗ることになっている。
- 女性の社会進出等に伴い、結婚後も旧姓を名乗る「旧姓使用」が広がっている。
- また、旧姓使用してもなお残る職業生活上の不便・不利益、アイデンティティの喪失など様々な不便・不利益が指摘されてきたことなどを背景に、近年、選択的夫婦別氏制度の導入を求める意見がある。
- 夫婦の名前については、様々な考え方があるので、「夫婦になったら名字を一つにするのが当たり前」や逆に「早く選択的夫婦別姓を導入すべき」というような発言も、慎むようにする。

### ■ 独身証明書とは・・・

「氏名」「生年月日」「本籍地」が記載され、民法第732条（重婚の禁止）の規定に抵触しないことを証明するもの。

独身証明書は、本籍地の市区町村役場で作成し発行している。

### Check !

### ■ 独身証明書を確認する意義

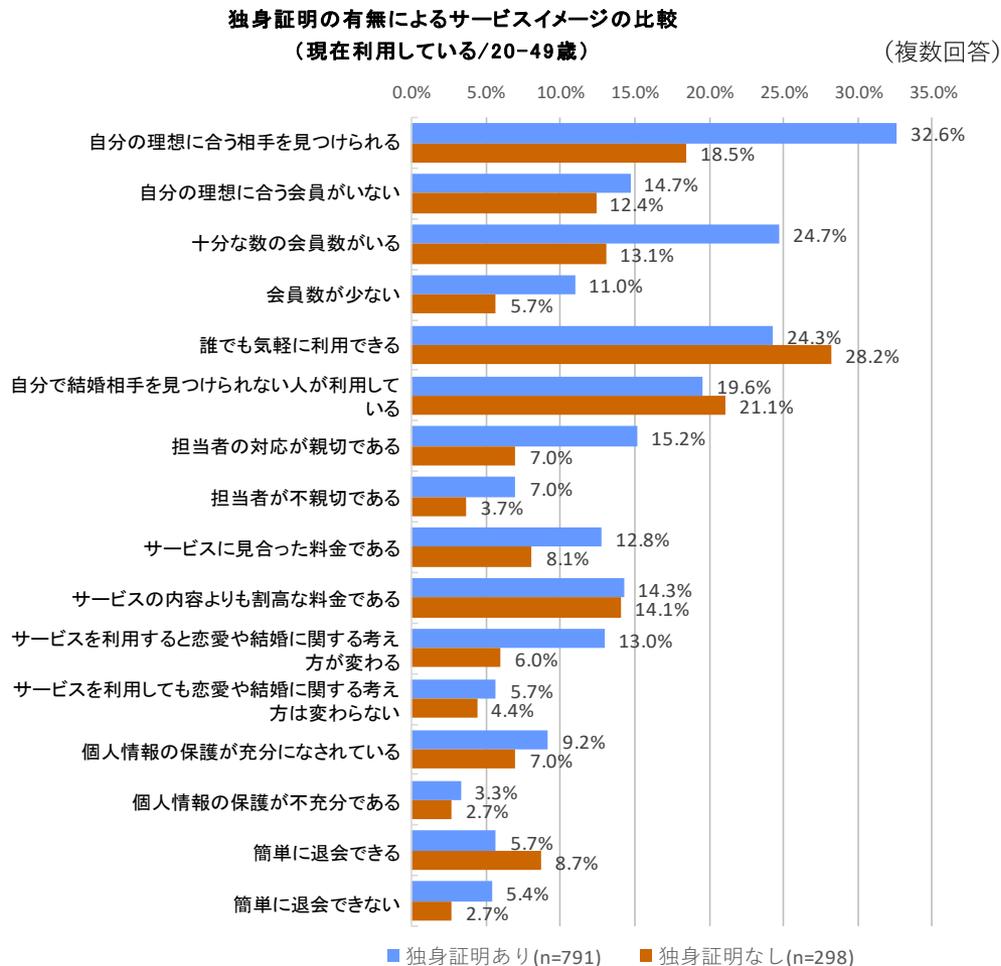
結婚支援を行うにあたり、独身であることは重要な情報であり、

**公的に実施する事業においては、一律に求める必要**がある。

ただし、単に出会いの場の提供する程度の場合は、本人同士で身元や資格を確認しあうことでも構わない。

## ■ 独身証明の有無によるサービスイメージの比較

### 『理想なパートナーが見つけれられる』イメージを醸成するツール！



20歳～49歳の独身者のうち、結婚相手紹介サービス・結婚相談所（独身証明あり）を現在利用中の方は、婚活サイト・婚活アプリ（独身証明なし）を利用中の方と比較して、「自分の理想の相手が見つけれられる」「十分な会員数がある」「担当者の対応が親切」などの項目が特に強くイメージされている。

## ■ 独身証明書の請求方法

独身証明書の窓口での請求は、忙しくて取りに行けない、利用者にとって羞恥心等の問題がある。地域によっては窓口以外でも郵送や電子申請ができる場合は、手続きの迅速化にもつながるため利用者にも案内する。

自地域については、以下の申請方法が可能である。

### 請求先

独身証明書は市内の区役所市民課等の窓口、郵送や電子申請での請求により取得可能です。

### 窓口来庁の際の請求先

市内の区役所・北須磨支所市民課、西神中央出張所のいずれでも取得できます。  
神戸市内に本籍がある方のみ、取得することができます。

[区役所等の平日夜間特別窓口](#)

### 郵送請求の際の請求先

郵送請求は神戸市郵送請求処理センターへ送付ください。  
なお、神戸市郵送請求処理センターの所在や郵送請求の方法等、郵送請求に関するお問い合わせ先を必ずご確認ください。

[郵送による証明書の請求について（神戸市郵送請求処理センター）](#)

### 電子申請での請求

マイナンバーカードに搭載できる署名用電子証明書を利用することで、自宅のパソコンからインターネット回線を利用して独身証明書の交付請求（電子申請）ができます。  
詳細は、下記「電子申請による証明書の請求」のリンク先をご確認ください。

### 請求できる方

本人申請に限る

### 必要なもの

持ちいただいても結構です。

### 手数料

1通につき300円

各都道府県（市町村）のもの

自地域申請方法について利用者に案内できるよう資料を編集してください。  
窓口のみの場合は当該スライドを削除願います。